

平成 28 年度

事業管理報告書

【様式 1】

平成 29 年 5 月

東 大 阪 市

目次

危機管理室	1
花園ラグビーWC2019 推進室	5
文化創造館開設準備室	7
市長公室	8
経営企画部	11
財務部	14
人権文化部	17
協働のまちづくり部	26
市民生活部	39
経済部	42
福祉部	71
子どもすこやか部	88
健康部	98
環境部	116
都市整備部	132
土木部	147
建築部	170
消防局	177
経営企画室	186
水道施設部	188
下水道部	189
人権教育室	191
教育総務部	193
学校教育部	201
社会教育部	220
議会事務局	233

◎様式の見方

実施計画事業名	後期基本計画 第3次実施計画事業名を記載しています。
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載しています。
平成27年度 目標達成度	指標①、②の達成度に対して得点化（A：4点、B：3点、C：2点、D：1点）し、合計が8～7点=A、6～5点=B、4～3点=C、2点=Dとして表しています。なお指標が①しかない場合、①の達成度としています。 平成28年度に実施しなかった事業については、「-」を記載しています。
第3次実施計画体系	第3次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらまし番号を記載しています。
指標	第3次実施計画に記載した指標とその説明・計算式を記載しています。
目標	上記の指標について、第3次実施計画に記載した目標を記載しています。
実績	上記の目標についての実績（平成29年5月末現在）を記載しています。
H27達成度	平成28年度目標に対する達成度を記載しています。 平成28年度目標に対する達成度（目標／実績）につき、100%=A、80～100%未満=B、50～80%未満=C、50%未満=Dとして記載しています。 平成28年度に実施しなかった事業については、「-」を記載しています。
事業実績(平成27年度)	平成28年度の取り組み内容を記載しています。
改善すべき点	平成28年度に取り組んだ事業に関する課題や問題点を記載しています。
平成28年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載しています。

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		防災力向上事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		自衛隊・警察・消防など関係機関と防災訓練を実施し、万が一の災害に備えて防災力の向上を図る。また、市民も参加できる実践訓練を行い、災害に対する意識を高める。							
指標①	防災訓練の参加人数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2,000人	2,000人	2,000人	A	目標②				
実績①	2,000人	2,000人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊や警察や消防、その他国・府の関係機関、関西電力や大阪ガスなどのライフライン関係機関、また災害協定を締結している企業及び自主防災組織と総合防災訓練・防災フェアを開催した。 また、自主防災組織としては、4自主防災会が負傷者の避難誘導・救出救助訓練、避難所設営訓練、炊き出し訓練を実施した。 なお、新たに災害協定を締結した東大阪廃棄物事業協同組合による瓦礫除去訓練及びライフライン機関によるガス管、仮設電線等の復旧実動訓練を新規で実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練と防災フェアとの一体感を持たせるため、防災フェアの展示会場を訓練会場寄りに移動させたことで、実動訓練車両と見学者との適切な距離を保つことが難しかった。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・警備人員を増やす、もしくはコーンを多く設置するなどして、観客の安全性を確保する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		自主防災組織活動補助事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		地域の防災力を一層向上させるため、自主防災組織の地域防災活動の活性化を図る。							
指標①	防災訓練(DIG:簡易型図上訓練、HUG:避難所運営ゲーム)や防災講演会などの自主防災組織の活動団体数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	45団体	45団体	45団体	C	目標②				
実績①	30団体	29団体	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・自主防災組織としての活動団体は29団体だが、述べ活動団体数は48団体で、図上訓練としてDIGやHUGを、その他防災訓練や防災講演会を実施した。								
改善すべき点	・近年、自主防災活動を実施していない自主防災会に、何らかの訓練を実施するよう働きかける必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・自主防災活動に乏しい自主防災会に、全校区で作成を目指している地域版ハザードマップを作成していくよう提案・支援し、自主防災組織としての活動を積極化する機会を提供する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		備蓄物資整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		被災した市民に避難所での安全・安心な環境を提供するため、災害用の備蓄物資や資機材を更新・拡充する。							
指標①	新たな備蓄物資等を充実した避難所数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	26箇所	27箇所	27箇所	A	目標②				
実績①	80箇所	30箇所	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧、衛生用品、凝固剤等の備蓄物資について、期限到来に伴う更新を行った。その他、簡易毛布を市備蓄倉庫へ整備し、大阪府が示す備蓄方針に従い計画的に進めた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の備蓄物資の整備は計画通りに実施できたため、来年度以降も更新分や増量すべき品目について必要数整備していく。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・想定避難所生活者数を前提にした大阪府の備蓄方針に基づき、重要備蓄物資を計画的に整備していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		地域版ハザードマップ作成事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		地域ごとの災害特性に応じた地域版ハザードマップを作成することにより、浸水被害などの危険個所を把握し避難する際に役立てる。							
指標①	地域版ハザードマップの作成校区数(校区自治連合会)				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	15校区	15校区	15校区	C	目標②	/	/	/	/
実績①	15校区	8校区	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・大阪府八尾土木事務所と連携して、土砂災害や浸水害、地震火災などに関する座学を実施したのち、地域の避難経路や災害危険箇所などを地図上に落とし作業を実施し、まち歩きを通じてその確認を行った地域版ハザードマップを8校区で作成した。								
改善すべき点	・今年度に構築した地域版ハザードマップシステムによる新たなマップを作成することに加えて、避難経路や危険箇所を基に、各人がどのような避難行動を取れば良いのか校区ごとに検証する場が必要。								
平成29年度に向けた改善策	・特に、住宅密集地域では地震火災が延焼する危険性が高いため、その地域に住む人が、どの方向に避難して、どこに避難するのが良いのかあらかじめ決めておくよう、大阪府八尾土木事務所と継続的に情報提供するなど支援に努める。								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	3

所属	花園ラグビーワールドカップ2019推進室
----	----------------------

実施計画事業名		花園ラグビー場整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		花園ラグビー場を、「ラグビーワールドカップ2019」開催会場にふさわしい施設として、開催後も市民がスポーツを通じて充実したプライベートライフを楽しめる施設として整備する。また、災害時の避難場所、大阪の新しい観光スポットとして活用できる施設に整備する。							
指標①	花園ラグビー場整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	基本・実施設計	改修工事	改修工事	A	目標②	/	/	/	/
実績①	未達成	改修工事	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・ラグビーワールドカップ2019の開催会場にふさわしい施設に向けて、平成29年2月より、改修工事を開始。スタンドの座席及び看板の撤去等の工事を実施。								
改善すべき点	・引き続き、改修工事を実施。								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	3

所属	花園ラグビーワールドカップ2019推進室
----	----------------------

実施計画事業名		ふるさとづくり推進事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		全国高等学校ラグビーフットボール大会の開催支援およびラグビーの振興を通して、市民が愛着と誇りを高めるとともに、「ラグビーのまち東大阪」を全国に発信することで、人々が住みたい、訪れたいまちづくりを推進する。							
指標①	全国高等学校ラグビーフットボール大会来場者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	110,000人	110,000人	110,000人	B	目標②				
実績①	127,123人	109,125人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国から訪れる多くの来場者を歓迎し、高校ラグビーを楽しんでもらえるような趣向や本市が進めているラグビーワールドカップ2019花園開催のPRイベントを実施。さらには、平成27年度に引き続き、ボランティアサポーターを募集し、花園中央公園内の美化活動などを行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に近い来場者数だが、過去最高の来場者数を記録した前回大会と比較すると、やや減少した。ラグビーに関心のない方々にも高校ラグビーを楽しんでもらえるような工夫を関係団体と図り、入場者数の増加に繋げていく。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラグビーのまち東大阪」を全国に発信するために、より一層「全国高等学校ラグビーフットボール大会」が盛り上がるようなイベントを企画・実施をしていく。 								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	3

所属	文化創造館開設準備室
----	------------

実施計画事業名		新市民会館整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化が進む市民会館及び文化会館の機能を集約し、中核市・東大阪市のシンボルとしてふさわしい、魅力ある文化芸術の創造と発信の拠点として新市民会館を整備する。							
指標①	新市民会館整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	事業手法検討	事業者選定 ・契約	設計・工事	A	目標②	/	/	/	/
実績①	事業手法決定	事業者選定 ・契約締結	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・新市民会館整備運営事業者の決定を行い、PFI事業契約を締結した。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・平成31年9月の文化創造館開館に向け、鋭意進めて行く。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	市長公室 広報広聴室 広報課
----	----------------

実施計画事業名	市政情報番組提供事業								
事業概要	ジェイコムウエストのコミュニティチャンネルで広報番組「虹色ねっとわーく」を放映し、市民に市政情報を提供することにより、市政への関心と興味を深めてもらう。				平成28年度 目標達成度		C		
指標①	週に数回以上視聴している市民の割合				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	10%	10%	10%	C	目標②	/			
実績①	6%	5%	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報やまちの話題、市民の市政への関心と参加意識の高揚を促す啓発事業などを取り上げて放映している。 ・市民にとって、より身近で役立つ広報番組になるように、熱中症予防や食中毒予防など日々のくらしに役立つ内容を放映した。また、市制施行50周年特別企画として本市の名誉市民である山中伸弥教授やラグビー元日本代表の元木由記雄さんなどに東大阪市での思い出などをお聞きして視聴者にとって親しみのある番組になるように心がけた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより興味や関心を持ってより多くの方に視聴してもらえるような番組作りに努める。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより興味や関心を持ってより多くの方に視聴してもらえるような番組作りに努める。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	市長公室 広報広聴室 広報課
----	----------------

実施計画事業名		市政だより発行事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市政の現状や施策、予算、まちづくりの計画など、市政に関わるさまざまな情報を掲載した市政だよりを月2回(1月のみ1回)発行するとともに、視覚障害のある方を対象に、点字版・録音版市政だよりを発行する。また、小学生のための子ども市政だよりを年2回発行する。							
指標①	市政だよりを読んでいる市民の割合				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	88%	89%	90%	B	目標②				
実績①	78%	80%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・市政だよりは、市政情報やまちの話題、市民の市政に対する関心と参加意識の高揚を促す啓発記事などを掲載し、写真やイラストを随所に取り入れ、見やすい紙面づくりに取り組んでいる。各課からの掲載依頼が多く、紙面が圧迫される状態が続いているが、市を盛り上げるような重要なものは写真や図表などを多用して掲載した。平成27年度に設けたラグビーコラムコーナーは内容を充実させながら継続し、市民がラグビーを身近に感じられるよう努めた。また、10月に設立された東大阪ツーリズム振興機構が舵を取る観光関連施策についても、積極的に掲載。さらに、子育て支援や高齢者福祉など市民に身近な内容を特集化し、表紙には印象的な写真を用いるなど、目を惹く紙面構成を心がけた。</p> <p>・子ども市政だより「すくらむ」では、防災のこと、東大阪の文化を取り上げ、自分たちのまちをもっと知ってもらえるような内容にした。また、子どもたちが楽しめるようカラフルな紙面とした。</p>								
改善すべき点	<p>・市政だよりについては、文字ばかりの読みづらい紙面にならないよう写真やイラストを多く使用するなどさらに工夫をし、市民に手にとって読んでいただけるようにする。</p> <p>・「すくらむ」でも、子どもたちが東大阪市や社会にさらに関心をもてるような特集として取り上げる。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・写真やイラストを多く使用するなどさらに工夫をし、文字ばかりの読みづらい紙面にならないようにする。また市民が知りたい情報をタイムリーにわかりやすく伝えられるような特集を組むなど、引き続き手にとってもらえる紙面づくりに努める。</p> <p>・「すくらむ」でも、子どもたちが東大阪市のことに興味を持ち関心をもてるような紙面を作成し、大人も子どもも楽しく読みながら学べるように努める。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	市長公室 広報広聴室 広報課
----	----------------

実施計画事業名	ウェブサイト整備事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要	市政への理解と関心を深めていただくため、市政情報を分かりやすく発信する市ウェブサイトの充実を図る。									
指標①	市ウェブサイトアクセス件数				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	145万件	145万件	145万件	B	目標②	/				
実績①	150万件	121万件	-		実績②	/				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市政モニター制度を活用したアンケート結果などをもとに、市ウェブサイト推進委員会で検討を重ね、平成29年3月にサイトリニューアルを行った。 ・トップページに市の魅力である“ラグビー”と“モノづくり”の写真を大きく配置したほか、市の魅力を市内外に発信することに特化したサイトと子育て世代を対象にした子育て応援サイトを開設した。また、パソコン以外での閲覧比率が増えている状況から、スマートフォンやタブレット端末に対応した表示を可能にした。 ・平成28年10月に市立総合病院が独立法人化し、市のウェブサイトから抜けたことによりアクセス数が減少。 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアル直後ではあるが、市の魅力が伝わる、さらに訪れたいくなるようなウェブサイトになるよう改善に努める。 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス解析を行い、修正が必要である部分を洗い出し、閲覧者が利用しやすく興味をもってもらえるようなサイト作りを心がける。 									

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	経営企画部 企画室
----	-----------

実施計画事業名		新たな観光まちづくり推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「ラグビーのまち」「モノづくりのまち」等の地域資源を有効に活用して、都市ブランドを高め、「訪れてよし、住んでよし」東大阪市の実現をめざす。							
指標①	事業の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	仕組みづくり	事業の実施	事業の実施	A	目標②				
実績①	振興計画の策定	事業の実施	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり観光プログラム 2回実施 ・6製品のお土産デザイン開発 ・ラグビー春合宿4日間のメニュー開発 ・ラグビーめしの開発 ・まち歩きモニターツアーの実施 ・マーケティング調査の実施 ・ホームページの構築 ・推進協議会の開催 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、平成28年度に取組んだことをさらに発展させて取り組みを進めていく。 さらに、ツーリズム振興につながる新たな展開を進めていく。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の成果を踏まえ、平成29年度の取組みへつなげ、発展的な事業に取り組んでいく。 また、本市で開催される大型スポーツ大会等をひかえ、それを一過性にせず継続的に人を呼び込んでいくための展開を図り、各種の取り組みを進めていく。 さらに、広域的な連携を図りながら、市域に訪れる人を増やしていく取り組みを進める。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	4

所属	経営企画部 企画室
----	-----------

実施計画事業名	市内企業経営者が語る創業と会社運営				平成28年度 目標達成度	D
事業概要	学生が企業経営者の経営に関する講座を受講することで、創業や市内企業への就職の意欲を喚起する。					
指標①	大学での講座実施回数				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	6回	15回	20回	D	目標②	
実績①	8回	4回	-		実績②	
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度に各大学にて、学生向けに市内企業の経営者が講演をおこなった。					
改善すべき点	・平成27年度に8回実施、平成28年度に4回実施したが、大学で学生の企業経営カリキュラムとして実施していくためには、講演内容を学習テーマに応じて設定したことについて市内企業に話してもらうことが必要で、学びの場としていくには実施に困難を伴う。 そのため、学生が地元企業を知る機会として再設定するなど、方法を改善して実施していく必要がある。					
平成29年度に向けた改善策	・平成28年度に、学生向けモノづくり企業のPR動画を作成したこと、また、ヴェル・ノール布施4階に就活応援窓口を平成29年度に開設することから、講座開設するだけでなく学生に市内企業に興味を持ってもらう機会として関係部局と連携して各大学と調整しながら、様々な取り組みを進めていく。					

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	経営企画部資産経営室
----	------------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(市民会館、荒川庁舎跡地活用)				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、市民会館、荒川庁舎跡地の有効活用をはかるため新永和図書館を整備するとともに、民間施設等を誘致し、周辺のにぎわいを創出する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	手法検討	提案募集	設計・工事	A	目標②				
実績①	跡地活用方針(案)を決定 新永和図書館基本計画を策定	基本協定書の締結	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 旧市民会館跡地及び荒川庁舎敷地の活用方針を決定し、旧市民会館跡地については、(仮称)新東大阪商工会議所会館及び(仮称)新永和図書館を整備することにより、市及び商工会議所の連携のもと、モノづくりのまち東大阪の発信及びビジネス支援の拠点として、永和地域のにぎわいの創出並びに市内の商工業の発展に寄与することを目的とする基本協定書を締結した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 旧市民会館跡地については、基本協定書の目的達成に向けて東大阪商工会議所と協議を進めていく。また、荒川庁舎敷地について、今後、JRおおさか東線の延伸や駅前広場の整備が予定されており、利便性の向上が見込まれることから、更なる検討が必要である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 旧市民会館跡地については、(仮称)新商工会議所会館の一部に(仮称)新永和図書館を整備するため、東大阪商工会議所と綿密な協議を行い、図書館の機能性や利便性の図れる施設を整備していく。また、荒川庁舎敷地は、これからの周辺環境の変化により、民間事業者の進出意欲が高まるものと考えられ、民間施設を誘致することで、内外から多くの人々が訪れる拠点とするため、引き続き、民間事業者の参画意向の調査をするなど、にぎわい創出のための活用を検討する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	財務部 管財室
----	---------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(新旭町庁舎整備)				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、耐震性や老朽化に課題のある旭町庁舎を民間活力を活用して建替え整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	事業手法決定	事業者決定	設計・工事	B	目標②	/	/	/	/
実績①	事業手法決定	入札公告	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・平成28年11月に入札公告を行い、平成29年3月に入札提出書類の受け付けを行った。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	財務部 管財室
----	---------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(東部地域仮設庁舎整備)				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、四条の家・東診療所跡を旭町庁舎建替えのための仮設庁舎として整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	工事完了	-	-	-	目標②				
実績①	工事完了	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成28年度)									
改善すべき点									
平成29年度に向けた改善策									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	財務部 管財室
----	---------

実施計画事業名		土砂災害防止対策事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		土砂災害防止法における土砂災害警戒区域として6箇所が指定された日下地区の市有地について、年次的に土砂災害危険防止対策工事を実施する。							
指標①	対策進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	66%	-	A	目標②	/			
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・土砂災害警戒区域の変更により該当区域が解除されたため、事業が完了した。								
改善すべき点	-								
平成29年度に向けた改善策	-								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	1

所属	人権文化部 文化国際課
----	-------------

実施計画事業名	文化推進事業				事業概要	東大阪市のさまざまな文化的資源を生かし、市民が潤いや安らぎ、まちへの愛着を感じるよう、東大阪市文化芸術振興条例や東大阪市文化政策ビジョンに基づき、有識者などにより構成される文化芸術審議会などとも連携して、総合的に文化施策を推進する。				平成28年度 目標達成度	B
指標①	文化政策ビジョンの進捗状況				指標②	/					
指標の 説明・計算式	/				指標の 説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	90件	95件	100件	B	目標②	/					
実績①	88件	87件	-		実績②	/					
事業実績 (平成28年度)	<p>・「東大阪市文化芸術振興条例」に基づき、東大阪市文化芸術審議会を開催し、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づく文化振興について意見を収集するとともに、政策の推進を図った。</p> <p>・平成28年度は、「歴史×音楽、古いもの×新しいもの、地域×アート」別々のところにあったモノ達が出会ったとき、何かが起こる！」を全体テーマとして、各施設でのイベント等を盛り込んだ「アート・プラネット東大阪」のポスターを作成し、公共施設での掲示や各鉄道に駅貼り等の広報を行った。今回は例年実施されている事業に新たな要素のイベントを組み合わせることで、新しい魅力を発見できる機会をつくり、幅広い年齢層に文化施設に足を運んでもらえるよう魅力発信を行った。</p>										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き幅広い年齢層(特に若年層)への文化発信。 ・地域固有の文化資源を通して東大阪市の文化の魅力を総合的にPRするため、他施設や他機関との連携の強化。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づき文化政策を推進するとともに、文化資源の総合的な発信方法や連携について新たな取り組みを検討し、実施する。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	1

所属	人権文化部 文化国際課
----	-------------

実施計画事業名		国際情報プラザ事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		英語、韓国・朝鮮語、中国語での相談案内や翻訳、情報発信とともに、休日総合相談会や多文化理解講座、語学ボランティア派遣、人材育成のための研修会、交流会などの各種事業の他、国際理解、国際協力に関する情報提供や支援を行い、多文化共生社会を推進する。							
指標①	国際情報プラザの多言語相談件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,200件	1,200件	1,200件	C	目標②				
実績①	792件	774件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 英語、韓国・朝鮮語、中国語、日本語による情報提供・収集及び相談業務 774件 語学ボランティア派遣(各部局の依頼に基づき登録ボランティアを派遣する制度) 173件 語学ボランティア研修会(入門編・応用編)の実施。参加者 29人 外国人のための1日相談サービス 相談件数 49件 多文化理解講座「教えて&教わる“あそび”で国際交流！」参加者 51人 機構業務名等翻訳・筆耕(各部局の依頼に基づき、行政文書やパンフレット等を翻訳する制度) 等 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに対応可能な言語数、行政スキルを持ったボランティアの確保。 国際情報プラザの事業内容、活動の周知。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、対応可能言語、分野の拡充などに向け、語学ボランティア登録者数を増やすとともに、行政通訳者としてのスキルアップへの支援を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	2

所属	人権文化部 文化国際課
----	-------------

実施計画事業名		国際化推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		外国籍住民への生活支援やその社会参加を推進するために、日本語教室の開催、窓口対応用多言語対訳集の改訂、外国籍住民施策懇話会などを実施するとともに、外国籍の方だけではなくすべての住民が集えるいわゆる国際交流センターなどの拠点の検討や、市民や団体などが行う多文化共生推進事業を支援するなど、交流の機会の充実に努める。							
指標①	国際交流及び多文化共生推進事業の参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	26,000人	26,500人	27,000人	A	目標②				
実績①	26,021人	27,029人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪国際交流フェスティバル参加者 7,000人 ・盾津ふれあいフェスティバル参加者 2,000人 ・国際交流協会事業会員 101人 ・日本語教室参加者数(学習者、ボランティア数合計) 17,928人 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の多様化するニーズに併せた、きめ細やかな対応。 ・多文化理解の推進に向け、より多くの住民が交流を深めることができるような啓発。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、日本語教室の運営を担うボランティアの確保に努めながら、引き続き、市民が行う多文化共生推進事業への支援を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	4

所属	人権文化部 市史史料室
----	-------------

実施計画事業名		市史編さん事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市史を編さんすることにより市民の郷土愛と歴史への関心を高める。							
指標①	古文書のマイクロフィルム化進捗率				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	85%	86%	87%	B	目標②				
実績①	85%	85%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・当室が所蔵・寄贈・寄託を受けている古文書等について、マイクロフィルム撮影を進めた。								
改善すべき点	・マイクロフィルム撮影の前段階の調査整理作業を市史史料室が直接行っているが、年度によって進捗度合いにバラつきが生じているため、計画的かつ継続的に事業実施ができる体制整備が急務である。								
平成29年度に向けた改善策	・史料整理に精通した大学等の専門機関のノウハウを活用することで、撮影進捗率の向上に努めていく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	3	1

所属	人権文化部 男女共同参画課
----	---------------

実施計画事業名		男女共同参画推進事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するため、第三次男女共同参画推進計画を改定し、本計画に基づき、各種啓発等により学習の機会を提供するとともに、市民・事業者・教育関係者との協働で男女共同参画社会の実現をめざす。また、DV被害防止への取り組みを強める。									
指標①	審議会などにおける女性委員の割合				指標②	新たにDV カードを設置した箇所数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	34%	35%	36%	B	目標②	5箇所	5箇所	5箇所	A		
実績①	28.4%	29.6%	-		実績②	5箇所	5箇所	-			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等への女性の参画比率については、年2回(4月1日・10月1日現在)の調査を実施。女性委員参画比率は平成27年度の28.4%より改善したものの、目標達成には至らなかった。各審議会における女性の参画促進の意識をより一層高めてもらうため、委員の改選前に提出される計画書により、参画率が低い場合は所管課と協議し少しずつでも女性委員の増員を進められるように働きかけた。 ・DV被害防止への取り組みとしては、市政だよりに啓発記事を掲載、またDVの相談窓口等を記載したカードを作成し広く配布した。また、多様化するケースに迅速に対応できるようDV対策連絡会議を開催し関係機関との連携強化を図った。さらに民間シェルター等に対する補助事業を実施した。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの審議会で定める委員の要件が関連団体における充職や推薦となっていることが多く、これらに携わる女性の母数自体が少ない。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、審議会等を所管している所属課について、女性委員の参画率に留意して委員を選出するよう働きかける。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	人権文化部 人権室 人権啓発課
----	-----------------

実施計画事業名		人権啓発促進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		憲法週間事業、人権週間事業等の人権啓発事業を展開し、誰もがもっている基本的人権を守り、あらゆる差別の解消をめざし、人権意識の高揚を図るため、啓発活動を実施する。							
指標①	イベント参加者のアンケート満足度				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	93%	93%	93%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	89%	93%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<p>・5月の憲法週間事業(来場者397人)、7月の人権尊重のまちづくり強化月間事業(来場者164人)、12月の人権週間事業(来場者227人)において、講演会等の人権啓発活動を実施。市民人権講座(参加者合計131人)や北朝鮮人権侵害問題啓発活動(来場者260人)やパネル展などを催し、市民が参加しやすい人権啓発・人権教育に取り組んだ。</p>								
改善すべき点	<p>・これまでに行ったテーマ以外にまだ取り組めていない人権課題について、人権啓発事業を行い、様々な人権課題について周知、啓発する必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・引き続き、あらゆる人権課題について、市民に関心を向けってもらうような人権啓発事業を実施し、市民が人権問題を自らの問題としてとらえ、理解ができるような啓発事業を行っていく。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	4	1

所属	人権文化部 人権室 人権啓発課
----	-----------------

実施計画事業名		平和のまちづくりの推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「平和都市宣言」の趣旨に基づき、核兵器廃絶、平和推進のため、広く市民が参加できる啓発事業を実施するとともに、平和のつどいをはじめ、平和に関する事業により平和への意識を高める。							
指標①	イベント参加者のアンケート満足度				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	87%	87%	87%	A	目標②	/			
実績①	88%	92%	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<p>・7月下旬～8月に「平和のつどい」と称し、聴覚障害者によるマジック公演(来場者156人)、「戦争体験のおはなし」(入場者55人)、「原爆体験のおはなし」(入場者20人)、「スポーツと平和」をテーマにしたパネル展示、映画「パディントン」「ながさきの子うま」の上映(来場者746人)、平和のトーク&コンサート(入場者103人)などを実施。平和の大切さを訴えるとともに、平和のために自分たちに何ができるのかを考えていただくきっかけとしての平和イベントを行った。</p>								
改善すべき点	<p>・実際に戦争を体験した世代が少なくなっているため、戦争体験のない若い世代へアピールを行い、幅広い世代に平和の尊さを訴える必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・幅広い世代に関心に向けてもらうような平和事業を計画し、平和と命の尊さを次代に語り継ぐために若い世代に対しても、アピールを行っていく。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	人権文化部長瀬人権文化センター 人権文化部荒本人権文化センター
----	------------------------------------

実施計画事業名		人権文化センター人権啓発交流事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		人権問題の理解を深め早期解決を図るため、啓発、情報提供に努めるとともに、教養・文化事業として各種講座の開催や人権講演会・コンサートなどイベントの実施により市民相互の交流を積極的に推進する。							
指標①	イベント・講座などへの参加率(長瀬人権文化センター)				指標②	イベント・講座などへの参加率(荒本人権文化センター)			
指標の説明・計算式	(イベント参加者/収容人員+イベント参加者/収容人員+講座参加者/講座受講定数)/3				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	100%	100%	100%	B
実績①	97%	91%	-		実績②	95%	94%	-	
事業実績 (平成28年度)	<p>【長瀬人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者150人(定数150人) ステンドグラス教室19人(定数20組) ・講座参加者1,789人(定数2,284人) <p>【荒本人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント人権講演会(あらもと愛ふれあい21) 参加人数376人(定数400人) ・ふれあい講座(通年各20回) 参加人数 129人(定数137人) 								
改善すべき点	<p>【長瀬人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館での講座利用者は高齢層が多く若年層が少ない。 <p>【荒本人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座への参加者の大半が地域外からであり、相互交流の意味合いが薄れて来ていることから、新規講座の開拓も含め企画運営の見直しを検討をすべき。 								
平成29年度に向けた改善策	<p>【長瀬人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施する講座の時間帯・内容等をさらに充実させていきたい。 <p>【荒本人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等を検証し、より多くの市民が参加いただける様な、魅力ある講座・イベントの企画運営に努める。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	3

所属	人権文化部長瀬人権文化センター 人権文化部長瀬人権文化センター
----	------------------------------------

実施計画事業名	人権文化センター総合相談事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要	人権侵害を受ける恐れのある市民が、主体的判断で問題を解決することができるよう、事案に応じた適切な助言や情報提供などにより支援するとともに、日常生活上のさまざまな課題を有する市民ニーズを的確に把握し、福祉の向上と自立のための支援をする。									
指標①	相談件数(長瀬人権文化センター)				指標②	相談件数(荒本人権文化センター)				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	350件	350件	350件	B	目標②	500件	500件	500件	B	
実績①	234件	336件	-		実績②	460件	491件	-		
事業実績 (平成28年度)	<p>【長瀬人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権相談 23件 総合生活相談 310件 進路選択支援相談 3件 <p>【荒本人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権相談 15件 総合生活相談 459件 進路選択支援相談 17件 									
改善すべき点	<p>【長瀬人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政だより・当館のコミュニティ紙「長瀬だより」・ホームページ等でPRを務め、昨年度と比べて相談件数が増加したが、目標件数には達しなかった。 <p>【荒本人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権文化センター(隣保館)としてどのように関係機関と連携していくのかを検討し、具体化していく必要がある。 									
平成29年度に向けた改善策	<p>【長瀬人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる周知に努めたい。 <p>【荒本人権文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携をより一層強化する。 ・人権文化センター総合相談事業の周知を図る為、市政だより、ホームページやセンターだより等による更なるPRに努める。 									

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		東大阪市版地域分権制度検討事業								平成28年度 目標達成度	C
事業概要		地方創生をはじめとし、地方独自の取り組みの重要性が増している中、東大阪市においても、各地域の特色に応じたまちづくりが求められている。そこで東大阪市にふさわしい地域分権制度について、各地域の意見を聞きながら諮問会議において検討する。									
指標①	諮問会議の開催回数				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	-	3回	3回	C	目標②						
実績①	-	2回	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月から市内の概ね中学校区ごとに開催する地域協働サミット及び市内事業所を対象とした事業所サミットで、地域分権制度に係る各地域の意見の集約を行った。平成28年11月には学識経験者や地域活動団体等により構成される東大阪市協働のまちづくり推進審議会を設置。平成29年2月に第2回審議会を開催し、地域協働サミットで各地域や事業所から聴取した意見を踏まえながら、東大阪市版地域分権制度の検討を進めた。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に開催する東大阪市協働のまちづくり推進審議会において、東大阪市版地域分権制度について具体的に制度設計を進めていく必要がある。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度においては審議会を4回開催し、東大阪市版地域分権制度の制度設計を進める。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		まちづくり意見交換会開催事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		「まちづくり意見交換会」を定期的に行い、市民や市民活動団体の情報交換、地域の魅力や課題の共有により、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という機運の醸成を図る。							
指標①	意見交換会の参加人数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2,220人	2,340人	2,340人	C	目標②	/	/	/	/
実績①	435人	1,761人	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<p>・市民活動団体が地域を越えた情報交換や交流をすることで東大阪市全体のさらなる協働のまちづくりの促進を図ることを目的に、平成28年9月に「高齢者」や「子育て」等の5テーマに分けて交流会を開催した。 また、昨年度の意見交換会であった、市内7リージョンセンターの開催では範囲が広く、課題がまとまりにくいといった意見を受けて、平成28年度においては概ね中学校区毎に地域協働サミットを実施し、平成30年度より実施予定の東大阪市版地域分権制度に向けて、地域の声や想いの聴き取りを行った。</p>								
改善すべき点	<p>・テーマ別交流会は、人数が伸び悩んだテーマがあったことから、地域課題の解決に向けて取り組む市民活動団体や個人が交流できる場の設定やその周知方法については、今後も検討が必要である。 また、地域協働サミットは、リージョンセンター範囲では広く、課題がまとまりにくいといった意見を受けて概ね中学校区で実施したが、参加者からはさまざまな世代の声を聴きたいという意見や各地域の個別の課題についての意見も多く、様々な世代、地域ごとの個別の課題解決について議論し、実行できる仕組みについて、検討が必要である。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・平成25年度より開催してきたまちづくり意見交換会事業により、地域の魅力や課題の共有と「自分たちのまちは自分たちでつくる」という機運の醸成をはかってきた。今後についても、市民活動団体や個人が交流し、情報共有できる場の設定については検討していく。 また、地域協働サミットで集約した地域の意見を踏まえながら、平成29年度においては、東大阪市版地域分権の制度設計を進める。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名	地域サポート職員配置事業				平成28年度 目標達成度	A			
事業概要	地域と行政との連携を進める職員（地域サポート職員）を配置する。地域団体、企業へのインタビューや、まちづくり意見交換会から生まれた事業化検討会議のサポートを行い、協働のまちづくりを推進する。								
指標①	地域サポート職員の活動日数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2,400日	2,560日	2,560日	A	目標②				
実績①	2,662日	2,629日	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員7名と地域雇用の非常勤嘱託7名の計14名の地域サポート職員を中学校区担当制で配置し、地域訪問を行い、まちづくり意見交換会から生まれた市民発意の協働事業の支援や当部が主催する各種イベントの情報提供等を行うことで、協働のまちづくりを推進した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 地域訪問を行うことで得た地域情報を活かし、地域と行政の連携を進めていくことで、より一層協働のまちづくりを推進していくことが課題である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域訪問を増やして地域との顔の見える関係をより強固なものとし、より一層協働のまちづくりを推進していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名	地域まちづくり活動助成事業				平成28年度 目標達成度	A
事業概要	魅力ある地域づくりを推進するため、市内を活動拠点とする団体が自ら企画・提案し、地域資源の活用や地域課題の解決に向けて実施する事業に対して助成を行う。					
指標①	平成16年度から現在までの助成金を交付した団体の累積数				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	185団体	200団体	215団体	A	目標②	
実績①	195団体	223団体	-		実績②	
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、39件の申請があり、うち28件を採択した。 採択件数の内訳は、スタート支援部門18件、事業チャレンジ部門7件、まちづくりファンド調査研究部門3件であった。 また、資金的なサポートだけでなく、助成金広報講座を開催し、市民活動団体に対して技術的なサポートを行った。 					
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付団体に対して、資金面だけでなく、団体のニーズにあった講座の開催や運営相談など、より多角的な支援を行っていく必要がある。 					
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付団体にアンケートやヒアリングを行うことで、団体の現状や課題などを把握し、多角的な支援を行っていく。 					

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	4

所属	協働のまちづくり部 市民協働室
----	-----------------

実施計画事業名		まちづくりコーディネーター養成事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		まちづくり活動に関心のある人を対象に、活動に必要な知識や技術を学べる講座を開催し、市民活動の核となる「まちづくりコーディネーター」を育成する。							
指標①	コーディネーター養成人数(累計)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	66人	96人	126人	B	目標②	/			
実績①	75人	95人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・平成29年1月から3月にかけて「エリアデザイン講座」を実施。計5回の講座を通して、まちづくり活動に活用できる「ファシリテーション」や「グループインタビュー」、「企画PR」のノウハウや他市のまちづくり事例や地域分権制度についての講座を行った。また、平成29年3月には単発講座として「まちづくりの想いをカタチにする講座」を実施し、市民活動団体が活動を進めていく上での事業計画の作成方法やリーダーシップについて学べる機会を提供した。また、各回で受講者にアンケートをとった結果、全ての回において90%を超える満足度が得られた。</p>								
改善すべき点	<p>・講座の開催時期について、平成29年1月から3月に実施したが、どの時期が市民にとって受講時期としてニーズが多いのか等調査し、必要に応じて改善する必要がある。また、今年度については講座の広報期間が短かったため、来年度はもっと広報期間を長くし、広く市民に呼びかけ、より多くの方が受講できる機会をつくれるよう改善する。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・過去の受講修了生にアンケートを実施し、平成29年度の講座内容に生かしていく。また、広報期間を長くし、より多くの方に周知していく。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名		自治会集会所整備補助事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		地域コミュニティの醸成や活動の広がりをめざし、自治会活動の拠点となる自治会集会所の整備を支援する。							
指標①	集会所設置自治会数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	191自治会数	193自治会数	195自治会数	B	目標②				
実績①	190自治会数	191自治会数	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度は、新たな自治会・集会所を1か所設置。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名					街頭犯罪防止啓発事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					ひったくりをはじめとした街頭犯罪の発生を抑止するため、地域で行う街頭犯罪防止キャンペーンなどを通じて啓発を行う。						
指標①	ひったくり防止キャンペーン回数の累計				指標②	/					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	30回	60回	90回	A	目標②	/	/	/	/		
実績①	86回	65回	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	<p>・ひったくり防止キャンペーン65回実施した。 布施署管内 26回 河内署管内 23回 枚岡署管内 16回</p> <p>・ひったくりが減少した一方、特殊詐欺の急増に伴い、特殊詐欺防止の啓発に力を入れたため、ひったくり防止キャンペーンの実施回数が減少した。 ・ひったくり防止キャンペーンの際に、幅広い世代に活動が広がるよう有名人やトライくんなどの派遣について、警察等と協力し検討した。</p>										
改善すべき点	<p>・ひったくり防止を周知するにあたり、啓発品のあり方を見直す必要がある。</p>										
平成29年度に向けた改善策	<p>・ひったくり防止キャンペーンの際に、有名人を派遣する事でより幅広い世代に活動を拡げていく。また、治安対策本部会議において、ひったくりが大幅に減少したことなどの現状を踏まえ、啓発品のあり方を見直すよう指示があり、より有効な啓発品の見直しを行う。</p>										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名					防犯カメラ設置費補助事業					平成28年度 目標達成度	B
事業概要					街頭犯罪の発生を抑止するため、自治会が設置する防犯カメラに対し設置費用を補助する。						
指標①	防犯カメラ設置台数				指標②	/					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	225台	295台	365台	B	目標②	/					
実績①	214台	268台	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・19自治会 54台 10,503,000円										
改善すべき点	・防犯カメラの設置台数が伸び悩んでいることから、事業の見直しが必要である。										
平成29年度に向けた改善策	・治安対策本部会議にて、「防犯カメラ事業について市の一元化を図り、市として大阪府警の助言をいただいて設置していくほうがいい」との考え方により、平成29年度に上記事業を廃止する。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名		防犯灯設置費補助事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		まちを明るくし、夜間における街頭犯罪の発生を抑止するため、自治会が設置する防犯灯に対し設置費用を補助する。							
指標①	防犯灯LED化率				指標②	/			
指標の説明・計算式	LED 防犯灯設置補助灯数 / 防犯灯維持管理費補助灯数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	20%	25%	30%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	19%	26%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・LED防犯灯2,062灯 30,888,470円 ・補助金額を25,000円から15,000円に見直しを行い、多くの自治会に幅広く補助金が行きわたるよう配慮した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会からの要望も多く、環境面にも配慮したLED防犯灯の設置を促進するため今後も予算の増額を要望していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	2

所属	協働のまちづくり部 地域コミュニティ支援室
----	-----------------------

実施計画事業名		青色防犯パトロール活動支援事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		街頭犯罪の発生を抑止するため、ボランティアによる青色防犯パトロール活動を支援し、活動の活性化を図る。							
指標①	小学校区に対する青色防犯パトロール団体設立数の割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	42%	55%	64%	B	目標②	/			
実績①	43%	48%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度より東大阪市自治協議会がメインとなって青色防犯パトロール活動を取り組むようになった。また、東大阪市自治協議会を通して呼びかけた結果、より犯罪抑止効果の高い警察車両と同じ白黒のツートンカラーの専用車を整備した団体が増え、専用車が8台増え合計22台となり、より多くのパトロール活動に従事してもらえるように配慮した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や防犯委員会など単独で青パト活動を行っている団体が多く、今後は校区連合として連携を図っていく。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校区に青色防犯パトロール活動が広がるように、引き続き呼びかけていく。また、パトロール活動がより効果的なものとなるようドライブレコーダーの設置を呼びかけていく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	NPO・市民活動支援課
----	-------------

実施計画事業名		リージョンセンター公民協働事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		地域の特性を生かした個性的なまちづくりを推進するため、市民プラザを拠点とした、各リージョンセンター企画運営委員会が実施する公民協働事業に対して助成を行う。							
指標①	リージョンセンター企画運営委員会が実施する各種事業の延べ参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	35,000人	35,000人	35,000人	B	目標②	/			
実績①	27,781人	29,481人	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<p>・各リージョンセンター企画運営委員会においては、地域の特性を活かしたまちづくりのため各種教室事業やイベントの開催によるリージョンセンターの活性化はもとより、地域資源を活用した個性ある取り組みが行われた。 また、企画運営委員会連絡会の開催により、組織運営や課題等についての情報を共有するとともに、ふれあい祭りに参加するなど公民協働事業のPRに努めた。</p>								
改善すべき点	<p>・リージョンセンターの企画運営委員会で、毎年様々な事業を企画・実施し、多くの市民が参加しているが、各リージョンセンターにおいて新たな企画が出て来ず、地域のさらなる活性化までには至っていない。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・企画運営委員会連絡会の開催に加え、各々の広報部会と事業部会の委員がそれぞれ交流し、各企画運営委員会で作成している広報紙や実施イベント、組織運営上の苦勞や工夫点について意見交換を行い、地域の特性を活かしたまちづくりのための新たな企画に向けた、さらなるアイデアを出し合う機会を設ける。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	NPO・市民活動支援課
----	-------------

実施計画事業名		NPO等活動基盤強化事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		NPO や市民活動団体に対し、NPO アドバイザーが相談・助言などの支援を行い、活動基盤の強化を推進する。							
指標①	NPO等からの相談件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	150件	200件	300件	B	目標②				
実績①	224件	160件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・窓口及び訪問による相談実績160件。 NPOアドバイザーのNPO法人への個別訪問や窓口、電話等により、NPO等に関する運営上の相談や活動内容の把握を行った。 また、訪問や相談の中で把握できた法人の抱える課題に対応するため、「会計と税務」や「労務管理」といった講座や交流会を計6回実施し、112名に参加してもらった。</p>								
改善すべき点	<p>・アドバイザーの配置が年度途中となり、NPO法人に対して計画的な訪問が出来なかったことから、認知度の向上につながらず、各団体からの相談件数が伸びなかった。 講座や交流会については、参加者の満足度が高かったものの、参加者数が伸び悩んでいる状況にある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・出来るだけ早期にNPOアドバイザーの体制を整え、NPO法人から提出された書類等から課題のある法人を抽出するなど、計画的・効率的な訪問や電話、窓口でのヒアリング等を実施することにより、より細やかなニーズ把握に努めるとともに、効果的な訪問や広報を通じてNPOアドバイザーの認知度を高め、相談件数の増加を目指す。 あわせて、市役所内に気軽に来庁してもらえるスペースを設置し、相談しやすい環境づくりを検討する。 また、訪問等で把握した法人等のニーズに対応した講座等に、SNSやメール等を活用し、さらなる参加を促すことで法人の基盤強化を図る。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	3

所属	NPO・市民活動支援課
----	-------------

実施計画事業名		市民活動情報サイト運営事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市民活動への参加の機会を広げるため、市民活動支援ポータルサイトを運営し、活動団体の情報発信を支援する。							
指標①	ポータルサイトへのアクセス数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	28,000回	29,000回	30,000回	B	目標②	/	/	/	/
実績①	27,077回	28,726回	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動情報のポータルサイトである「東大阪市民活動情報サイト(通称:スクラムは〜と)」を用いて、市民活動団体等の情報の集約や発信を行った。 また、様々な機会を通じて登録の勧奨を行ったほか、長期に亘り更新がされていない団体に対し活用を促すとともに、必要に応じて登録の削除を行い、更なるサイト情報の充実及び信頼性の向上を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 「スクラムは〜と」の認知度の向上が必要である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 「スクラムは〜と」について、未登録の市民活動団体に対して様々な機会を捉え登録のメリット等を説明し、登録件数を向上させるほか、登録団体に対しても積極的な利活用を促すことで、サイトを充実させる。 また、市民に対しては、サイトの紹介を行い、知名度を向上させる。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	26	1

所属	市民生活部 消費生活センター
----	----------------

実施計画事業名		消費生活相談事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		消費生活にかかる相談及び苦情に関して、専門相談員による助言や斡旋により解決を図る。							
指標①	消費生活相談を受けた内、解決した割合				指標②	/			
指標の説明・計算式	斡旋で解決した件数/斡旋件数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	/			
実績①	91%	87%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・商品やサービスに関する苦情、問合せ等を受け付け、トラブル解決のための助言、あっせん、情報提供等を実施した。 受付 月曜日～金曜日 時間 午前9時30分～午後4時(ただし祝日及び年末年始を除く)</p>								
改善すべき点	<p>・相談件数は高水準で推移し、相談内容が複雑多様化するとともに、1件の相談に要する時間が増加している。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・複雑多様化する相談内容に対応する相談員のスキルアップを図るとともに、センターの周知を図り利用を促進する。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	26	2

所属	市民生活部 消費生活センター
----	----------------

実施計画事業名		消費生活啓発事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		消費者被害を未然に防止し、消費者の安全・安心を確保するため、消費者教育や啓発を実施する。							
指標①	くらしの緊急情報の市政だよりへの掲載回数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	11回	11回	11回	A	目標②	/			
実績①	11回	11回	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	消費生活出張講座の開催 4回 延べ120名参加 高齢者向け消費者問題ミニ講座 23回 延べ875名参加 くらしの情報セミナーの開催 5回 延べ141名参加 消費者教育推進講座 8回開催 参加者 延べ469名 子ども消費生活体験講座 1回開催 参加者 35名参加 消費者問題講演会の開催 1回 30名参加 消費者月間街頭啓発 3回 暮らしのスクラム全戸回覧 4回 悪質商法、振り込め詐欺防止等街頭啓発(布施警察と合同 3回 河内警察と合同 4回) 消費生活展の開催 1回 くらしの緊急情報の市政だよりへの掲載 11回 主要駅での啓発ポスター掲示 3回 啓発懸垂幕の掲示 2回 ヴェルノール・ビジョンで相談事例等を放映 総合庁舎、市外部施設、地域包括支援センター等に啓発グッズ及び啓発ポスターを掲示 ふれあい祭りなどでの啓発、その他ホームページ等を通して、情報の提供に努めた。								
改善すべき点	・消費生活センターの存在をより広く市民に知ってもらい、活用していただくため、引き続き消費生活センターの周知を行うとともに、消費者被害の未然防止を図るため、更なる啓発に努める必要がある。特に悪質商法の被害に遭いやすい高齢者への啓発の強化を図る必要がある。 また、消費者教育推進法の施行に伴い、消費者のライフステージにあった消費者教育を推進する必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・消費生活センターの存在をより広く市民に知ってもらい、活用していただくため、関係機関等とも連携を図りながら、引き続き啓発に努めるとともに、消費者教育の総合的、一体的な推進を行う。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	市民生活部 医療保険室 保険管理課
----	----------------------

実施計画事業名		医療費適正化事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		特定健康診査・特定保健指導の推進などにより生活習慣病を未然に防ぎ、生活の質の維持及び向上を図るとともに、医療機関への重複・頻回受診者に対する保健師による訪問指導や、国保データベース(KDB)システムを活用し市の特性に合った保健事業を実施することにより、医療費の適正化を図る。							
指標①	特定健康診査実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	36.10%	36.90%	37.70%	C	目標②	/			
実績①	27.50%	19.70%	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<p>・平成28年度受診率については、平成29年3月末時点の集計結果であり未確定。 ・医師会等の各機関にポスターの掲示依頼や、保健センター等のイベントや市政だより・CATV等で啓発を実施。未受診者に対してはハガキでの再案内を実施、平成28年度は受診勧奨はがき送付後に雇用スタッフから対象者に電話をかけ再度勧奨する、コール・リコール制度の導入した。また、受診率の低い若年層(就労年齢)の受診を促進すべく、休日に集団健診を2回実施。協力が得られた8医療機関にて休日健診を延べ13回実施。市政だより11月15日号保存版にて曜日別医療機関を掲載した。また、通院中・治療中の方への特定健診受診勧奨としてチラシを作成し、各医療機関に配布、設置を依頼した。雇用保健師による重複・頻回受診者への訪問指導を実施。対象者32名中約9割となる26名に健康相談及び適正受診の指導ができた。平成27年度に策定したデータヘルス計画に基づき事業を実施した。</p>								
改善すべき点	<p>・本市の特定健診受診率は、平成27年度は前年度に比べ1.7%増加しているものの、未だに大阪府平均を下回っており、受診率向上が課題である。引き続き、より効果的な受診勧奨・対象者選定を行う必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・生活習慣病で現在通院・治療中の方への受診勧奨を医療機関と連携し、特定健診受診率の向上を図るとともに、受診結果から必要な対象者への受診勧奨・保健指導等を行い、重症化予防へとつなげていく。また、糖尿病性腎症重症化予防事業を拡充し透析移行予防のための新たなプログラムの実施を予定している。 現在実施中の第1期データヘルス計画及び第2期特定健康診査等実施計画の評価及び第2期データヘルス計画の策定を進めていく。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	2

所属	経済部 経済総務課
----	-----------

実施計画事業名	中小企業融資事業				平成28年度 目標達成度	A
事業概要	中小企業の円滑な資金繰りや、安定した経営を支援するため、公的融資を実施する。また、クリエイション・コア東大阪において、総合的な融資相談を行う。					
指標①	「東大阪市小規模企業融資制度」による融資を受けた中小企業者の満足度				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	80%	80%	80%	A	目標②	
実績①	94%	94%	-		実績②	
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府市町村連携型融資である「小規模企業融資制度」について、昨年度に引き続き取扱金融機関へ預託を行い、大阪府下において最も低利である0.8%の貸付利率を引き続き実現した。 					
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度は、大阪府制度融資の小規模企業サポート資金における市町村連携型として実施するものであり、制度の実施は府の動向に左右される。 					
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に引き続き、融資制度のチラシを作成し関係機関への設置を依頼するとともに、市の施策説明会等において広報を行い、広く周知を図る。 					

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		住工共生のまちづくり事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		本市にとって重要な存立基盤の一つである製造業の集積維持や継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境の両立をめざす。							
指標①	相隣環境対策支援補助金の活用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5件	7件	10件	D	目標②				
実績①	3件	2件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生のまちづくり条例第11条に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区について、水走地区、高井田地区を選定し、両地区内の支援施策について検討を実施した。 立地促進補助金について、補助期間を3年から5年に変更するなど制度の拡充を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生にかかる補助金施策について、活用件数が少ないものがある。 条例に基づき、施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRを積極的に行う。 								

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		モノづくりのまちイメージアップ事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		市内モノづくり企業の優秀性を学生・女性等に向けてわかりやすく発信することにより、モノづくりのまちのイメージを高める。							
指標①	市内大学生への媒体配布数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	10,000枚	-	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成28年度)	・特になし								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		知的財産支援事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		市内製造業が知的財産を創造・活用することを推進し、製品の高付加価値化への転換を図ることを支援する。							
指標①	産業財産権活用事業補助金の活用				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	10件	10件	10件	D	目標②	/			
実績①	1件	2件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・問い合わせはあるが、実際に申請に至るまではいかず、申請は2件となった。								
改善すべき点	・特許に関するものということもあり、範囲が狭い。								
平成29年度に向けた改善策	・特許以外への補助や、補助金ではなく、セミナー等別の支援方法についても検討をする。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名	東大阪デザインプロジェクト事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要	世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、本市製造業の高い技術力と融合させていくことで、付加価値の高いオリジナル製品を創出する。									
指標①	本プロジェクトを通じて誕生・改良した製品数				指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	3製品	3製品	3製品	A	目標②					
実績①	3製品	3製品	-		実績②					
事業実績 (平成28年度)	<p>【プロモーション】 東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2015」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数:7, 378人)</p> <p>【デザイン製品開発】 デザイン製品を志向する市内中小企業に対し、新製品開発を実施。(3製品)</p> <p>【セミナー・アドバイス会】 諸外国でのデザインに関する動向や製品開発におけるデザインに必要な視点、デザイン性を高めることによる効果などの解説と併せて製品アドバイス会を実施。(2回開催)</p>									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン資源への重要性を啓発していくとともに、デザイン製品開発に参入できる環境を整えていく必要がある。 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイナーやクリエイターとの交流の場を提供し、市内モノづくり企業がデザイン製品開発に参入できる環境を整える。 									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		産業技術支援センター機器整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		製品の精度を精密に測定する機器などの整備を行い、市内製造業の技術力などの向上につなげる。							
指標①	測定機器等の利用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2,300件	2,300件	2,300件	A	目標②				
実績①	2,379件	2,344件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度は前年度の利用件数を若干下回ったものの、近年は高い水準を維持している。機器整備に関しては、利用頻度の高い、精密万能試験機を導入した。								
改善すべき点	・一部の既存機器が経年劣化し、機器が使用できなくなりつつあるため、利用者のニーズを踏まえ、予算の範囲内で、随時、既存機器を更新する必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・利用者のニーズ、機器整備の必要性等を見極めながら、機器の導入・更新を行なっていく。今年度はCNC三次元測定機を更新する予定である。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		高付加価値化支援事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市内中小製造業者が単独又は2社以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造や技術研究を促進する。							
指標①	高付加価値化促進事業助成金の活用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	10件	10件	10件	B	目標②				
実績①	10件	8件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・高付加価値化促進事業一般枠7件、産学連携枠1件の計8件を採択。環境配慮型については申請なし。								
改善すべき点	・補助事業終了後の、企業フォローアップが不十分である点。								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・一般枠については、最終製品の開発に注力するため、技術開発ではなく製品開発をする事業者への支援とする。 ・ワンストップコーディネーターによる販路開拓までのフォローアップを行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		次世代モノづくり啓発事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		小学校でのモノづくり体験教室の実施や少年少女発明クラブの支援により、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。							
指標①	モノづくり体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5,000人	5,000人	5,000人	A	目標②	85%	85%	85%	B
実績①	5,146人	5,058人	-		実績②	80%	80%	-	
事業実績 (平成28年度)	<p>【モノづくり教育支援事業】 のべ70校、165クラス、5,058人が当事業に参加した。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 開催回数28回、のべ639人が参加した。</p>								
改善すべき点	<p>【モノづくり教育支援事業】 参加者の増加を図りたいが、その分企業への負担が増えてしまう。体験メニューを増やすことで、負担を分散させる必要がある。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持していきたい。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>【モノづくり教育支援事業】 体験教室を広く周知し、参加企業を増やすことで参加者の増加を図っていきたい。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		東大阪ブランド推進機構補助事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要		東大阪市から誕生した製品の魅力を都市ブランドとして発信することにより、認定製品の販路開拓につなげるとともに、「モノづくりのまち東大阪」の都市イメージの向上を図る。									
指標①	ブランド認定製品数				指標②	/					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	140製品	145製品	150製品	B	目標②	/					
実績①	143製品	137製品	-		実績②	/					
事業実績 (平成28年度)	<ol style="list-style-type: none"> 東大阪ブランド推進機構の理事を中心に、会員定例会などを実施。 新規に5社6製品を東大阪ブランド製品に認定。 テクノメッセ東大阪などで東大阪ブランドのPRを実施。 大阪商業大学の学園祭への出展。 地域向けのイベントとして「モノづくりひろばHIGASHIOSAKA」を開催。 「大切なだれかのために考えた第二回発明品アイデアコンテスト」を実施。 										
改善すべき点	・会員企業の意味統一及び団体運営のための収入源の確保(会員数の増加)が課題である。										
平成29年度に向けた改善策	・平成29年度中に、事務局を移転する。また、認定についても、東大阪ブランド推進機構での認定から、市の認定へと変更し、ブランドの信用力・価値の向上を図る。										

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		国内外販路拡大事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市内製造業の国内外へのさらなる販路拡大を図るため、見本市などへの出展の支援を行う。							
指標①	見本市等出展支援事業助成金の活用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	25件	25件	25件	B	目標②				
実績①	47件	24件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度については9月から2回にわたり募集を行った。募集期間を年度末近くへ延長するなど、幅広い展示会への出展支援をできるようにした。								
改善すべき点	・国からの交付金の決定が年度途中と遅く、十分な募集期間を設けることができなかった。								
平成29年度に向けた改善策	・募集期間を年度始まりから約1年間にできるよう拡充する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		東大阪市技術交流プラザ事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市内製造業の情報発信・販路開拓を支援するため、企業検索などができるサイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。							
指標①	サイト全体のページビュー数				指標②	技術交流プラザ登録企業数			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	740,000件	760,000件	780,000件	B	目標②	1,180件	1,220件	1,260件	B
実績①	651,668件	645,176件	-		実績②	1,197件	1,210件	-	
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行った結果、49社から新規申し込みがあった。 ・1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展を行った。 ・利用者にとって、より使いやすいサイトとするため、サイトリニューアルを実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・49社から新規申し込みがあったが、登録に至った件数は20社であり登録率が低い。 ・アクセス数が減少傾向にある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録企業への積極的な広報 ・展示会への出展や広告事業による利用者数の増加 ・企業検索機能の最適化 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

実施計画事業名		モノづくりワンストップ推進事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		販路系コーディネーターがモノづくりの現場へ赴き、販路開拓支援を行うとともに、市等の施策情報を提供する。また、技術系コーディネーターが発注案件を市内モノづくり企業へつなぎ、受注拡大を図る。				平成28年度 目標達成度		C	
指標①	相談対応・企業訪問件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5,550件	5,550件	5,550件	C	目標②				
実績①	5,147件	3,769件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各コーディネーターが市内企業を訪問し、市・府・国の施策を紹介、申請サポートをするとともに企業の抱える課題・ニーズの掘り起こしを行い、適切な支援機関へつなぐ等のサービスを実施。また、さまざまな発注案件に対応した企業を紹介した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 市内の技術力について把握できていない部分がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 技術系コーディネーターによる補助金採択企業へのフォローアップ等による、技術面のデータベース構築 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名					観光振興事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					観光客の誘致、本市のイメージアップなどを図るため、東大阪観光協会などの関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRに取り組む。また、東大阪物産観光まちづくりセンターなどと協力して積極的に市の魅力情報を発信する。						
指標①	観光振興補助金への応募件数				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	2件	2件	2件	A	目標②						
実績①	2件	2件	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・市内飲食店を中心とした観光関連団体が実施する「バル」イベント(布施えびすバル、小阪・八戸ノ里なのはなバル)に対し、観光振興補助金交付により支援した。										
改善すべき点	・特になし										
平成29年度に向けた改善策	・DMOの設立に伴い、観光振興事業補助金を終了し、平成29年度においては地域密着型支援事業という大きい仕組みのなかでの支援を実施していく。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		空き店舗活用促進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		商店街が空き店舗などを活用して来客の増加やまちの活力・にぎわい回復事業を行う際、補助金の交付やアドバイザーの派遣を行う。							
指標①	空き店舗活用促進事業の実施件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	3件	4件	4件	A	目標②				
実績①	3件	5件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに新規店舗についてはアドバイザー派遣も実施した。</p> <p>商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合（継続・飲食店）</p> <p>商店街の魅力を高める店舗：八戸ノ里商店会（継続・物販）</p> <p>商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合（新規・飲食店）</p> <p>商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合（新規・サービス業）</p> <p>商店街の魅力を高める店舗：瓢箪山中央商店街振興組合（新規・物販）</p>								
改善すべき点	<p>・補助金を活用する団体が偏重している。また、アドバイザー派遣による店舗運営のアドバイスを店主が実践できているかどうか見守るなど、継続した店舗運営に向けた支援が必要である。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・従来の改装費補助、賃借料補助に加え、開業店舗の来街者への認知度向上や誘客促進による安定的な経営のための布石として、開業店舗の積極的PRのための広告経費を補助対象とする。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		商店街コンシェルジュ事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		モデル商店街においてお店の案内、買い物支援等を行うコンシェルジュを配置し、高齢者や障害のある人に優しい商店街づくりを進める。							
指標①	コンシェルジュの案内件数				指標②	/			
指標の 説明・計算式	/				指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	3,000件	3,000件	3,000件	D	目標②	/	/	/	/
実績①	621件	867件	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<p>・今後の高齢社会に対応した商店街づくりを推進し、地域の生活拠点、身近な買物場所としての商店街の存在を改めて確立、訴求することで商業振興ビジョンの推進とともに商店街活性化及び近隣住民(消費者)の暮らし向きを向上することを目的に、石切参道商店街振興組合をモデル地区とし、主に下記の取り組みを支援した。</p> <p>来街者の多い日曜日に案内所を開設するとともに、コンシェルジュを配置。</p> <p>来街者(観光客含む)に対し、商店街や店舗の案内及び地域情報の提供。</p> <p>来街者(観光客含む)のニーズに応じ、手荷物の一時預かりサービスを実施。</p> <p>来街者(観光客含む)に対し、無料の貸し杖サービスを実施。</p> <p>来街者(観光客含む)及び案内業務利用者に対しアンケート調査を実施。</p>								
改善すべき点	<p>・案内件数については実施団体の立地や事業期間などの条件によって異なるため、案内件数による評価だけでなく事業実施による効果についても捕捉、確認していく必要があった。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・平成28年度で事業を終了したが、利用者、商業者及びコンシェルジュ役の学生という多方面でのアンケートを実施。</p> <p>アンケートから得られた結果を分析し、今後の事業展開に役立てていく。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		地域密着型支援事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。							
指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	25団体	25団体	25団体	C	目標②				
実績①	20団体	19団体	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内商店街、小売市場などの団体が盆踊りや夜市などのイベントを行う場合、にぎわいづくり事業補助金を交付する。 東大阪布施商店街振興組合など19団体へ交付 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体の数を増やすとともに、事業実施にあたっては来店者の増につながるような工夫について検討してもらえるよう周知したい。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 商店街事業の魅力を発信し、来客を呼び込むツールとして広く周知し、商店街への一層の支援を図りたい。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		高齢者に優しい商店街づくり事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		商店街とまちづくり団体が協働で実施するまちづくり活動（高齢者または障害者支援にかかわる活動）を公募により実施し、高齢者や障害のある人に優しい商店街づくりを進める。							
指標①	企画提案型事業への申請団体数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	3団体	3団体	3団体	D	目標②	/			
実績①	2団体	0団体	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度については、2度公募を行ったが応募がなかった。								
改善すべき点	・平成28年度については応募がなかった状況であり、今後は商店街等の団体が小規模でも取り組みやすい事業を整える必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度より委託事業から補助事業に制度を変更し、小規模でも申請しやすい制度にする。 ・補助対象事業を他の商店街等でも取り組めるものに厳選し例示することで申請件数を増やし、市内の商店街への波及を図りたい。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		商業振興コーディネート事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		特色ある商業集積地づくりのため、商業振興に意欲的な商業集積地を選定し、商業振興に関する事業提案を支援するとともに、取り組み成果を普及させる。							
指標①	コーディネート希望する商店街からの応募件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	2団体	2団体	2団体	A	目標②	/			
実績①	1団体	2団体	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> モデル地区コーディネートについては、平成27年度に引き続き、若江岩田商業集積地(岩田本通商店街および若江岩田きらりプロジェクト)を採択し、商店街の垣根を超えた若手店主の新たな活動を支援し、商業集積地としての活性化を図った。 個店支援コーディネートについては、2019年に花園ラグビー場が会場となるラグビーワールドカップ2019を契機とした経済活性化を見越して、ラグビーに因んだ食品の製造小売を行う商店を集め、情報発信や効果検証等を行いながら、東大阪市の新たな名物となる商品の発掘および個店の活性化に資する調査を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> グループ等で活動をするにあたり、ノウハウの蓄積等を見据え、イベント運営や事務に係る部分をマニュアル化した。これを活用することも含め、コアメンバーへの負担の偏りを縮減し、自立した組織運営を支援していく。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> これまでの成功事例や成果情報を共有するなどにより若手事業者や意欲のある店主グループが連携し、具体的な事業実施につなげることができるようサポートを行い、地域商店街の自立的な活動につなげたい。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		個店経営者育成セミナー事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		商業者や創業予定者を対象に「東大阪あきんど塾」を開講する。商店経営のあり方や個店の魅力向上をテーマにしたセミナーを実施するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣し、売上向上の為のアドバイスを行う。							
指標①	あきんど塾受講者満足度				指標②	/			
指標の 説明・計算式	/				指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	90%	90%	90%	B	目標②	/			
実績①	73%	80%	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)		・平成27年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施した。 ・商店経営の概略やマーケティング、マーチャライジング、経営分析等の研修実施により、経営者のスキルアップを図った。 ・カリキュラム内容と参加人数は次の通り。 ①商店経営概論(7名)②自社のコンセプトと顧客選定について(4名)③自社・自店の強みの再確認(5名)④競合分析(6名)⑤セールストーク強化(6名)⑥商品展開(8名)⑦販売促進(6名)⑧顧客をリピートさせるしくみ化(7名)⑨経営者がお金を残すための経営管理(7名)⑩事業計画発表(7名) 合計10回の講義に加え、臨店指導(アドバイザー派遣)を実施し座学と現場の両面から個店支援を図った。							
改善すべき点		・これまで論理中心の講義内容であったので、店舗経営の実践に活用できる内容も盛り込めたが、受講生が定員に満たなかったことから、より効果的な広報手段を検討し、受講生の確保に努める。							
平成29年度に向けた改善策		・平成28年度受講生アンケートを踏まえ、受けて良かった講義として挙がっているものをカリキュラムに盛り込むとともに、店舗経営で役立つ実践編のテーマも加える。 ・経営改善や創業に意欲的な受講生確保のため、より効果的な広報手段を検討する。							

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名					元気グループ推進支援事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					商店街組織を構成する商業者が、他地域の商業者やモノづくり企業、農業者などと連携して、地域商業を活性化させる取り組みに対し、コーディネーター派遣により地域商業の経済的機能強化を図る。						
指標①	コーディネートを希望する意欲的な商業者グループからの応募件数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	1件	1件	1件	A	目標②	/					
実績①	1件	1件	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	<p>・平成27年度引き続き、布施駅北部三番街・四番街商店街の若手店主を中心とした、布施三・四会を支援した。平成28年度は、平成27年の座学研修や合意形成を踏まえて、商店街の恒常的な顧客づくりの第一歩として、子育て世代層を対象とした商店街スタンプラリー「ブランドーリ似顔絵クエスト」を実施した。</p>										
改善すべき点	<p>・特になし</p>										
平成29年度に向けた改善策	<p>・本事業で得た成果物なども活用し、今後の自立的な活動をすすめていただけるよう支援していく。 (元気グループコーディネート事業は平成29年度より商業振興コーディネート事業へ統合)</p>										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	4

所属	経済部 商業課
----	---------

実施計画事業名		共同施設設置助成事業							
事業概要		買い物しやすいまちづくり、安全・安心な買い物環境づくり、商店街の魅力づくりのため、商店街などの小売商業者で組織する団体が実施するアーケードや街路灯・防犯カメラなどの整備に対し、補助金を交付する。				平成28年度 目標達成度		B	
指標①		小売商業団体への補助金交付件数			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5件	5件	5件	B	目標②				
実績①	9件	4件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)		・市内小売商業団体4団体に対し、防犯カメラの設置や街路灯・アーケード照明のLED化などの事業へ補助金交付を実施した。							
改善すべき点		・特になし							
平成29年度に向けた改善策		・平成28年度については、引き続き商店街等の「安心安全づくり」と環境整備推進のため、本事業の周知と有効活用を図りたい。 ただし、防犯カメラの設置については、平成29年度以降は市が行うため、本助成事業から対象を外すもの。							

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業								平成28年度 目標達成度	D
事業概要	市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。									
指標①	就職をサポートした学生や女性の人数				指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標① (ニーズ調査)		100人	100人	D	目標②					
実績①	102社	1人	-		実績②					
事業実績 (平成28年度)	<p>○東大阪市若者就活応援事業 企業・人材交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就活スタート応援イベント「カフェトーク」in梅田…合同企業説明会、企業プレゼンテーション、セミナー、企業の若手社員と参加者との意見交換会、履歴書証明写真撮影会、就職活動個別相談等を実施 (日時)平成29年2月21日 12:00~17:00 (場所)大阪市北区 ラグナヴェールプレミア (参加企業) 4社 (参加者数) 51人(うち大学3年生以下32人、4年生7人、既卒者等12人) ・就活スタート応援イベント合同企業説明会「カフェトーク」…合同企業説明会、セミナー、就職活動個別相談等を実施 (日時)平成29年3月10日 10:00~17:00 (場所)大阪市中央区 パソナグループビル (参加企業数) 12社 (参加者数) 41人(うち大学3年生以下20人、4年生6人、既卒者等15人) <p>○東大阪市若者就活応援事業 モノづくりのまち東大阪プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モノづくりのまち東大阪」を知らない若者にモノづくりの魅力を知ってもらうために、機械、工具、大型の部品から歯ブラシやブロックなどの小型のプラスチック製品等に至るまで、その全てをMADE IN HIGASHI OSAKAの製品で組み立てた「ピタゴラ装置」を制作し、連続したユニークな動きの動画を作成。あらゆるモノが東大阪市で作られていることも同時にアピールし、「モノづくりのまち東大阪」の周知に努める。 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・人材交流事業については、求職者売り手市場であることもあり、参加者は51人と41人であったが、参加企業及び参加者アンケートにおいても「大変満足」、「満足」が大半を占め、アウトプット指標を見ると概ね良好な結果となった。また、2回とも東大阪市内で開催された就職イベントであるが、これは市としても初めての試みであり、特に1回目については、その会場が結婚式場であったことや、企業の若手従業員の本音話を聞けることなどから、メディアに取り上げられるなど話題性もある事業となった。ただし、メインターゲットとなる参加者が、これから就職活動を行う層、すなわち大学3年生以下の学生であったことから、アウトカム指標である就職者数の把握は結果的に困難となっている。(実績は、大学4年生及び既卒者のうちの就職者数) ・モノづくりのまち東大阪プロモーション事業については、平成28年度は動画を撮影し映像媒体に落とし込みを行った。効果的な使用方法やSNS等を通じた拡散を今後検討して行く必要がある。 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度以降は、7月にオープンを予定している布施の就活応援窓口において、学生や卒業後3年以内の者、復職又は再就職を目指す女性をメインターゲットに、相談やセミナー等を通じて、その就職を支援していくが、企業・人材交流事業で実施した市外での合同企業説明会等も実施する予定である。布施の窓口については、若者就活応援事業と比較して、事業者の受託期間が長く、また事業者が交代した場合でも、事業内容に継続性があることから、継続した追跡調査を行っていただくことで、アウトカム指標である就職者数の把握に努める。また、モノづくりのまち東大阪プロモーション事業で作成した映像媒体については、SNS等での拡散を行うとともに、布施の事業者にも、その活用法を提案していただくことで、効果的なPRを図る。 									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名	ワークサポート事業	平成28年度 目標達成度	A
事業概要	勤労者の処遇や労働条件について、相談業務を行うとともに、働く意欲がありながら就労できない障害者やひとり親家庭の母親、中高年齢者などの就職困難者を対象として雇用・就労の支援を行う。		

指標①	労働相談件数				指標②	就労支援相談件数			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	240件	250件	250件	B	目標②	240件	250件	250件	A
実績①	235件	208件	-		実績②	240件	317件	-	

事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 労働相談事業…経済部労働雇用室に専任の労働相談員を配置し、賃金、労働条件、社会保険等の労働相談を実施した。 (内訳)解雇関係13件、賃金関係36件、税金関係9件、労働条件関係45件、保険関係60件、職業紹介関係25件、その他20件 地域就労支援事業…障害者や母子家庭の母親、中高年齢者等で、働く意欲がありながら何らかの阻害要因を有している就労困難者等を対象として、市内3ヶ所の就労支援センターで、コーディネーターが関連機関と連携を取りながら、その就労を支援した。 (内訳) 永和就労支援センター 相談件数 30件(うち新規相談件数30件) 就職者数 0人 長瀬就労支援センター 相談件数222件(うち新規相談件数20件) 就職者数 5人 意岐部就労支援センター 相談件数 65件(うち新規相談件数21件) 就職者数 5人
------------------	---

改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 労働相談事業については、労働雇用環境が複雑化・多様化する中、さまざまな労働問題が発生していることから、より一層の周知に努め、利用を促進する必要がある。 地域就労支援事業については、生活困窮者自立支援法が施行され、その関連事業とのかかわりから、一定の整理を行っていく必要があり、また、就労支援コーディネーターのスキルアップにも取り組んで行く必要がある。
--------	--

平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 労働相談事業については、さらなるPRに努めていく。 地域就労支援事業については、平成28年度までの受託団体であった一般財団法人東大阪市雇用開発センターが廃止となったことから、3ヵ月程度の市直営期間を経て、布施の就活応援窓口事業の受託事業者に委託を行う予定であることから、就労支援コーディネーターの一定のスキルアップが図れるものと考えられる。 地域就労支援事業は大阪府の主導で、府下全市町村で実施している事業であることから、そのあり方の検討について大阪府に要望を行った。
---------------	--

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		若年者等就業支援事業							
事業概要		情報誌の発刊や研修、就職面接会の開催等により、若年者等の早期就職、常用雇用の実現、雇用機会の創出を支援する。				平成28年度 目標達成度		D	
指標①	就労支援によって就職した人数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	80人	80人	80人	D	目標②	/			
実績①	39人	36人	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり人材育成塾 技術コース…技専校での基礎的な技術の習得と企業での実習を併せて実施し、モノづくり企業への就職につないだ。 (期間)平成28年10月14日～11月11日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術訓練校、実習受入協力企業 (参加者数) 20人 (就職者数) 16人 ・就活応援フェスティバル…就職必勝セミナーと求人企業・事業所合同説明会を併せて実施した。 (日時)平成28年8月23日 12:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 25社 (参加者数) 91人 (就職者数) 6人 ・「東大阪スタイル」の発行…モノづくり企業で働く若者や働く人の基礎知識、各所相談窓口等を紹介する冊子を発行し、市内全戸配布するとともに、主要高校、大学、公共施設等に配布した。 (発行日)平成28年8月15日 (発行部数) 205,000部 (就職者数) 2人 ・東大阪モノづくり企業合同就職面接会…モノづくり企業に限定した面接会を開催した。 (日時)平成29年2月3日 13:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 25社 (参加者数) 153人 (就職者数) 12人 								
改善すべき点	<p>・ここ数年の求職者の売り手市場の中で、参加者数の減少が続いており、そのことにより就職者数も伸び悩んでいる。一方で、市内企業は人手不足に悩んでおり、イベントに参加した者が就職できる確率は高くなっている。このことから、参加者数を増やすことが重要な課題となっている。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・限られた予算の中で、ハローワーク布施の前で求職者にちらしを配るなど、受託事業者には地道な努力をいただいている。今後は、今年度開設される布施の就活応援窓口やその他関係機関等を通じた広報についても検討してゆきたい。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		就労困難者就労支援事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要		事業主に対する障害者雇用奨励金の支給や障害者就業啓発、若者の自立のために訪問相談や仕事体験などの取り組みにより、障害者、ニート、ひきこもり、就業意欲の低い若者等の雇用・就労に向けた支援を行う。									
指標①	障害者雇用奨励金支給件数				指標②	ニート・ひきこもりなど若者の進路決定件数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	12件	12件	12件	A	目標②	200件	200件	200件	C		
実績①	17件	17件	-		実績②	128件	108件	-			
事業実績 (平成28年度)	<p>・障害者雇用促進事業…障害者の就業促進を図るため、国の特定求職者雇用開発助成金の制度等を利用して障害者を雇用した市内の事業主に対し奨励金を支給した。 (支給件数) 17件 (支給事業所数) 5事業所</p> <p>・若者自立支援援助事業…国の地域若者サポートステーション事業を受託している若者自立支援機関に、本来の相談業務とは別に、職場実習や各種セミナー、パソコン講座等の事業を委託し実施した。 (相談件数) のべ 2304件 (職場実習・各種セミナー・適性検査・PC講座) のべ 389名 (講演会(サポフェス)) 1回開催 39名 (卒業者向けセミナー) 6回開催 のべ28名 (進路決定) 108名(うち就職108名、その他(起業・自営等)0名)</p>										
改善すべき点	<p>・障害者雇用奨励金については、件数は伸びているが、支給実績が一部の特定子会社や就労継続支援事業所に集まっているため、幅広い事業所の利用を促進する必要がある。</p> <p>・若者自立支援事業については、求職者の売り手市場の中、新規の相談者数が減少し、そのことから進路決定数も減少している。そのことは、総務省統計局の労働力調査で常に60万人台で推移していた若年無業者(ニート)の数が、平成27年度56万人、平成28年度57万人(速報値)と減少傾向にあることから明らかである。ただし、一人当たりの相談件数は増えており相談件数は減少していない。今後も、新規相談者を増やすため積極的な掘り起こしを図る必要がある。</p>										
平成29年度に向けた改善策	<p>・両事業とも、今後も積極的なPRに取り組んでゆく。</p>										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

実施計画事業名		若年者等トライアル雇用事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		若年者等を雇用し、国のトライアル雇用奨励金の支給を受けた事業主に対して、トライアル雇用支援金を支給することにより、雇用のミスマッチの解消及び企業の人材確保を図る。							
指標①	支援金支給件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	50件	50件	50件	D	目標②	/			
実績①	4件	2件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・若年者等トライアル雇用事業…国のトライアル雇用奨励金を受給して、求職者を雇用した事業主に若年者等トライアル雇用支援金を支給した。 (支給件数) 2件 (支給事業所数) 2事業所								
改善すべき点	・ピーク時(平成22～23年度)に50件を超えていた支給件数が、年々減少してきている。								
平成29年度に向けた改善策	・基本的に国のトライアル雇用の制度を利用した上で受給できる支援金であるため、国の支給件数が減少している要因を調査し、必要であれば見直しを行う。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	1

所属	経済部 農政課
----	---------

実施計画事業名		農業啓発推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。							
指標①	取組事業参加人数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②				
実績①	1,122人	1,100人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・ファームマイレージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。								
改善すべき点	・ファームマイレージ運動の推進により、実績が上がっているため、今後も実績が上がるように継続していきたい。								
平成29年度に向けた改善策	・より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心・理解を広め、高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	3

所属	経済部 農政課
----	---------

実施計画事業名		都市農業活性化農地活用事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。							
指標①	大阪エコ農産物栽培面積				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,300a	1,350a	1,400a	A	目標②	/			
実績①	1,924a	3,138a	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数77件 補助金交付額32,261,000円 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> H28年度は目標を上回ったが、農家、耕作面積の減少が続いているため、H29年に向けても実績が維持できるようにしていきたい。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 農業の振興及び農地保全に繋がる様、補助金交付実施基準を見直し、改正する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	4

所属	経済部 農政課
----	---------

実施計画事業名		ファーム花いっぱい咲かそう事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を進める。							
指標①	花の栽培面積				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	50,000㎡	50,000㎡	50,000㎡	A	目標②				
実績①	47,334㎡	56,581㎡	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数32件 補助金交付額3,364,000円 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向けてより一層、本事業の農家への周知を継続して進める。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 農家へ向けた広報をより一層行って、本事業の農家への周知を継続して進める。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	2

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名	公共施設再編整備事業(総合福祉センター再整備)	平成28年度 目標達成度	B
事業概要	「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、総合福祉センターに新貸館施設、高井田老人センター及び社会福祉協議会が入居する複合施設を再整備する。		

指標①	基本設計は完了。実施設計の調整を行い、7月に工事積算を提出する予定。平成28年第3回定例会補正予算提出予定。				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	設計	工事	工事	B	目標②	/			
実績①	継続中	継続中	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	・平成29年度からの工事着手に向け、関係機関と調整のうえ、設計業務を実施。 (総合福祉センター改修その他工事に係る設計業務委託料30,402,000円(内9,000,000円については前金払い))
------------------	---

改善すべき点	・スケジュールの再確認及び関係者間での課題の把握。
--------	---------------------------

平成29年度に向けた改善策	・工事の進捗状況の把握及び関係機関との調整を行うことで、円滑なスケジュールの進行に努める。
---------------	---

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	1

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名		避難行動要支援者助け合い事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		災害時に自ら避難することが困難な人について、あらかじめ必要な情報を登録した名簿を作成し、地域の福祉関係者や団体へ配布することにより、災害時の避難支援など、地域で支えあう仕組みづくりを進める。							
指標①	避難行動要支援者名簿(同意者版)新規登録者数(人)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,300人	1,300人	1,300人	A	目標②	/	/	/	/
実績①	987人	3,983人	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿 23,072人(平成29年4月1日現在) 障害者登録件数 5,057人 高齢者登録件数 17,048人 その他 3,395人 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時及び災害時の情報共有や名簿を活用した支援方法などについて、危機管理室、社会福祉協議会の災害ボランティアセンター等と連携して継続して検討していく必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者情報の共有及び活用について、危機管理室等の関係部署・機関と連携してあらためて整理する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	2

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名	コミュニティソーシャルワーカー配置事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要	支援の必要な高齢者、障害者、子育て中の親などやその家族からの相談に応じ、地域と関係機関、専門的な相談先との間に立って「つなぎ」の役割を果たす「コミュニティソーシャルワーカー」を地域に配置する。									
指標①	個別相談延べ件数				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	32,000件	32,000件	32,000件	A	目標②	/				
実績①	55,289件	48,787件	-		実績②	/				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市内に2中学校区に1名の割合で、13名のコミュニティソーシャルワーカーを配置。 ・コミュニティソーシャルワーカー活動内容 相談件数(相談内容種別延べ件数) 48,787件、相談者数 1,114名、アウトリーチ 1,692件 リージョンセンター出張相談 各月1回、連絡会、研究会を各月1回実施 社会福祉協議会の地域担当職員と連携して東・中・西地域で地域福祉ネットワーク推進会議を開催 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なアウトリーチによる支援、ネットワークづくりをおこなう。また、社協地域担当職員との連携により、定期的にネットワーク推進会議を実施することにより、分野を超えた関係づくりを強化し、複合的な課題をもつ要援護者の支援につなげる。 また、生活困窮者自立支援法の施行や地域包括ケアシステムの構築に伴い、それぞれの実施主体との連携を深め、さらにきめの細かい対応をしていく必要がある。 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する複合多問題ケースへの対応として、社会福祉協議会地域担当職員との連携や、ネットワーク推進会議といった支援者間同士のネットワークづくりを強化し要援護者が抱える問題に迅速に対応していく必要や、子育て世帯への支援として学校関係者と連携して対応していく必要がある。 									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	3

所属	福祉部 福祉企画課
----	-----------

実施計画事業名		小地域ネットワーク活動推進事業				平成28年度 目標達成度		未	
事業概要		見守りや支援が必要な人に対して、地域住民と関係機関が協働で支え合う取り組みとして、声かけ・見守り活動などの個別援助活動や、ふれあい食事会、いきいきサロンなどのグループ援助活動を実施する。							
指標①	グループ援助活動延べ参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	93,000人	93,000人	93,000人	未	目標②				
実績①	104,213人	未	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・28年度事業実績については、現時点で各校区からの報告が揃っていないため、未集計								
改善すべき点	・既ね各リージョン単位で配置している社会福祉協議会の地域担当職員が積極的に各校区の活動に参加し、協力することにより信頼関係を構築し、地域福祉ネットワークの基盤を構築しているが、地域によっては活動に参加する人に偏りがある場合や、活動の継続性等が課題となっている。								
平成29年度に向けた改善策	・地域担当職員間での情報共有や、各地域で行われる取り組みに積極的に参加し他地域での取り組み紹介等を行う事で、地域での取り組みが活性化するような提案や仕掛けづくりを行う必要がある。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	20	1

所属	福祉部 生活福祉室
----	-----------

実施計画事業名		生活困窮者支援事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		生活保護に至る前の段階からの早期の支援を行う相談窓口を新たに設置する。就労支援、緊急的な支援、家計再建支援などの事業を一体的に行うことで、生活困窮者の自立を促し、生活保護に至らないように支援する。									
指標①	自立相談支援事業の相談者数				指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	240件	280件	320件	A	目標②						
実績①	910件	885件	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	<p>・本制度は平成27年度から施行され、相談体制を直営とし本庁8階に窓口設置したことで、今まで、市の徴収部門や相談部門、社会福祉協議会、ハローワーク、地域包括支援センター等が個別の事案ごとに対応していたものを、コーディネートし包括的に相談対応することが可能となった。また、要保護世帯に対しても、福祉事務所保護課と協議し、繋ぐことで支援の継続性を担保できている。本年度より全ての事業が本格実施となり、就労支援、弁護士による債務整理相談、家計相談、学習支援等、各種メニューにより生活困窮者の自立支援に取り組むことができた。</p>										
改善すべき点	<p>・当初想定していた件数と比較すると、大幅に上回ったものの、国が示す人口10万人あたり月20件という目安との比較では75%程度にとどまっている。本事業を利用することで生活再建ができるような出口施策の充実と関係部局と連携し相談者を掘り起しする作業の両立できるような執行体制の構築が課題である。</p>										
平成29年度に向けた改善策	<p>・平成29年度は、出口施策の充実を図るべく家計相談事業を拡大し、弁護士相談事業と連携することにより効率的に実施するとともに、高齢者に対しても身体的に健康で就労意欲のある者に対し就労支援を実施することにより、課題解決が可能となるような仕組みづくりに精力的に取り組む。</p>										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	20	2

所属	福祉部 生活福祉室
----	-----------

実施計画事業名	生活保護の適正実施	平成28年度 目標達成度	B
事業概要	生活保護における不正受給・不正請求、医療扶助・介護扶助の適正化と、自立支援、就労支援の取り組みを更に推進する。特に就労支援について、生活保護法に明文化されたことを受け、今まで以上に支援を強化する。		

指標①	母子世帯・その他世帯の稼働率				指標②	/			
指標の説明・計算式	母子世帯・その他世帯に属する稼働年齢層で就労している受給者数/母子世帯・その他世帯に属する稼働年齢層の受給者数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	40%	40%	40%	B	目標②	/			
実績①	38%	39%	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 医療扶助適正化については、各福祉事務所に配置している医療扶助・介護扶助適正化推進員(嘱託職員)による医療扶助・介護扶助の点検も引き続き実施。また、医療機関等への個別指導などにより返還金を徴収した。また、後発医薬品の使用促進のため、各種取組みを実施し、医療扶助費を削減した。 就労支援においては、職員・専門嘱託員・委託業者が連携し、多様な支援メニューで就労支援を実施している。また、平成28年4月から生活保護受給者等を対象としたハローワーク窓口を東福祉事務所内に開設し、中・東地区の就労支援を開始した。
------------------	---

改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 医療扶助については、他法の活用や重複・頻回受診、向精神薬の重複など、指導を強化する必要がある。 就労支援については、ケースワーカーは稼働能力の把握に努める必要があるものの、就労支援に関する知識・ノウハウが不足しており、多様な支援メニューを使いこなせていない。
--------	--

平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> レセプトの分析データを基にした指導の強化と重複・頻回受診、向精神薬の重複については、より効果が上がるような運用を構築する必要がある。 就労支援については、生活困窮者自立支援制度における就労支援と一体的に実施することで効率的・効果的な事業展開を構築する必要がある。また、経済部との連携についても検討する必要がある。
---------------	---

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	1

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名	障害者理解啓発事業								平成28年度 目標達成度	C
事業概要	障害のあるなしに関らず、すべての人が互いに尊重しあい支え合うために、障害のある人に対する正しい理解を深めるための啓発を実施する。									
指標①	ふれあいのつどいの参加人数				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	6,500人	6,500人	6,500人	C	目標②	/	/	/	/	
実績①	4,500人	5,000人	-		実績②	/	/	/	/	
事業実績 (平成28年度)	・平成28年11月12日に東大阪アリーナ・八戸ノ里公園において市内の障害者団体等を中心に構成する実行委員会方式で「ふれあいのつどい」を開催し、障害に対する理解啓発に取り組んだ。12月の障害者週間に駅頭で啓発グッズの配布等のキャンペーンを行った。									
改善すべき点	・目標である6,500人に向け更によりよいイベントにできるよう改善していく。									
平成29年度に向けた改善策	・今年度も障害者各団体等と連携をより密に行い、啓発活動に取り組み、幅広く障害者理解啓発を行う。									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	1

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名		障害者虐待の防止								平成28年度 目標達成度	B
事業概要		障害者虐待の未然防止と早期発見のため、各種啓発や、関係機関との連携を強化し、速やかな支援を行う。									
指標①	改善が見られたケースの割合				指標②	/					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	60%	65%	70%	B	目標②	/					
実績①	54%	56%	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度に虐待通報のあった83件中、虐待認定したのは25件、そのうち年度中に改善が見られたのは14件であった。										
改善すべき点	・関係機関の連携強化・情報共有を図り、それぞれの立場で虐待防止・早期発見に努めるために、障害者虐待防止ネットワーク会議を開催していく。										
平成29年度に向けた改善策	・東大阪市障害者虐待防止センターと連携し、虐待対応チームでフローチャートに沿った虐待対応をしていく。 ・障害者虐待の予防・早期発見のため、市民及び関係機関向けの啓発活動を行っていく。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	2

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名	在宅心身障害者(児)短期入所事業					平成28年度 目標達成度	A		
事業概要	障害者(児)短期入所事業を実施している施設の運営経費に対して補助金を交付し、施設の体制を確保することによって、利用者が利用しやすいサービス基盤を整備する。								
指標①	短期入所事業の年間利用者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	16,500人	17,000人	17,500人	A	目標②	/	/	/	/
実績①	18,582人	18,856人	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・障害児・者の短期入所事業所の利用実績に応じて補助金を運営法人に交付。 (下期未確定につき、上期×2を実績とする。)								
改善すべき点	・短期入所事業所での緊急時利用の際、困難な状況がある。								
平成29年度に向けた改善策	・緊急受け入れ困難な方の受け入れ方法等を検討していく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	2

所属	福祉部 障害者支援室
----	------------

実施計画事業名	障害者グループホーム運営安定化事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要	障害者の日常生活の支援を行うグループホーム事業所の運営経費に対して補助金を交付し、障害者の地域移行を促進する。									
指標①	障害者グループホーム入居者数				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	454人	473人	493人	A	目標②	/	/	/	/	
実績①	620人	620人	-		実績②	/	/	/	/	
事業実績 (平成28年度)	・共同生活援助(グループホーム)の利用実績に応じて補助金を運営法人に交付。 (下期未確定につき、上期×2を実績とする。)									
改善すべき点	・ニーズに対応したサービス供給を図る必要がある。									
平成29年度に向けた改善策	・利用実績等を踏まえ、サービス供給方法等を検討していく。									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	3

所属	福祉部 障害者支援室 子どもすこやか部子ども家庭課
----	------------------------------

実施計画事業名	新障害児者支援拠点施設整備事業								
事業概要	老朽化・狭あい化が進む療育センターと高井田障害者センターを一体化し、各々の機能を再編・強化することで、障害児者のライフステージに応じた専門的な支援サービスを提供する機能を備える新たな拠点施設を整備する。				平成28年度 目標達成度	A			
指標①	新障害児者支援拠点施設整備の進捗状況				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	施工	完成	—	A	目標②	/	/	/	/
実績①	実施中	完成	—		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・平成29年2月23日に竣工後引渡が建築営繕室より行われ、その後、4月1日に竣工記念オープニングセレモニーを開催する運びとなった。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	1

所属	福祉部 高齢介護室 高齢介護課
----	-----------------

実施計画事業名		地域支え合い体制づくり事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		高齢者が住み慣れた地域や自宅での生活をできるだけ長く続けられるよう、公的サービスの枠を超えて、地域の住民や企業が協働して取り組む「互助」の仕組みづくりを推進する。							
指標①	ワンコインサポート事業における地域安心生活サポーター(援助会員)登録者数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	500人	550人	600人	B	目標②	/	/	/	/
実績①	485人	536人	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・H28実績 援助会員数536人 利用会員数978人 利用件数966回 利用回数2,458回 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・援助会員について、平成27年度は56人増加(前年対比約1.7倍)し、平成28年度では51人(前年対比約1.1倍)増加更なる会員増が必要である。 地域によって、援助会員と利用会員の偏りがある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブや街かどデイハウスなど元気な高齢者に同事業の担い手になってもらえるよう、アプローチを検討する。 地域での偏りについては、援助会員が少ない地域で重点的に講座を行うなど、工夫していきたい。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	3

所属	福祉部 高齢介護室 高齢介護課
----	-----------------

実施計画事業名		福祉農園設置事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		高齢者や障害者(児)の相互親睦と健康増進のため、福祉農園を設置し、貸付を行う。									
指標①	福祉農園設置区画数				指標②	/					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	1,005区画	1,065区画	1,125区画	A	目標②	/					
実績①	1,069区画	1,115区画	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度中の新規開設 2か所 (内訳) 横小路福祉農園 20区画、川俣福祉農園 27区画 計 47区画 平成29年3月31日現在 29農園 1,115区画 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度の目標区画数は達成できたが、29年度には1農園減少する予定である。 また、市域全体の分散配置についても検討が必要である。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度には、1農園減少するため、新規農園の増設に向けての検討が必要であり、市予算の負担なしで開設できる事業方策も検討する。 また、新設農園の開設場所については、現在の分布状況も含めて検討が必要である。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	1

所属	福祉部 高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	---------------------

実施計画事業名		地域包括支援センターの機能強化				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		地域包括ケアシステムの構築と、新たな介護予防・日常生活支援総合事業の創設に向けて、中核機関としての地域包括支援センターの機能をより一層強化していく。							
指標①	地域包括支援センターにおける相談件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	36,700件	37,000件	37,300件	A	目標②				
実績①	35,980件	39,590件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター(市内22カ所)における相談件数 約39,590件(見込み) ・地域包括支援センター運営協議会 4回開催(学識経験者を含む委員が事業の実施状況の点検や運営改善に必要な点の提示などを行う) ・各地域包括支援センターへ生活支援コーディネーターを配置(生活支援等にかかる課題やニーズの抽出、社会資源などの把握を行う) ・第1層協議体と第2層協議体の設置(第1層:第2層で抽出された課題を市域全域で検討する場 第2層:各地域包括支援センター担当地域で抽出された課題やニーズについて検討する場) ・地域ケア会議(東大阪市包括的支援事業実施要綱第7条に基づき実施) ①個別支援策検討会議 752回開催(支援困難ケースについて、関係者が集まり支援策を検討するもの。担当の地域包括支援センターが開催、運営する。) ②地域別会議 7地域 計7回開催(地域ごとに活動している支援関係者の連携強化と支援の質の向上を図るもの。事務局はエリア内の地域包括支援センター。) ③高齢者生活支援等会議(第2層協議体) 計24回開催(生活支援等にかかる課題やニーズ、社会資源などに関する情報共有を図るもの。総合事業の開始に伴い、地域別会議より移行し地域包括支援センター担当地域で開催される。事務局は担当地域の地域包括支援センター。) ④企画運営会議 12回開催(地域ケア会議全体の運営を話し合うもの。事務局は基幹型地域包括支援センター。) ⑤機関等代表者会議 1回開催(機関等の代表者が地域ケア会議の活動状況を把握し、機関間の調整を図る。事務局は基幹型地域包括支援センター。) 								
改善すべき点	<p>・個別支援策検討会議が例年増加していることから、支援困難ケースの支援のため今後も関係者の連携強化が必要となってくる。総合的・効果的に高齢者の生活を支えられるようなコーディネート役割の強化という地域包括支援センターの機能強化と地域ケア体制づくりの推進が引き続き求められる。また、高齢者生活支援等会議の定期的な開催や各地域包括支援センターで単位地域ケア会議に取り組めるよう強化を図り、地域包括ケアシステムの構築に努めていく必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・今後も、より多くの支援の必要な高齢者に信頼される相談窓口となるよう、迅速・確実な相談支援に繋げ、より一層の機能の充実に努める。また、地域の関係機関・団体とのネットワークを強め、地域ケア体制づくりの推進を引き続き行う。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	4

所属	福祉部 高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	---------------------

実施計画事業名		高齢者虐待防止事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		高齢者虐待について市民・関係機関への啓発、相談窓口の周知に努め、高齢者虐待の早期発見とすみやかな支援を行う。また、認知症高齢者が虐待を受けやすいことから、認知症についても理解を広める取り組みを進める。									
指標①	認知症サポーター数				指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	15,000人	18,000人	20,000人	A	目標②						
実績①	24,843人	28,766人	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	<p>・虐待疑い事案については、速やかに個別支援策検討会議を実施することが定着し、会議実績回数は増加した。その中で今後の課題・計画・方針を関係機関で共有することによって、目標達成度が明確になり、支援最終の整理が可能となった。虐待防止業務ガイドラインの活用により、関係機関で対応の方法や流れを共有できた。</p> <p>緊急一時保護の居室を増加し対象者の安全確保を円滑に実施できた。</p> <p>認知症徘徊者対策としての徘徊模擬訓練を4か所で実施。</p> <p>認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修を実施。</p> <p>SOSオレンジネットワーク登録者に早期身元確認のツールとなる見守りトライくんシールを配布。</p>										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待事案に適切に対応できるよう体制を整備する。 ・関係機関とさらなる連携をする。 ・認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修充実を検討する。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待疑い事案については、速やかに情報を集約し、アセスメントを実施し高齢者虐待ネットワークにて関係機関と役割分担をし、問題の解決にあたる。また、正確な現状把握に努め進行管理をする。 ・一時保護対象者を精査し入所後の処遇検討が円滑に実施できるよう調整する。 ・認知症徘徊者対策としての徘徊模擬訓練のさらなる実施を目指す。 ・認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修を実施し、サポーターの活動支援を行う。 ・SOSオレンジネットワークシステムの検索実績の評価と見直し。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	2

所属	福祉部 高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	---------------------

実施計画事業名		介護予防・日常生活支援総合事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		平成27年4月の介護保険制度改正による新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートすることを踏まえ、これまでよりも多様な、きめ細かい介護予防サービスを提供し、高齢者の健康増進と充実した在宅生活を支えていく。							
指標①	地域介護予防活動支援・介護予防普及啓発事業参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	32,500人	35,000人	37,500人	B	目標②	/			
実績①	31,448人	33,283人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・平成28年度上期事業の素案策定を行いパブリックコメントを実施、パブリックコメントからの意見を取り入れ介護予防・生活支援サービス事業として6類型のサービス創設要綱案を策定した。下期には多様な担い手の準備期間とし、研修や事業の開始届、事業者の指定申請等を行った。</p> <p>一般介護予防事業としては、口腔機能向上プログラムとして延べ319人、介護予防活動ボランティアリーダー養成講座として延べ378人、元気にトライ！ステップアップ教室として延べ598人、認知症予防教室として135人が参加。</p> <p>地域包括支援センター・保健センター・老人センター・老人クラブにおいても介護予防教室やボランティア養成講座(延べ 31,853人(見込み))を開催。</p>								
改善すべき点	<p>・市民がより多様なサービスを選択できるよう、多様な担い手の参入促進を行うとともに、担い手として活躍する住民主体や事業者が円滑に事業が実施できるよう努めていく必要がある。また、より多くの高齢者に向けて一般介護予防事業への参加を推奨し、生活機能改善に向けた支援についても考慮していく必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・多様で、きめ細かなサービスを提供するため、介護予防・生活支援サービス事業の類型として新たなサービス類型の構築を行う。また多様な担い手のフォローアップの取り組みや、多様な担い手が多様なサービスを提供できる環境を整備する。現行の介護予防教室についても、継続しながら、さらなる事業への推奨を行う。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	5

所属	福祉部 高齢介護室 給付管理課
----	-----------------

実施計画事業名		介護給付適正化事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要		「第3期東大阪市介護給付適正化計画重要事業実施計画」に基づき、介護保険のサービスが適切に給付されるよう取り組む。									
指標①	「第3期東大阪市介護給付適正化計画重要事業実施計画」の計画目標達成率				指標②	/					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	/	/	/	/	/	
実績①	94%	94%	-		実績②	/	/	/	/	/	
事業実績 (平成28年度)	・重要8事業である、要介護認定の適正化、ケアプランの点検、住宅改修の適正化、福祉用具購入・貸与調査、医療情報との突合、縦覧点検、給付費通知、給付実績の活用の事業のうち、要介護認定の適正化が達成率80%、住宅改修の適正化が達成率70%であった。それ以外は計画目標を達成した。										
改善すべき点	・職員体制がとれず、一部目標が達成できなかったため、職員体制の整備及び業務の効率化を図りたい。										
平成29年度に向けた改善策	・昨年度よりは職員体制が整備されたので、職員を育成し、適正化事業の充実を図りたい。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	4

所属	子どもすこやか部 子ども家庭課
----	-----------------

実施計画事業名		母子施設機能確保事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		廃止が決定している母子生活支援施設「高井田ホーム」の代替機能を確保する。							
指標①	事業の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	-	開設	-	目標②	/	/	/	/
実績①	-	-	-	-	実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月に法人を公募したが、1者の応募しかなかった。 8月に選考会を実施したが、「採択法人なし」との結果となり、事業未実施となった。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 応募事業者が1者であったため、公募内容を見直す必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度(平成30年4月開設)に向けて、公募内容を見直し、以下の2点を改善する。 公募法人を東大阪市内から大阪府下に拡大する。 母子家庭の緊急避難的な支援施設という事業内容から、福祉施設の運営実績のある社会福祉法人より募集する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	子どもすこやか部 子ども見守り課
----	------------------

実施計画事業名		児童虐待防止事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		児童虐待防止のため、市民に対し講演会などを通じて啓発を行う。また、家庭児童相談室の体制強化により、虐待通告時のすみやかな安全確認と、要支援家庭への早期支援に努める。							
指標①	虐待通告がなされた際の24時間以内に安全確認を行う件数割合				指標②	虐待通告がなされた際の48時間以内に安全確認を行う件数割合			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	50%	70%	80%	A	目標②	100%	100%	100%	B
実績①	67%	82%	-		実績②	86%	94%	-	
事業実績 (平成28年度)	・虐待通告が子どもや保護者への支援に繋がることについて、広く周知するために啓発活動を行った。11月の児童虐待防止推進月間において、街頭キャンペーン、オレンジリボンウォーク、子育て講演会、関係機関へのポスター掲示、懸垂幕やのぼりの設置、公用車への啓発マグネットの貼付等を実施し、虐待の早期発見、防止に向けた啓発を行った。また、虐待通告時のすみやかな安全確認と、要支援家庭への早期支援に努め、通告があつてからの迅速な対応を確保する観点から「48時間以内」の安全確認を目指し、夜間対応も積極的に行い、94%の実績となった。要支援家庭においては家庭訪問や電話・面談などで虐待に移行しないために細やかな支援を行った。								
改善すべき点	・児童虐待通告ダイヤル、通告義務のより一層の周知 ・48時間以内の安全確認を100%に近づける(24時間以内の確認を目指す)								
平成29年度に向けた改善策	・より早い段階での安全確認のためには夜間訪問が欠かせない。複数の職員での訪問が必要になってくるため、組織内の援助体制の見直しを行い、技術向上のための人材育成に努める。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	子どもすこやか部 子ども見守り課
----	------------------

実施計画事業名		親子支援プログラム事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		就学前(4~5歳)の子どもを対象に、子どもの情緒的、社会的な発達を促すとともに、問題を解決する力を育て、自己肯定感を高めるプログラム(ファンフレンズプログラム)を実施する。							
指標①	プログラム受講児童数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	350人	400人	400人	D	目標②				
実績①	357人	70人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所3園においてファンフレンズプログラムを実施(4歳児42名、5歳児28名)。 ・プログラムを実施するファシリテーターを7名養成。 ・日常の保育の中で、ファンフレンズのスキルを生かして実践している。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の入れ替わりや認定こども園への移行などにより、例年通りにプログラムを進めていくための体制を整えることができず、目標値を大きく下回ることとなった。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各園の現状や体制を考慮しつつ、プログラムを実施していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 施設指導課
----	---------------------------

実施計画事業名		民間教育・保育施設整備事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		子ども子育て支援新制度の開始に伴い、民間の幼保連携型認定こども園と、小規模保育事業の施設を整備し、併せて既存の保育所の増改築を推進することで、教育・保育の必要見込み量を確保し、待機児童を解消する。							
指標①	保育を必要とする児童(0歳児)の受入れ数				指標②	保育を必要とする児童(1・2歳児)の受入れ数			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	33人	78人	60人	C	目標②	142人	202人	185人	A
実績①	37人	58人	-		実績②	138人	220人	-	
事業実績 (平成28年度)	・平成27年度からスタートした子ども子育て支援新制度の開始に伴い、教育・保育の必要見込み量の確保策として民間幼稚園からの移行による幼保連携型認定こども園および小規模保育事業の施設整備により278名の受け皿拡大を図った。								
改善すべき点	・受け皿拡大に向け、施設整備を希望する法人を確保する。								
平成29年度に向けた改善策	・民間幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行や、小規模保育事業の開設の際に事業者が応募しやすいよう公募期間を長くする等要件の緩和を検討する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 子育て支援課 保育室
----	-----------------------------------

実施計画事業名		地域子育て支援センター事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		子育て支援センターを拠点として、子育て中の親子がいつでも気軽に遊べる自由来館や、親子教室、育児相談、子育て情報の発信等を実施することにより、地域の子育てネットワークを充実し、市内のどこでも子育て支援サービスが受けられる子育てしやすい環境づくりを促進する。							
指標①	子育て支援センターの延べ利用者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100,000人	100,000人	100,000人	A	目標②				
実績①	103,607人	102,941人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・子育て中の親子の居場所づくり、仲間作り、子育てに関する情報を発信する拠点施設として、子育て支援センターの役割は、大きくなっている。産後すぐからの育児不安や負担感の大きさから、0歳児・1歳児を連れた保護者の利用が増えてきている。身近な所で親子で行く場所が増えてきているので、支援センター1ヶ所あたりの利用人数は減少してきているが、ていねいなかわりの必要な親子が増えてきている。また、子育て支援に関わる機関や地域の人たちとのネットワーク構築のため子育て支援地域連携会議を楠根子育て支援センターでも始める。								
改善すべき点	・来所してくる親子へのていねいなかわり・支援と共に、支援の場にまで出て来れない親に対しても、子育てサポーター・保健センター等各機関と連携しながら支援を考えていく必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・市内で、6ヶ所目となる子育て支援センターを平成29年5月にF地域の布施駅前開設。商業施設内であり、子育て中の親子がより気軽に利用しやすくなるとともに、子育て中の親が、ほっと一息つきたいときに利用できる一時預かり保育も実施する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 子育て支援課 保育室
----	-----------------------------------

実施計画事業名		児童育成地域活動事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		子育て中の親子が身近な場所で気軽に自由につどえる「つどいの広場」を提供する。							
指標①	つどいの広場延べ利用組数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	38,000組	39,000組	40,000組	A	目標②				
実績①	40,405組	44,875組	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・子ども子育て支援新制度に向けたニーズ調査で要望の高かったA地域で、つどいの広場を1ヶ所公募し、平成27年11月に開設。17ヶ所のつどいの広場になり、より、身近な場所で参加しやすく、特に0歳1歳の低年齢の子どもを持つ親の利用が増えている。								
改善すべき点	・市内に17ヶ所のつどいの広場を開設し、子育て中の親子が身近な場所で、気軽集える場を提供しているが、より利用者のニーズを把握し、中味の充実を図る。								
平成29年度に向けた改善策	・子ども子育て支援新制度におけるニーズ調査や現在子育て支援の場の少ないD地域にて、平成29年度中に公募し、集いの広場を1ヶ所開設予定。子育て中の親子がより身近に気軽集え、交流したり、相談できる場の充実を図る。								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子どもすこやか部 保育室
----	--------------

実施計画事業名		地域子育て支援センター整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		子育て支援センター未整備の地域において、新たな支援センターを整備し、地域の子育てネットワークの中核として子育て支援機能を充実させる。							
指標①	子育て支援センター整備事業の進捗状況				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	(F地域)整備	(F地域)開設	A	目標②	/			
実績①	整備場所の決定	布施子育て支援センター整備	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・ヴェルノール布施4階に布施子育て支援センターを整備した。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子どもすこやか部 子ども子育て室 子育て支援課 保育室
----	-----------------------------------

実施計画事業名		地域子育て支援事業の充実								平成28年度 目標達成度	C
事業概要		子ども・子育てに関するニーズ調査に基づき、特に市民ニーズの高いとされる一時預かり事業・病児病後児保育事業・利用者支援事業 基本型（子育てサポーター）を拡充する。									
指標①	子育てサポーター配置数				指標②	一時預かり施設設置数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	6人	8人	10人	C	目標②	46施設	54施設	61施設	C		
実績①	6人	6人	-		実績②	40施設	41施設	-			
事業実績 (平成28年度)	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携を図り、地域に出向いて適切な専門機関等へつなぐ寄り添い型の子育て支援の充実を図った。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の公民館保育施設に、受入状況のアンケートを実施し実態把握を行った。公立施設においては、平成29年度開設に向けて、縄手南こども園、小阪こども園及び布施子育て支援センターを整備した。 										
改善すべき点	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配置数は目標数に達していないが、今後の利用者支援事業の在り方を踏まえて適切な配置数を確保し、地域に出向いて寄り添い型の子育て支援の充実を図る必要がある。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労型の利用が多く、リフレッシュ型のニーズには対応できていない現状があるため、受入施設の充実が必要である。 										
平成29年度に向けた改善策	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診時や子育て支援センター、つどいの広場等の親子が集う場所に出向き相談支援や情報提供を拡充していく。 親子のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うため、サポーターのスキルアップを図る。 保健センターと連携し、来所相談が困難な家庭に対し、個別訪問を行い相談支援や適切な専門機関等へのつなぎを行う。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主にリフレッシュ型の受入施設としてつどいの広場での一時預かりの実施を検討。アンケート調査等を行い状況把握を行う。 今後開設予定の認定こども園及び子育て支援センターでの一時預かり事業実施に向けて関係機関と協議していく。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	子どもすこやか部 保育室
----	--------------

実施計画事業名		大蓮東小学校跡地整備事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		学校規模適正化基本方針で統合となる大蓮東小学校跡地を整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	基本計画	設計	工事	B	目標②	/	/	/	/
実績①	基本計画	設計	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・(仮称)大蓮こども園の基本・実施設計を実施した。								
改善すべき点	・平成29、30年度においては、(仮称)大蓮こども園において本体工事等を行う予定であるが、スケジュールに余裕がなく関係部局の協力が今後必要となってくる。								
平成29年度に向けた改善策	・平成29年度に縄手南、小阪こども園両園が開園したことを踏まえ、問題点を整理し、平成29年度以降の整備等に生かしていく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子どもすこやか部 保育室
----	--------------

実施計画事業名		公立教育・保育施設整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		公立の教育・保育施設を適切に配置し、公立施設の役割である「地域子育て支援事業」を積極的に実施していく。							
指標①	幼保連携型認定こども園の整備状況				指標②	幼稚園型認定こども園の整備状況			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	基本設計2園	施設整備2園	開設2園、基本設計1園	A	目標②	—	施設整備1園	開設1園	A
実績①	基本設計2園	施設整備2園	—		実績②	—	実施済み	—	
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度において、縄手南、小阪こども園を整備し、平成29年度から開園する。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	1

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名		健康危機管理対策事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		医薬品、食中毒、感染症、飲料水などにより市民の生命、健康の安全を脅かす事態(健康危機)に対して、健康被害の発生予防に努め、万が一、健康危機被害が発生した場合には被害の拡大防止、復旧に取り組む。そのため、いつでも迅速・適切に対処できるよう設備などを整備するとともに、訓練などにより職員の資質を向上させる。							
指標①	健康危機に備えた訓練等の実施回数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2回	2回	2回	A	目標②	/	/	/	/
実績①	2回	2回	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの健康危機管理訓練は保健所単独で実施するものであったが、11月12日に危機管理室や消防局も参画する「東大阪市総合防災訓練」に保健所は市内医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに参加し、災害時医療を担う関係者間の連携を図った。 平成27年度に見直しを行った保健所健康危機管理マニュアル改訂点の説明、保健所職員にて構成される総務班及び保健班の業務内容の説明等を行う研修会を開催し、保健所職員の災害時対応の理解を深めるともに対応能力の向上を図った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の実施により、対策が十分でない点が多数露見された。発災時に機能するかなどの検証を行いながら問題点の解決方法を模索していく必要がある。 平成28年度の訓練等の内容は2回とも災害時対応であった。感染症などのその他の健康危機管理事象への対応能力の維持・向上も図っていく必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 市内医師会を始め、災害拠点病院、消防局、日本赤十字社など、関係機関とより現実的及び具体的な協議を重ねていく。 新型インフルエンザや、エボラ出血熱、ジカ熱などの新興感染症の対応能力を図るための訓練を実施していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	1

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名		小児初期救急広域運営事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		夜間における子どもの急病時などに、安心できる医療を提供するため、中河内医療圏の3市（東大阪市・八尾市・柏原市）が協力し、圏内の協力病院にて輪番制による夜間の小児初期救急（入院を必要としない軽症者が対象）の医療体制を維持する。							
指標①	小児初期救急診療の実施日数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	366日	365日	365日	A	目標②	/	/	/	/
実績①	366日	365日	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中河内医療圏（東大阪市、八尾市、柏原市）において、各協力医療機関と八尾市及び東大阪市の休日急病診療所が輪番で診察を行い、全日・夜間の小児救急医療体制を確保した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関の追加確保等により、体制の充実が求められる。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の充実を図れるよう医療機関及び八尾市、柏原市に対して継続した働きかけを行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	1

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名		休日夜間二次救急診療体制運営事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		市民に安心できる医療を提供するため、中河内医療圏の3市で協力し、休日や夜間における二次救急(初期救急の医療機関で入院や手術を必要とすると判断された救急患者や重傷者が対象)の医療体制を維持する。							
指標①	二次救急診療の実施日数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	366日	365日	365日	A	目標②	/			
実績①	366日	365日	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 中河内医療圏(東大阪市、八尾市、柏原市)において、内科・外科等を標榜する全15医療機関(市内所在は10)により、365日の休日・夜間における二次救急診療体制を確立した。(平成29年1月26日より、全14医療機関(市内所在は9)に変更) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 協力医療機関の追加確保等により、体制の充実が求められる。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 体制の充実を図れるよう医療機関及び八尾市、柏原市に対して継続した働きかけを行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	4

所属	健康部 地域健康企画課
----	-------------

実施計画事業名		がん診療の充実				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		がん診療連携拠点病院として、市民向けがん予防講演会の開催等を行ってその取り組みを市民等に周知していくとともに、地域での連携を深めてがん診療を充実させる。							
指標①	市民向けがん予防講演会の開催				指標②	悪性腫瘍の手術件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	年1回	年1回	年1回	A	目標②	680件	690件	700件	A
実績①	年1回	年2回	-		実績②	874件	822件	-	
事業実績 (平成28年度)	・年1回開催を目標に毎年実施してきた「がん市民公開講座」に加え、平成28年度は中学校でのがん教育も実施し、がん予防やがん検診の普及啓発をおこなった。悪性腫瘍手術件数は昨年度より減少したものの、目標件数を達成した。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・平成29年度においても「がん市民公開講座」の開催や学生へのがん教育実施を計画している。悪性腫瘍手術については目標件数を達成するよう、今後もがん診療の充実を図っていく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	1

所属	健康部 食品衛生課
----	-----------

実施計画事業名		食品表示周知・取締り強化事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「食品表示法」が制定され、栄養成分表示が義務化されることを受け、適切な食品表示が行われるよう、監視指導体制の整備を行うとともに制度の変更内容を市内の食品等事業者へ周知する。							
指標①	栄養成分表示義務化周知及び相談延べ件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,500件	7,000件	12,000件	A	目標②				
実績①	1,289件	7,945件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 本市内の食品関係業者より、食品表示法の平成32年完全施行に向けて、食品表示法に基づく新表示についての相談や問い合わせが寄せられており新表示への移行が徐々に進められている。 市民が健康的で安全な食生活を確保するためには、表示を確認し適切に判断したうえで食品を購入することが重要である。そのためにも食品関係事業者に対して、リーフレットにより監視指導を実施し、講習会を開催して法改正の普及啓発に努めた。 また、栄養成分表示の義務化に向けても、関係課と連携しながら継続して周知に努めた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 法改正について表示に係る事業者からの相談や問い合わせが多くあり、監視指導・収去(販売店から無償で検査のために摂取し、検査結果と表示が一致しているかを確認する事業)・相談等をスムーズに行うことができるよう、栄養成分表示の義務化がに向けて、なお一層の担当課との連携を密にしていく必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 当課では、旧食品衛生法部分の食品表示について、監視指導・収去・相談等を執行しているが、旧健康増進法部分の食品表示の相談等は、健康づくり課で執行している。 食品関係業者や市民からの食品表示についての相談や問い合わせに対して的確かつ迅速に対応できるよう健康づくり課との連携体制を構築する必要がある。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	5

所属	健康部 食品衛生課
----	-----------

実施計画事業名		狂犬病再上陸対応事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市民の健康及び安全を保持するため、狂犬病検査による予防体制並びに再上陸時の体制整備に努める。							
指標①		狂犬病予防体制整備の進捗状況				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	事業計画の策定	狂犬病再上陸 対応 マニュアル策定	迅速検査 体制 の構築	B	目標②	/	/	/	/
実績①	事業計画は未策定	事業計画の策定	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)		<p>・狂犬病予防注射では、市民の利便性を考慮し休日を含めた集合注射会場の設定や委託動物病院による個別注射を行い、狂犬病予防注射接種率向上のため未注射犬の飼い主に対しはがきによる督促通知を実施した。 また、事業計画の策定を行った。</p>							
改善すべき点		<p>・平常時における狂犬病予防注射接種率が横ばいになっており、市民への正しい知識と情報提供、感染予防対策の啓発が必要である。 ・狂犬病検査を行うために解剖室及び狂犬病ウイルス検査の整備が必要である。 ・狂犬病発生時の対策についてはオール大阪での対応が不可欠であり、大阪府と連携を密にとり、マニュアルの策定をする必要がある。</p>							
平成29年度に向けた改善策		<p>・作成した事業計画に基づき、大阪府と情報を密にとりながら、マニュアルの策定及び狂犬病検査体制の充実を図る。</p>							

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	6

所属	健康部 環境薬務課
----	-----------

実施計画事業名		危険ドラッグ等啓発事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		危険ドラッグなどの乱用防止について、啓発を行う。特に市内大学生を中心とする若年層に対して、一斉メール送信等による啓発を実施する。									
指標①	大学での実施校数				指標②	/					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	調査	3校	5校	A	目標②	/					
実績①	実施	3校	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・近畿大学、大阪商業大学、東大阪大学あてに、大学LANによる危険ドラッグ等の薬物乱用防止啓発の記事配信を実施した。										
改善すべき点	・平成27年度、5大学に対しメールによる啓発実施の可否を調査したところ、3大学で実施可能という結果であった。残る2大学についても継続して依頼する。										
平成29年度に向けた改善策	・危険ドラッグの取締りが強化された影響により大麻乱用が増加したので、社会状況を鑑みた啓発を実施する。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	1

所属	健康部 環境薬務課
----	-----------

実施計画事業名	浸水地消毒対策事業								
事業概要	ゲリラ豪雨などによる浸水地の消毒を迅速に実施できるよう、消毒薬の備蓄と消毒器の確保に努める。また、市民が自ら浸水した家屋内の消毒対応を行えるよう、消毒等に関する講習会を実施する。					平成28年度 目標達成度	A		
指標①	選定を行った場所における講習会の実施率				指標②	/			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	10%	50%	100%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	14%	50%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・東大阪市洪水ハザードマップ及び過去の浸水消毒作業実施状況に基づき、平成27年度に浸水しやすい場所として選定した147自治会の地域のうち、52(平成27年度実施地域と合わせて73)の地域に対して講習会を実施した。								
改善すべき点	・講習会受講者の年齢及び性別に偏りがあったので、幅広い世代の方に受講してもらえるように検討が必要である。								
平成29年度に向けた改善策	・保健センターが実施している講習会等、他部局が開催している地元での集まりの場に参加させていただき、講習会実施の効率化を図る。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	2

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		食育推進事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		食育推進ネットワーク会議で培われた食育連携情報を「食育ツール・バンク」として構築し、データ活用を通じ、各ネットワーク関係団体での食育事業の領域を広げ、各団体と協働して、市民が食育を体験し、実践する機会を提供し、第3次食育推進計画の目標をめざす。									
指標①	食育イベント回数				指標②	食育イベント参加者数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	1,290回	1,300回	1,310回	A	目標②	63,500人	64,000人	64,500人	A		
実績①	1,716回	3,672回	-		実績②	74,061人	117,711人	-			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次食育推進計画策定に関する懇話会の実施 2回 19人 ・食育推進ネットワーク会議の実施 2回 16団体 ・食育関係担当者連絡会議 12回 16課 ・食育推進イベント 124回 11,012人 ・食育関係担当課推進事業 1,173回 44,927人 ・食育推進団体事業 2,499回 72,784人 ・食育連携のための食育情報提供 ・第3次東大阪市食育推進計画の策定 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が食育に関心を持ってもらえるように第3次東大阪市食育推進計画を周知する方法を検討する。学校園をはじめ、各関係団体・機関の食育担当者への周知と連携を図る。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域ネットワークなど地域の食の取組や保育園や学校園の子どもをはじめ、保護者や家族に対して、食育関係者と連携して事業を行い、次世代及び高齢者など幅広い世代の食育実践者の増加を図る。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	2

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名	健康トライ21推進事業	平成28年度 目標達成度	B
事業概要	第2次東大阪市健康増進計画「健康トライ21(第2次)」に基づき、市民グループ連絡会と協働での「健康トライクラブ」の開催や、各種健康増進イベントを通して、市民の健康に対する意識を高め、健康のまちづくりに取り組む。		

指標①	健康トライ21の普及活動に取り組む健康トライ21市民連絡会への参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,300人	1,400人	1,500人	B	目標②				
実績①	1,392人	1,394人	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 健康トライ21啓発市民グループ(健康トライ21市民連絡会)の育成及び活動支援。 (市民グループ数:22団体1394人、新たに賛助グループとして加入した市民グループ:2団体80人) 健康トライ21市民連絡会と協働で、健康増進事業「東大阪健康マイレージ」を新たに実施。(応募者:1097人) 東大阪健康マイレージ:健診受診や健康教室参加等の健康づくりでポイントがたまり、抽選等で賞品が当たった事業 東大阪市民ふれあい祭り(5月)、希来里ファミリーまつり(8月)、健康フェスタ(11月)、けんこう運動見本市(12月)、各種イベントにおいて、市民グループと協働で健康づくり啓発活動を実施。 各種強化月間・週間(禁煙週間(5月)、肝臓週間(7月)、健康増進普及月間(9月)、がん制圧月間(10月)、女性の健康週間(3月))に啓発活動の強化及び関連健康教室等を実施。 生活習慣病の重症化予防事業を対象者を拡大して実施。 既存の保健所保健センター事業の中で啓発を実施。
------------------	---

改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業として東大阪健康マイレージに取り組む目標を超える応募数があったが、制度が複雑でわかりにくいという意見があることから、内容を見直しわかりやすい制度にすることで、より多くの市民が取り組めるようにしていく必要がある。 健康トライ21市民連絡会に加入する団体の拡大に取り組んでおり、本年度は2団体80人が増加した。健康トライ21の目的や活動内容を知り口コミ等で普及活動に取り組む市民が増えるよう、さらなる周知の必要がある。
--------	--

平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 東大阪健康マイレージについては、健康トライ21市民連絡会や関係機関・関係部局と事業評価を共有し、対象事業の拡大や制度の簡潔化の調整を行う。 平成29年度は健康トライ21(第2次)の中間評価の年度であり、評価項目について市政世論調査、市民アンケート、各種統計データ等の収集を行い、5年間の取り組みの評価を行う。評価結果から今後5年間の取り組みの方向性と評価項目及び目標値の修正を行う。
---------------	--

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		健康増進事業(がん検診)								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		がんの早期発見・早期治療につなげるため、概ね40歳以上の市民を対象に各種がん検診を実施する。									
指標①	乳がん検診率				指標②	大腸がん検診率					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	19.0%	20.0%	21.0%	A	目標②	16.0%	17.0%	18.0%	A		
実績①	24.4%	22.6%	-		実績②	17.2%	19.6%	-			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率(4月～12月の実績から受診数を推計し算出) 胃がん検診10.6% 子宮がん検診25.2% 肺がん検診18.5% 乳がん(マンモグラフィ)検診22.6% 大腸がん検診19.6% ・受診率は胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診はが27年度と比較し減少、肺がん検診・大腸がん検診は上昇。 ・健康教育におけるがん検診の啓発 154回 4233人 ・特定健診(国保)とがん検診のセット検診(休日):2回 休日の乳がん検診(集団):2回 ・特定健診(協会けんぽ)と乳がん検診のセット検診:2回 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率は胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診は27年度と比較し、減少しており、受診率の向上に向けて、啓発や個別勧奨がさらに必要である。 ・関係機関と連携し、特定健診とがん検診の同時受診の機会を増やすと共に、保健センター事業やイベント等の機会を利用して引き続き啓発を行っていく必要がある。 ・より効果的な個別勧奨の工夫を検討する。 ・胃がん検診について、がん検診実施のための指針にある内視鏡検査の導入に関する検討や関係団体との調整が必要である。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診とがん検診をあわせた啓発活動を保健センター事業やふれあいまつり、校区フェスタなど地域のイベント等でおこなう。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援推進事業で無料クーポン券(子宮がん:20歳女性、乳がん:40歳女性)を送付する。クーポン券送付後、未受診者へ個別受診勧奨を行なう。今年度も、大腸がん検診未受診の方の内、罹患率の上昇する年齢層(55、60、65歳)に個別受診勧奨を行ない、受診率向上を図る。 ・特定健診と個別のがん検診のセット検診の機会を増やすよう関係課と連携し、医療機関に働きかける。 ・特定健診(協会けんぽ)と乳がん検診のセット検診を増やし、受診拡大と啓発活動の機会を増やす。 ・要精検者の受診率の向上に努める。 ・胃がん検診(内視鏡)について、運営委員会で検討し、関係団体との調整を行ないながら、年度内の実施を目指す。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		アルコール健康障害対策事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		不適切な飲酒によるアルコール健康障害の発生、進行、再発の防止対策を実施し、アルコール健康障害を有する人とその家族が日常生活や社会生活を円滑に営むことができるよう支援する。							
指標①	東大阪断酒会における例会等参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2,000人	2,000人	2,000人	A	目標②	/	/	/	/
実績①	5,215人	7,391人	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・理容所・美容所衛生講習会において、断酒会員及び専門医療機関ケースワーカーによる出前講座の実施。アルコール関連問題の啓発と、アルコール健康障害の正しい知識の周知を図る(計3回291名受講)。 ・アルコール健康障害啓発紙「ひあかもか通信」第18号の配布。未成年者への酒害教育をテーマとし、市内全小学校・全教員を対象にアンケートを実施。今後の思春期アルコール健康教育に役立てる。また18号については、奈良県断酒会へデータ提供を行い、効率的なアルコール関連問題の普及啓発を目指す。 ・ひあかもか通信第19号の作成・配布。大学生を対象に「イッキ飲ませ防止」がテーマに地域関係機関へ配布。ポスター形式でも作成し、市内大学や図書館へ配布。 ・近畿大学アンチエイジングセンターとの共催で「アルコールとアンチエイジングを考える市民セミナー」を開催。教育関係と行政・医療機関・断酒会の連携で、アルコール健康障害やアルコールと認知症の関係などについて講演を行い、お酒との正しい付き合い方を市民とともに振り返る機会を設ける(参加609名)。 ・東大阪市アルコール関連問題会議30年の取組みをまとめた報告集の作成・配布(1,000部)。 ・東大阪市ふれあい祭りでの断酒会参加や市民健康フェスタでのアルコール関連問題コーナーの設置による、アルコール問題についての普及啓発。 								
改善すべき点	東大阪市におけるアルコール健康障害対策を進めていく上で、アルコール関係機関のネットワーク会議「東大阪市アルコール関連問題会議」の果たす役割が大きいが、アルコール健康障害対策基本法の施行や推進基本計画の策定が求められる流れの中、会の運営の仕方(再編・再構築)や事務局及び参加機関の役割のあり方・連携のあり方について見直すことが必要である。								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール健康障害思春期教室や未成年者への飲酒教育への取組みを進める。また、まだ啓発が出来ていない層への働きかけ(中学生、高校生、妊産婦、飲酒運転防止、働き盛り世代など)を検討する。 ・アルコール関連問題会議における検討課題の設定や運営の仕方を見直す。 ・アルコール健康障害対策推進基本計画策定ための協議の場の設定＝アルコール関連問題会議の再編・見直しを協議する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	6

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		自殺予防対策事業							
事業概要		自殺危機にある人に気づき、適切な支援機関などへつなぐ「ゲートキーパー」の養成や、自殺未遂者や自死遺族への相談支援、自殺対策のための地域ネットワークの構築などを通して、総合的な自殺対策を推進し、生きやすいまちづくりを推進する。				平成28年度 目標達成度		A	
指標①	自殺予防ゲートキーパー養成研修の累計修了者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,250人	1,400人	1,500人	A	目標②				
実績①	1,371人	1,490人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の人材養成研修(①高齢者支援者対象1回23名②若年者支援者(中学校・大学教職員)対象2回計49名③事業所職員対象2回計47名) ・若年者支援者対象「学齢期のメンタルヘルス講演会」(39名) ・自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発 ・地域自治会民生委員対象の自殺予防出前講座1回(10名) ・高齢者へのメンタルヘルス講座1回(22名) ・働く人のメンタルヘルス研修の実施(計2回58名) ・自殺未遂者相談支援事業の実施(相談実人数16名 延べ92件) ・自殺対策庁内連絡会(1回)及び自殺予防対策部会(年4回) ・理美容衛生講習会におけるアルコール関連問題講座(3回291名) ・一般科領域と精神科との連携構築事業(①一般科から保健センターへの紹介状つきリーフレットの発行②一般医等対象精神科病院見学会の開催3回) ・保健所・保健センターでの各教室や地区活動、検診事業におけるメンタルヘルス講話の実施(194回 2,327名) 							
改善すべき点		<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防のゲートキーパー養成研修の受講対象者層をさらに広げる必要がある。 ・市民対象の自殺予防講演会が開催できなかったが、その開催のあり方について検討する必要がある。 ・平成28年度自殺予防対策事業の取り組みにより、医師会・介護支援専門員協会・東大阪市要保護児童対策地域協議会・大学等との連携の基礎が出来たので、更なる連携拡充に向けて努力する。 							
平成29年度に向けた改善策		<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係との事業連携を拡充する。 ・地域における精神障害者の包括的支援のための連携構築に向けて、自殺予防の観点から取り組みを進める。 ・自殺対策庁内連絡会、自殺対策担当者会議とともに、こころの健康推進連絡協議会自殺予防対策部会でも協議を進め、市自殺対策計画策定の準備を進める。 							

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	2

所属	健康部 健康づくり課
----	------------

実施計画事業名		介護予防・日常生活支援総合事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		平成27年4月の介護保険制度改正による新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートすることを踏まえ、これまでよりも多様な、きめ細かい介護予防サービスを提供し、高齢者の健康増進と充実した在宅生活を支えていく。							
指標①	地域介護予防活動支援・介護予防普及啓発事業参加者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	32,500人	35,000人	37,500人	B	目標②	/			
実績①	31,448人	33,283人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業：地域介護予防活動支援事業197回、3,629人 介護予防普及啓発事業159回、5,302人 ・自治会、地域包括支援センターとの協働による介護予防拠点立上げ事業：1ヶ所 ・介護予防ボランティアグループの活動支援：13グループ ・介護予防ボランティアグループ紹介冊子の改訂・配付 ・認知症予防のための「健脳エクササイズ」の一般市民向け講演会：185人 介護予防ボランティアグループによる地域への出前講座の実施：20ヶ所、650人 ・介護予防イベント「けんこう運動見本市」の協働開催（老人センター、基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター、地域包括ケア推進課、高齢介護課、保健所保健センター）：参加者数154人 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・健脳エクササイズの普及活動については、地域ケア企画運営会議で紹介したことで各機関代表から周知協力や地域の介護予防拠点の紹介を受けることができた。今後は出前講座を実施した介護予防拠点で、地域住民が主体となって健脳エクササイズを継続していきけるようなしくみづくりが必要である。 ・健康部の介護予防事業実績の経過として、地域の介護予防拠点からの単発依頼が増加してきている。地域で効果的な介護予防が実践していけるよう、保健の視点から取り組み内容の相談など運営上の支援をしていく必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の介護予防拠点で地域住民が健脳エクササイズを継続していきけるしくみづくりとしては、介護予防拠点の運営者を対象に、定期的に新たな健脳エクササイズを学べる講習会を実施していく。 ・地域の介護予防拠点からの単発依頼の際には、地域の健康問題や運営上の課題を傾聴し、必要な情報提供や運営支援を行っていく。 								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	健康部 母子保健・感染症課
----	---------------

実施計画事業名		妊娠・育児支援メール配信事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		子育て世帯の抱える妊娠、子育てに対する悩みや不安を解消するため、登録制のメールマガジンを配信し、各種講習会などの市の母子保健に関する情報や、妊娠経過の正しい知識、月齢に応じた育児知識等をタイムリーに提供する。				平成28年度 目標達成度		B	
指標①	メールマガジンの登録者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,000件	1,500件	2,000件	B	目標②				
実績①	893件	1,476件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・28年度については、1476件の登録があり、徐々に市民の間に「すこやか親子☆トライメール」が浸透してきている。 また、登録者に行ったアンケートでは、配信メールに対する満足度は非常に高い。</p>								
改善すべき点	<p>・登録者数が目標に達しておらず、特に妊娠期については伸び悩んでいる状況である。しかし、平成28年度末に実施した、登録者のアンケート結果からは、妊娠期には「胎児の成長が解り安心した」、「子育ての困りごとに対して、とてもタイムリーなアドバイスが届いたので助かった」など内容についてはよい評価を頂いている。より多くの市民に登録してもらえる工夫が必要である。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・事業の広報・周知活動により力を入れ、登録者数を増やす。妊娠届出時や、乳児家庭全戸訪問事業、保健センターでの事業等を通して、登録を勧奨していきたい。 また、30年度に向けて、子どもすこやか部の子育てアプリに吸収される計画であり、今後は連携をしながら、保健所 保健センター情報を詳細に盛り込んでいく予定である。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	健康部 母子保健・感染症課
----	---------------

実施計画事業名		産後ケア事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		人口減少と少子化へ歯止めをかけていくためには、子どもを産み育てやすい環境の整備が不可欠となる。特に出産直後の母親に対しては心身両面にわたるサポートが重要となるため、産科医療機関等において、出産後の親子が心身のケアや休養を目的として利用できる産後ケア事業を行う。				平成28年度 目標達成度		A	
指標①	産後ケア施設の利用件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100件	150件	200件	A	目標②				
実績①	110件	207件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・28年度は、ショートステイ469泊、デイサービス397日の利用があった。利用者アンケートからも満足度が高いことを確認している。母子が産後ケアを利用することで、心身の回復がはかれ、授乳についてや赤ちゃんへの対応の仕方等を、専門スタッフから教えてもらうことができるため、悩みの解消や育児に自信がもてる等の効果が出ている。</p>								
改善すべき点	<p>・本事業の認知度を高め、産後ケア事業を知らない人、事業名は知っているがサービス内容がわからず利用に至らない人がないよう、産後ケアが必要な人がもれなく利用できるよう啓発を行う。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・産後ケアが必要な人に、もれなく本事業を周知し支援に繋がられるよう、丁寧に啓発を行う。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	3

所属	健康部 環境衛生検査センター
----	----------------

実施計画事業名		環境衛生検査センター機器整備事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		保健衛生行政、食品・環境衛生行政に必要な検査機能・精度を確保するため、分析機器などを計画的に整備する。									
指標①	購入進捗率				指標②	/					
指標の 説明・計算式	購入台数／購入予定台数×100				指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	-	100%	100%	A	目標②	/	/	/	/		
実績①	検査精度確保のための 改修工事	100%	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	・一部検査機器を増設することにより、増加する感染症、食中毒などの検査に迅速に対応する体制作りに努めた。										
改善すべき点	・感染症、食中毒の発生しやすい時期などには、検査が集中するため、検査機器が不足する状態にある。関連検査機器の更なる増設、及び効率的に検査を行うための検査環境整備が必要である。 又、環境衛生検査センターに整備されている多くの検査機器は、耐用年数を迎えており、現在の検査機能を維持するため、機器の更新計画を遅延無く実行する必要に迫られている。										
平成29年度に向けた改善策	・平成28年度に引き続き、感染症、食中毒の検査に必要な検査機器の増設を行い、より迅速な検査が出来ることを目指す。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	4

所属	健康部 斎場管理課
----	-----------

実施計画事業名	斎場整備事業				平成28年度 目標達成度	B			
事業概要	老朽化が著しい現斎場について、新斎場の建設を視野に再編整備を進める。将来の火葬需要を踏まえ、安定した確実な火葬業務が執行できる施設整備を推進する。								
指標①	斎場整備基本計画の進捗状況(既存斎場の長寿命化を含む)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	計画の推進	計画の推進	計画の推進	B	目標②				
実績①	計画の推進	計画の推進	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・楠根斎場の耐震化、排煙設備等の改修を行った。また、老朽化が進む既存斎場の施設整備の基礎資料とするため、長瀬斎場の整備にかかる調査業務を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・既存斎場の老朽化が進む中、新斎場の建設を視野に施設整備を検討しているが、建設候補地が見出せず、スケジュールの策定に至っていない。具体的で実効性のある施設整備方針を示す必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に行った長瀬斎場の整備にかかる調査業務を踏まえ、現計画の練り直しを行い、老朽化する既存斎場全体の方向性を検討していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	2

所属	環境部 環境企画課
----	-----------

実施計画事業名		地球温暖化対策推進事業(民生家庭編)				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		民生家庭部門における温室効果ガス排出量を削減するため、個人住宅用の太陽光発電システムや燃料電池、ホームエネルギーマネジメントシステム、リチウムイオン蓄電池の設置補助を行うとともに、環境家計簿の普及啓発に取り組む。							
指標①	温室効果ガス削減量				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	965t-CO2	978t-CO2	992t-CO2	C	目標②				
実績①	1,043t-CO2	572t-CO2	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・具体的な削減実績</p> <p>①太陽光発電システム: 4.48kw(平均出力/世帯(27年度)) × 1,000kwh(平均発電量/kw) × 203件 × 0.509kg-CO2(関電実排出係数)=約463t</p> <p>②エネファーム: 1028 kg-CO2(平均削減量/台) × 245件=約251t</p> <p>③HEMS: 3,300 kg-CO2(平均排出量/世帯) × 0.1(省エネ効率) × 48件=約16t</p> <p>④リチウムイオン蓄電池: 6kwh(平均容量/世帯) × 365日 × 0.509kg-CO2 × 41件=約45t</p> <p>⑤環境家計簿: 温室効果ガス排出量は平成27年度「電気」2,255t-CO2・「ガス」1,004t-CO2、平成28年度「電気」2,414t-CO2・「ガス」1,048t-CO2で削減効果は「電気」は△159t-CO2、「ガス」は△44t-CO2</p>								
改善すべき点	<p>・昨年度との気候の影響で環境家計簿事業のCO2排出量が増えてしまった。</p> <p>・エネファームを中心とした太陽光発電設備以外の設備に対する補助を拡充し温暖化防止に向けた対策の必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・自治会への説明等によりさらなる周知と啓発を行う。</p> <p>・エネファーム、リチウムイオン蓄電池の予算の拡充。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	2

所属	環境部 環境企画課
----	-----------

実施計画事業名		地球温暖化対策推進事業(産業編)				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		産業部門における温室効果ガス排出量を削減するため、専門家による省エネ診断や中小企業の省エネ設備改修を支援するとともに、環境マネジメントシステムの導入促進を図っていく。							
指標①	省エネ化支援による温室効果ガス削減量				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	200t-CO2	200t-CO2	200t-CO2	A	目標②				
実績①	298t-CO2	331t-CO2	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度は合計40件の東大阪市内の企業の省エネ改修に補助を実施し、温室効果ガス排出量約331t-CO2の削減効果。								
改善すべき点	・想定以上の申し込みがあったため、費用対効果の高い改修を補助対象にする必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・省エネ改修補助制度の要件を温室効果ガス削減の費用対効果の高いものが対象となるようにする。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	3

所属	環境部 循環社会推進課
----	-------------

実施計画事業名		環境啓発事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		市民を対象に、環境全般に係る出前講座を開催し、環境意識の向上を図る。							
指標①	全校区で取り組む環境教育出前講座などの延べ参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	17,000人	18,000人	19,000人	A	目標②				
実績①	21,455人	26,168人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の学校園や自治会等を対象に環境教育出前講座を実施した。 幼稚園・保育所 … 1園、2所 (120人) 小学校 … 40校 (1,760人) ECOポスターコンクール … 8校 (128人) 地域フェスティバル … 24箇所 (24,000人) 一般 … 4団体 (160人) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 実施要領に定める講座メニューのうち、特定の講座に依頼が偏っており、実施率が低い講座がある。 食品ロスの増加など多様な社会情勢の変化に対して、受講者の需要を満たせるメニューがない。 5月、6月に依頼が集中することや、実施できる職員数の減少など、環境部の事業実施体制が不十分になる場合がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 講座を利用したことがない学校園や団体にあてた個別周知を行い講座利用を促す。 講座メニューを拡充し、多様な実施要望に対応できるよう工夫を行う。 環境教育実施にかかるマニュアルの作成など、実施体制の充実を図る。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	3

所属	環境部 循環社会推進課
----	-------------

実施計画事業名		ごみ減量推進事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		プラスチック製容器包装やペットボトルの分別収集、古紙類の集団回収の奨励など、ごみの減量とリサイクルを推進することにより循環型社会を構築する。							
指標①	資源の再生利用量				指標②	/			
指標の説明・計算式	集団回収量＋堆肥化量＋収集後資源化量				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	27,573t	28,194t	28,882t	C	目標②	/			
実績①	19,962t	19,036t	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・資源化物の収集量は7,109トンであり、前年度と比較して20トン減少した。収集量の主な内訳は以下のとおりである。 かん・びん3,643トン(36トン減少)、ペットボトル916トン(33トン増加)、プラスチック製容器包装2,406トン(14トン減少) ・集団回収量は12,160トンであり、前年度と比較して902トン減少した。集団回収1団体あたりの回収量が大きく減少している。</p>								
改善すべき点	<p>・分別収集の定着化を図るため、分別ルール周知拡大を進めるとともに自治会未加入世帯などに分別排出を働きかけることで全市的に協力率を向上させる必要がある。 ・事業系廃棄物に含まれる古紙類を資源化するための新たな仕組みを検討する必要がある。 ・現在の収集区分のうち、特に排出ルールが守られない品目について今後の在り方を検討する必要がある。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・プラスチック製容器包装など分別ルールが分かりにくい品目について、啓発冊子を活用した協力率向上の取り組みを図る。 ・地域自治会との連携を強め、資源やごみの排出状況が悪いポイントのパトロールやチラシなどを用いた戸別啓発等により、これまで以上に地域に密着した取り組みを進める。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	5

所属	環境部 環境事業課
----	-----------

実施計画事業名		ふれあい収集				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		ごみ出しが困難な高齢者または障害のある人の在宅生活を支援するため、個別訪問による家庭ごみの収集や在宅医療廃棄物の収集を実施する。							
指標①	ふれあい収集と在宅医療廃棄物の合計収集件数				指標②				
指標の説明・計算式	26年8月の72件を100%とした割合				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	135%	155%	175%	A	目標②				
実績①	129%	156%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成29年3月末現在、ふれあい収集実施件数は112件であった。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・更なる実施件数の増加を目的とした啓発を強化する必要があると考える。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	1

所属	環境部 環境事業課
----	-----------

実施計画事業名					(仮)環境センター整備事業					平成28年度 目標達成度	D
事業概要					一般廃棄物の直営収集の拠点として、環境事業所等の清掃関連庁舎を集約した(仮)環境センターを整備する。						
指標①	整備の進捗				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	基本計画	事前調査実施	アドバイザー契約	D	目標②	/					
実績①	基本計画	境界明示測量(一部)	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・旧東事業所跡地及び東事業所について測量調査を実施した。 なお、一部東部環境事業所部分についての測量調査は予算の関係上、実施できていない。										
改善すべき点	・特になし										
平成29年度に向けた改善策	・引き続き平成29年度予算要求において予算計上していたが認められなかった。そのため平成30年度予算要求時にも関係部局と調整し予算計上するかどうか検討する必要がある。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	環境部 環境事業課
----	-----------

実施計画事業名		清掃車両整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		家庭ごみ、資源化物、不法投棄ごみ等の収集・運搬作業の円滑化に向けて清掃車両を更新する。							
指標①	更新車両導入率				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	更新を予定していた全ての車両について、更新を行った。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	環境部 美化推進課
----	-----------

実施計画事業名		「東大阪市みんなで美しく住みよいまちをつくる条例」推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		不法投棄物の多発箇所に監視カメラを新たに設置するなど、不法投棄の減少に努めるとともに、市民、事業者、民間団体などと協働し、不法投棄やポイ捨て等を防止する。							
指標①	家電4品目収集台数の減少率(対平成25年度比)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	95%	90%	85%	A	目標②				
実績①	63%	29%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・家電4品目の収集台数457台 内訳(テレビ231台、冷蔵庫144台、洗濯機79台、エアコン3台) ・不法投棄監視カメラを不法投棄多発箇所の設置した。 ・東花園駅及びスクラムロードに「歩きたばこ禁止でっせ！」のマークタイルを設置した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄監視パトロールを平日以外にも、休日延べ8回、市内一円で実施したが、夜間パトロールをする必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の多発箇所に啓発看板の貸出及び移設式の監視カメラを設置、休日はもとより夜間パトロールを増やすことにより、不法投棄の防止と不法投棄物の迅速な回収に努める。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	6

所属	環境部 公害対策課
----	-----------

実施計画事業名		公害対策事業(工場・事業場の指導規制)				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		市民の生活環境を保全するため、公害関係法令に基づき、工場・事業場へ規制や指導を行うとともに公害苦情処理や啓発により、公害を防止する。							
指標①	工場等の許可申請件数				指標②	苦情処理件数			
指標の 説明・計算式	/				指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	130件	140件	150件	A	目標②	300件	300件	300件	B
実績①	111件	141件	-		実績②	284件	292件	-	
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・工場等の許可申請件数: 141件 ・苦情処理件数: 292件(大気汚染72件、水質汚濁10件、土壌汚染0件、騒音138件、低周波0件、振動37件、地盤沈下0件、悪臭35件、その他0件) 								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	環境部 産業廃棄物対策課
----	--------------

実施計画事業名		産業廃棄物対策事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		産業廃棄物の排出者や処理事業者に対し、産業廃棄物の適正処理について指導することにより、不法投棄を予防する。							
指標①	立入検査の件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	300件	300件	300件	A	目標②				
実績①	402件	318件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・計画的な立入検査を行うことで、目標を達成できた。								
改善すべき点	・立入検査の対象者の業種に偏りがあった。								
平成29年度に向けた改善策	・立入検査の対象者の業種を拡大する。								

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		大阪湾広域廃棄物埋立処分場建設事業(フェニックス)				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		大阪湾圏域広域処理場整備基本計画に参画し、焼却灰及びばいじんの最終処分場を確保する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期支払分 平成28年10月27日 6,315千円 ・後期支払分 平成29年3月10日 1,973千円 								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		清掃運搬施設等(運搬車両)整備事業				平成28年度 目標達成度		—	
事業概要		焼却工場などに搬入されるごみを選別し、中間処理を円滑にするための重機等を更新する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	—	—	100%	—	目標②				
実績①	—	—	—	—	実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度 実績無し ホイールローダ 11台 パワーショベル 3台 フォークリフト 4台 高所作業車 1台								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		基幹的整備工事				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		一般廃棄物の焼却を円滑かつ継続的に行うため、焼却施設を整備する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・1号ボイラー第3・4旗形南側水管更新工事(H28. 5. 16~H28. 7. 19) ・2号ボイラー第1・2旗形北側水管更新工事(H28. 10. 3~H29. 3. 31) ・1号調温塔基幹的整備工事(H28. 5. 16~H28. 7. 19) ・2号調温塔基幹的整備工事(H29. 1. 20~H29. 3. 31) ・1号炉投入ホッパ上部水冷ジャケット更新工事(H28. 5. 16~H28. 7. 19) ・非常用発電機室内非常用バッテリー整流器更新工事(H28. 11. 25~H29. 3. 31) ・除湿器更新工事(H28. 9. 1~H28. 10. 31) 								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		施設整備計画及び既存工場解体工事				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		第五工場竣工に伴い、不要となる第三工場及び破碎工場を解体する。							
指標①	計画の進捗				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	施設整備 計画策定	解体工事 調査及び 設計等	解体工事	A	目標②				
実績①	施設整備 計画策定	解体工事 調査及び 設計等	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・粗大ごみ破碎工場解体整備工事に係る設計業務								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		新工場建設事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		第三工場の建て替え事業として、処理能力400t/日(焼却)、50t/日(破碎)の新規処理施設及び還元施設を建設する。							
指標①	計画進捗率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設建設工事及び付帯工事 ・ごみ処理施設建設工事及び付帯工事に係る施工監理業務 ・ごみ処理施設建設工事及び付帯工事に伴う受給線設置等工事費負担金 ・施設整備に係るアドバイザー業務 								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名					一般廃棄物処理基本計画策定事業					平成28年度 目標達成度	-
事業概要					東大阪市と大東市の一般廃棄物処理基本計画が中間目標年度である平成27年度に見直されることを受け、計画の見直しを行う。						
指標①	計画の進捗				指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	基本計画策定業務	-	-	-	目標②						
実績①	基本計画策定業務	-	-	-	実績②						
事業実績 (平成28年度)											
改善すべき点											
平成29年度に向けた改善策											

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	1

所属	都市整備部 都市計画室
----	-------------

実施計画事業名					準防火地域指定見直し検討調査					平成28年度 目標達成度	D
事業概要					まちの不燃化を図るため準防火地域の指定を拡大するとともに、指定拡大後は、耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する。						
指標①	防火改修の件数				指標②	/					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	—	3件	5件	D	目標②	/	/	/	/		
実績①	—	0件			実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 準防火地域拡大に向けた都市計画変更の実施 ①一部地域(H28年4月1日告示)、②一部地域を除く市域全域(H28年12月1日告示) 耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する施策の検討 関係機関との協議 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する施策を検討し、早期に実施すること 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 耐火性能の低い建築物の防火改修を促進する施策を検討し、早期に実施すること 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		景観形成調査事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		良好な景観を保全・形成するため、景観形成重点地区を指定する。また、景観計画に基づいて指定した景観重要建造物及び景観重要樹木の保存のため、維持・改修等に対し助成を行う。							
指標①	景観重要建造物・景観重要樹木の指定件数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	—	2件	2件	D	目標②	/	/	/	/
実績①	—	0件			実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成重点地区や景観重要建造物、景観重要樹木の指定に向け市民の方を対象にした講演やアンケートを実施した。また、市職員を対象にした公共空間の景観デザインについての講演を実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・助成をおこなうための制度の確立。 ・市内の既存樹木等の基礎的調査をおこない、積極的な働きかけをおこなう。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした講演会を実施。 ・景観重要樹木の指定に向け、東大阪地域研究助成金事業を活用した市内既存樹木の基礎調査及び評価手法の検討等を実施する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	1

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		花づくり学習会				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		幼稚園、小・中学校の教員や地域の代表などが種から花を育成する手法を学習し、子供たちや地域の人と一緒に花を育てることで、植物の育成に関心を持ってもらい、学校や地域の花とみどりを増やす。							
指標①	参加団体(累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	60団体	100団体	140団体	B	目標②				
実績①	61団体	89団体			実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に参加する幼稚園、小・中学校、自治会、地域の緑化グループの代表の方に種から花を育成する方法を学習する講習会へ参加していただいた。参加団体には、花の育成に必要な資材を支給し、支給資材を用いて習得した技術を各会員の皆さんに伝えてもらいながら、一緒に花を育て、学校や地域を花とみどりで飾りつけていただいた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの団体に参加していただけるように積極的なPRを実施する。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なPRを実施する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	1

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		(仮称)グリーン・フェスタ				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		(仮称)グリーン・フェスタを開催し、花やみどりに触れ合う機会を設けることで、市民の緑化意識の普及と高揚を図る。							
指標①	参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2,500人	2,500人	2,500人	A	目標②				
実績①	2,501人	8,000人			実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪グリーンフェスタを開催した。 ・グリーンフェスタへの変更を機に、みどりの景観まちづくりコンテストの創設や市民団体や大学、企業、ボランティア団体、各種団体との協働により参加型のイベントブースを設置する等積極的な事業展開を進めた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・前回以上に参加者が花やみどりに触れて楽しんでいただけるよう工夫する。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		(仮称)緑化センター整備事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		市民協働での緑化活動の推進や、市民に幅広く緑化に関する情報発信や情報交換ができる場として、(仮称)緑化センターを整備する。							
指標①	整備率				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	20%	80%	100%	D	目標②				
実績①	21%	30%			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・(仮称)緑化センター基盤造成工事を実施した。								
改善すべき点	・引き続き、本体の建築工事に係る予算確保に向けて取り組みを進めていく。								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・植物育成管理広場の造成工事やインフラ整備及び温室整備等を行う。 ・引き続き、本体の建築工事に係る予算確保に向けて取り組みを進めていく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名					緑化ボランティア育成事業					平成28年度 目標達成度	B
事業概要					地域における継続的な緑化活動を推進するため、花と緑の知識や技術等の習得を目的とした講座を実施し、地域の指導者として活動の核となる人材の確保と育成をめざす。						
指標①	修了証取得者数(累計)				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	100人	120人	140人	B	目標②	/					
実績①	101人	116人			実績②						
事業実績 (平成28年度)	・緑化ボランティア養成講座を開催した。 緑化ボランティア養成講座の修了証の交付は参加者18名中15名に行なった。										
改善すべき点	・より魅力的な講座内容を検討する等、参加者全員が修了できる工夫が必要。										
平成29年度に向けた改善策	・より魅力的な講座内容になるよう講座内容の見直しを実施する。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		緑化ボランティアキャラバン				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		緑化ボランティア養成講座修了生を中心に、駅前広場や庁舎周辺等の公共施設等の緑化を進める。							
指標①	実施箇所数(累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	4箇所	5箇所	6箇所	A	目標②				
実績①	5箇所	5箇所			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・東大阪市役所本庁舎、JR高井田中央駅前広場、近鉄布施駅前広場、近鉄八戸ノ里駅前広場、近鉄瓢箪山駅前広場にて植栽活動をおこなった。								
改善すべき点	・新たな活動地を増やし、緑化を進めていく。								
平成29年度に向けた改善策	・新たな活動地を増やし、緑化を進めていく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		森林ボランティア育成事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		森林の機能や森づくりに関する知識の普及・啓発並びに森林保育等の整備活動の実施を通じて、森づくり活動の中心的役割を担う人材を育成し、市民参加による森づくりをめざす。							
指標①	参加者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	80人	80人	80人	A	目標②				
実績①	81人	83人			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・森林ボランティア入門講座を計7回の講座を実施した。								
改善すべき点	・より魅力的な講座内容を検討する等、より多くの方に参加していただく工夫が必要。								
平成29年度に向けた改善策	・より魅力的な講座になるよう講座内容の見直しを実施する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	都市整備部 みどり景観課
----	--------------

実施計画事業名		駅前等公共施設緑化事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		誰もが花と緑に触れ合えるよう、駅前や公共施設などの緑化を推進する。							
指標①	整備箇所数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1箇所	1箇所	1箇所	A	目標②				
実績①	2箇所	2箇所			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・近鉄布施駅南側及び八戸ノ里駅南側フラワーポールの老朽化に伴い、10基撤去し、7基を再設置した。								
改善すべき点	・フラワーポールを含めた緑化施設の更新、増設を行っていく。								
平成29年度に向けた改善策	・フラワーポールを含めた緑化施設の更新、増設を行っていく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		大阪モノレール計画事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		大阪モノレールの早期南伸について、大阪府等の関係機関と協議を行い、事業化を働きかけるとともに、事業化決定後は駅周辺の整備等を進める。							
指標①	事業の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	事業化の決定	整備	整備	C	目標②				
実績①	事業化の決定	施設整備の検討			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・大阪府と大阪モノレール南伸事業に関する覚書を締結するとともに、駅前広場等の整備について検討した。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		大阪外環状線新駅設置事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		JR おおさか東線のJR 長瀬駅から新加美駅の間にも新駅を設置する。							
指標①	事業進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	執行した事業費の累計 / 全体事業費 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	40%	70%	100%	C	目標②	/	/	/	/
実績①	24%	36%			実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・平成30年春の開業を目指し、新加美～JR長瀬間新駅の駅舎工事を実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		大阪外環状線鉄道事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		広域鉄道ネットワークの形成による利便性の向上と交通混雑の緩和を図り、活気あふれる東部大阪のまちづくりをめざすため、JR おおさか東線の新大阪駅までの建設を促進する。							
指標①	事業進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	執行した事業費の累計／全体事業費 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	76%	86%	98%	B	目標②				
実績①	76%	82%			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成31年春の開業を目指し、放出～新大阪間の線路複線化や橋梁および駅舎の工事を実施した。								
改善すべき点	・事業費の確保								
平成29年度に向けた改善策	・大阪外環状鉄道株式会社の出資者間で、事業費の確保に向けた協議を継続的に実施する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	都市整備部 公共交通課
----	-------------

実施計画事業名		公共交通等の移手段の調査検討				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		公共交通事業者と共に利便性の向上等による利用促進策について調査・検討し、市民の移手段の確保・充実に努める。							
指標①	交通手段確保検討委員会の開催回数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1回	1回	1回	D	目標②				
実績①	0回	0回			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・バス事業者に対し新路線の導入や路線変更、また協議会等の参画意向について、ヒアリングを実施した。								
改善すべき点	・バス事業者から入手できる情報が限定的であり、継続して関係性を構築することによって、事業者と一緒に市民の利便性向上による公共交通の利用促進策を検討していく必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・事業者が一堂に会する場の設定に努め、事業目的の達成を目指す。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	都市整備部 公園管理課
----	-------------

実施計画事業名	公園緑化推進事業				平成28年度 目標達成度	A
事業概要	公園の緑化推進を図るため、公園愛護会や自治会と協議しつつ、各公園の状況に応じた高木や花木の植栽を行う。					
指標①	植栽本数				指標②	
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	
	H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	500本	500本	500本	A	目標②	
実績①	2,520本	664本			実績②	
事業実績 (平成28年度)	・善根寺公園カイツカイブキ120本、シラカシ1本、金物町公園ソメイヨシノ1本、菱屋東第1公園サツキツツジ200本、若江東町公園ハクモクレン1本、キンモクセイ1本、ハナミズキ1本、若江東第3公園ハナミズキ1本、水走西公園ソメイヨシノ3本、岸田堂南公園ハナミズキ2本、栄町北児童遊園ハナミズキ5本、キンモクセイ2本、ヒラドツツジ10本、小阪第2公園カイツカイブキ1本、菱屋西第1公園カイツカイブキ1本、中野公園ヒラドツツジ10本、本庄東公園ソメイヨシノ2本、若江北第2児童遊園ヒラドツツジ20本、長田北ヒラドツツジ150本、桂川児童遊園ハナミズキ2本、善根寺児童遊園ヒラドツツジ130本を12月～3月に植栽した。					
改善すべき点	・特になし					
平成29年度に向けた改善策	・特になし					

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	都市整備部 公園整備課
----	-------------

実施計画事業名		公園整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		子どもや高齢者が日常的に利用できる街区公園・近隣公園やスポーツ・レクリエーションを楽しめ防災機能をあわせ持つ総合公園である花園中央公園などを、すべての人が安全で利用しやすく、避難地としての役割をも考慮した公園として整備する。 ・花園中央公園整備事業 ・花園中央公園RWC 関連整備事業 ・花園中央公園用地先行取得事業 ・布施公園・善根寺公園・新池島南公園整備事業 ・都市公園バリアフリー化事業 ・都市公園長寿命化対策支援事業							
指標①	公園の開設率				指標②	/			
指標の説明・計算式	都市公園開設面積/都市公園計画面積 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	76.83%	76.83%	76.83%	A	目標②	/			
実績①	76.83%	76.83%			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・花園中央公園RWC関連整備事業 用地買収 ・都市公園バリアフリー化事業 鴻北公園整備工事 ・都市公園長寿命化対策支援事業 花園中央公園多目的球技広場改修工事								
改善すべき点	・花園中央公園の用地買収は大阪枚岡奈良線沿いを先行し、その後南側住宅地に着手する予定であるが、公園整備の完成には相当の費用と期間が必要である。また、ラグビー用地についても多額の費用を要する。 ・小学校区に最低1都市計画公園の開設を目指しており、早期に整備する必要があるが、公園整備における用地取得には多大な費用を要する。								
平成29年度に向けた改善策	・花園中央公園については引き続き用地買収事業を進めるとともに、より一層の国費要望に努める。 ・開設された都市計画公園の無い小学校区については、国の交付金やその他補助金を模索しながら整備手法について検討を進めていく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		放置自転車追放推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		歩行者などの安全と良好な景観を確保するため、啓発、指導及び駅前の放置自転車の撤去を実施する。							
指標①	駅周辺の放置自転車台数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,100台以下	1,100台以下	1,100台以下	A	目標②	/			
実績①	777台	847台			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・駅周辺の良好な生活環境の形成を図るため、放置禁止区域内に放置されている自転車等の撤去を実施した。								
改善すべき点	・啓発指導活動の強化により、放置自転車のさらなる減少を図る。								
平成29年度に向けた改善策	・現在の施策を継続して実施し、目標達成の継続を目指す。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		自転車マナー向上等啓発事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		警察などの関係機関や市民との協働により「自転車マナーデー」等の啓発活動を実施し、交通ルールの遵守とマナーの向上を図る。							
指標①	「自転車マナーデー」の街頭キャンペーン実施回数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	36回以上	36回以上	36回以上	A	目標②	/			
実績①	46回	49回			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・「自転車マナーデー」の街頭キャンペーンを49回実施した。								
改善すべき点	・キャンペーン実施場所の拡大								
平成29年度に向けた改善策	・東花園駅前等における実施を充実させる。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		違法駐車等防止事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		「東大阪市違法駐車等の防止に関する条例」に基づき、重点区域である布施駅周辺を中心に、違法駐車等防止のための助言・啓発活動を実施する。また、新都心地域である流通業務地区内道路の駐車対策を検討・実施する。							
指標①	違法駐車等の減少率(事業実施前の対平成9年度比)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	90%以上	90%以上	90%以上	D	目標②	/			
実績①	88%	80%			実績②				
事業実績 (平成28年度)	・布施駅周辺における違法駐車等を減らして安全・快適な生活環境につなげるため、違法駐車等の防止とその啓発の活動を実施し、違法駐車等減少効果を維持した。								
改善すべき点	・啓発活動の周知により、効果の向上を図っていく。								
平成29年度に向けた改善策	・活動効果が上がるよう、週末以外における啓発活動を展開する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名	交通安全運動推進事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要	市民の交通安全意識の高揚を図るため、「自転車マナーデー」を中心に、啓発運動に取り組む。特に、交通事故の原因となる迷惑駐車や、幼稚園児・小中学生、高齢者に対する交通安全指導等を関係機関とも連携して実施する。									
指標①	交通事故発生件数				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	2,600件以下	2,600件以下	2,600件以下	A	目標②	/	/	/	/	
実績①	2,479件	2,181件			実績②	/	/	/	/	
事業実績 (平成28年度)	・学校関係合計149回(幼稚園及び保育所51回、小学校69回、中学校等29回)の交通安全教室を実施した。このうち中学校3校においてスケアード・ストレート方式(スタントマンによる交通事故疑似体験)を取り入れることで内容の充実を図り、交通安全意識の向上とともに交通事故件数減少の結果を得た。									
改善すべき点	・スケアード・ストレート方式(スタントマンによる交通事故疑似体験)による交通安全教室を、より多く近隣住民にも周知することにより、効果的な啓発が図れるよう工夫したい。									
平成29年度に向けた改善策	・スケアード・ストレート方式による交通安全教室を確実に実施してその周知を図り、市民の交通安全意識の一層の向上につなげたい。									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		違法屋外広告物除却事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		違法簡易屋外広告物の除却を地域団体等に委任し、市民と共にきれいなまちづくりをめざす。							
指標①	違法屋外広告物追放クリーン作戦の参加団体数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	25団体	25団体	25団体	-	目標②	/			
実績①	0団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・実績なし								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし(本事業は推進団体制度の見直しに伴い、「ミチボラパートナーシップ事業」として再編されたため)								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路管理室
----	-----------

実施計画事業名		横断歩道橋整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化した既設横断歩道橋の点検・調査により損傷状況等を把握し、計画的に修繕工事を実施することで、構造物の長寿命化と利用者の安全確保を図る。							
指標①	点検率				指標②	/			
指標の説明・計算式	年度実施数／年度計画橋数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	調査	点検	計画	A	目標②	/	/	/	/
実績①	調査	点検	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・土木部が管理する横断歩道橋7橋の内、6橋の点検を実施した。								
改善すべき点	・横断歩道橋は、道路等を跨ぐ構造物であり、老朽化による第三者被害等の発生が懸念されることから、定期点検等の適切な管理と計画的な修繕を実施する必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・未点検の1橋を点検し、7橋の修繕計画について検討する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		玉串川跡地他道路整備事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		玉串川跡地等の農業用水路跡地について、地元自治会等と連携し、歩行者等の安全なアクセス路の確保を目的とした遊歩道整備をめざす。							
指標①	遊歩道整備進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	整備延長/計画延長 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	85%	91%	100%	B	目標②	/			
実績①	78%	90%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	遊歩道を整備するため、玉串川跡地において、境界確定明示を延長150m実施した。								
改善すべき点	・隣接地権者及び近隣住民に遊歩道整備に関するご理解をいただく必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・隣接地権者及び近隣住民にご理解をいただけるよう地元自治会と協力し事業の進捗を図る。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		市内一円道路改良事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		市が管理する道路の整備・改良を行う事で、交通の安全と円滑化や、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。							
指標①	整備進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	整備延長/年度別計画延長 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	100%	100%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・市が管理する道路のうち延長183mの道路改良工事を実施した。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		橋梁修繕補強事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁の修繕工事を実施するとともに、重要な橋梁について順次耐震補強を実施し、安全で安心な道路環境の確保を図る。							
指標①	整備進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	整備橋梁数/年度別計画橋梁数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	D	目標②	/	/	/	/
実績①	117%	33%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・橋梁長寿命化修繕計画に位置付けられた重要な橋梁のうち2橋の修繕補強工事を実施した。								
改善すべき点	・市内に架かる橋梁の多くは老朽化し修繕工事が必要であるが、実施に必要な財源確保が最大の課題となっている。								
平成29年度に向けた改善策	・国からの交付金を確保できるよう引き続き要望を実施していく。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		東花園駅前広場及び周辺道路整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「ラグビーワールドカップ2019」花園ラグビー場への誘致・開催に向けて、近鉄東花園駅から花園中央公園までのアクセスルートの再整備を図る。							
指標①	進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	整備済み延長/計画整備総延長 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	詳細設計	59%	100%	A	目標②				
実績①	詳細設計	59%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・東花園駅前広場線の歩道部と花園ラグビー場前線(延長320m)の道路改良工事を実施した。								
改善すべき点	・ラグビーワールドカップ2019の開催にむけた工期と財源確保が課題となっている。								
平成29年度に向けた改善策	・関係部署との連携や工法の検討によりコスト縮減を図る。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名					幹線道路舗装修繕事業					平成28年度 目標達成度	D
事業概要					市が管理する幹線道路の舗装改修費用の縮減や平準化を図るため、幹線道路舗装修繕計画に基づき、舗装改修を実施することで、交通の円滑化・安全確保を図る。						
指標①	進捗率				指標②	/					
指標の説明・計算式	実施済施工延長/計画施工延長 × 100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	30%	60%	100%	D	目標②	/	/	/	/		
実績①	8%	10%	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	・幹線道路舗装修繕計画に位置付けられた路線において、延長で約0.5kmの舗装修繕工事を実施した。										
改善すべき点	・市内には未だ多くの区間で修繕が必要であるが、実施に必要な財源確保が最大の課題となっている。										
平成29年度に向けた改善策	・国からの交付金を確保できるよう引き続き要望を実施していく。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名	交通安全施設整備事業(交通安全特別交付金)	平成28年度 目標達成度	A
事業概要	交通事故の危険性が高い交差点等を中心に道路反射鏡などの交通安全施設を新たに整備するほか、道路施設のバリアフリー化の工事を行い、安全で円滑な道路の整備を図る。		

指標①	市内で発生した交通事故における人身事故件数の対前年度比				指標②	/			
指標の説明・計算式	今年度人身事故件数/前年度人身事故件数				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1以下	1以下	1以下	A	目標②	/			
実績①	0.92	0.92	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	・道路照明灯や道路反射鏡等の交通安全施設の設置や歩道端部の段差解消等のバリアフリー化の工事を実施した。
------------------	---

改善すべき点	・既存の交通安全施設の更新や補修に事業費を充てる必要があり、新規の安全対策やバリアフリー化の進捗が図れない。
--------	--

平成29年度に向けた改善策	・費用対効果の高い対策を優先的に実施し、事業費内での効率的な安全対策の実施を図る。
---------------	---

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名	JR徳庵駅東側エレベーター設置事業			平成28年度 目標達成度	D
事業概要	JR 徳庵駅は橋上駅であり、駅東側の連絡通路は跨線橋の階段となっていることから、エレベーター設置により、すべての人が安心・安全で円滑に移動することが出来るようバリアフリー化を図る。				

指標①	進捗率				指標②	/			
指標の説明・計算式	実施済み事業費/全体計画事業費×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	9%	18%	100%	D	目標②	/			
実績①	0%	0%	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	・エレベータの設置に向け、地元自治会と支障物件の移転について協議を実施した。
------------------	--

改善すべき点	・特になし
--------	-------

平成29年度に向けた改善策	・地元自治会と引き続き協議を実施する
---------------	--------------------

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		歩道設置事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		交通量が多い危険な道路などを中心に歩道等の整備を実施することで、安全な歩行空間の確保を図る。							
指標①	整備率				指標②				
指標の 説明・計算式	実施路線/計画路線 × 100				指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	50%	設計	100%	A	目標②				
実績①	50%	設計	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成29年度の設置工事に向けた詳細設計を行った。								
改善すべき点	・歩道設置や柵等による歩車道分離は物理的な安全対策として非常に有効であるが、効果的な整備には一定の道路幅員と道路延長が必要となる。								
平成29年度に向けた改善策	・歩道設置が困難な路線や効果が発揮しづらい箇所については、公安委員会による規制や通学路の変更等の別途安全対策を検討するよう協議する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 道路建設室
----	-----------

実施計画事業名		庁舎周辺道路照明灯改良事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		庁舎周辺道路に設置された特殊照明灯を一般的な道路照明灯具に改修することで、ライフサイクルコストを削減し、より効率的な道路環境の確保を図る。							
指標①	整備率				指標②	/			
指標の説明・計算式	改修完了基数 / 全体計画基数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	33%	66%	100%	A	目標②	/			
実績①	39%	71%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・庁舎周辺道路において、道路照明灯28基の灯具交換を実施した。								
改善すべき点	・当該路線を含め市内の道路照明灯は設置年が古く老朽化しており、計画的な修繕または更新が必要である。								
平成29年度に向けた改善策	・平成29年度も灯具交換に際しては、支柱等の点検も実施し、道路照明灯の健全性を把握するとともに、修繕が必要な案件については、関係部署と連携できるよう調整し、道路照明灯の延命化と保全を図る。								

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	土木部 土木工営所
----	-----------

実施計画事業名	交通安全施設維持補修事業	平成28年度 目標達成度	A
事業概要	道路照明灯や道路反射鏡などの交通安全施設の維持補修を実施し、安全な道路環境の維持を図る。		

指標①	実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式	執行予算額/当初予算額 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/			
実績①	100%	100%	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	・道路照明灯の管球交換等を実施した。
------------------	--------------------

改善すべき点	・特になし
--------	-------

平成29年度に向けた改善策	・特になし
---------------	-------

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名		街路整備事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		鉄道利用者の利便性向上のため、駅前広場を整備する。また、交通渋滞の緩和や市域の活性化のため、計画的な都市計画道路の整備を図る。							
指標①	実施中事業の進捗率				指標②	/			
指標の 説明・計算式	整備実績事業費/計画整備事業費×100				指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	75%	79%	82%	B	目標②	/	/	/	/
実績①	73%	74.2%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路俊徳道駅前広場、足代荒川線の用地買収を実施した。俊徳道駅前広場内の用地買収が完了し、今年度から一部築造工事に着手した。太平寺上小阪線の一部道路築造工事も着手している。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・国からの交付金の配分が非常に厳しい状況であるため事業費の確保と事業区域内の各権利者の理解・協力が必要である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の買収については、公共用地先行取得事業特別会計を活用する。平成29年度は都市計画道路小阪稲田線の一部区間及び俊徳道駅前広場、衣摺駅前広場の築造工事ができる状態であり、財源の確保が急務である。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名	大阪外環状線連続立体交差事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要	JR おおさか東線のJR 俊徳道駅～大阪市域の区間で、踏切による交通渋滞の解消や事故防止、分断された地域の一体的な整備と活性化のため、大阪府より委託を受け用地取得や関連側道の整備などを行う。									
指標①	側道整備率				指標②					
指標の説明・計算式	整備済延長/全整備必要延長×100				指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	90%	100%	—	B	目標②					
実績①	84.8%	84.8%	—		実績②					
事業実績 (平成28年度)	・用地買収が完了しなかったため、道路整備が出来なかった。									
改善すべき点	・早期の用地買収に努める。									
平成29年度に向けた改善策	・平成28年度末をもって連続立体交差事業の認可が切れたため、街路整備事業として予算を要望し側道整備を行う。									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名	近鉄奈良線連続立体交差事業			平成28年度 目標達成度	B
事業概要	大阪中央環状線～大阪外環状線の区間の近鉄奈良線の高架事業に伴い、大阪府より委託を受け用地取得や関連側道の整備などを行う。				

指標①	用地取得進捗率				指標②				
指標の説明・計算式	累計用地取得面積/全用地取得必要面積 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	97%	100%	100%	B	目標②				
実績①	96%	96.3%	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	・今年度は用地買収が1権利者と契約した。側道工事は附属街路北側2号線の築造工事を発注し整備を進めている。
------------------	--

改善すべき点	・早期の用地買収に努める。
--------	---------------

平成29年度に向けた改善策	・事業区域内の各権利者の理解・協力のもと、早期に用地買収出来るよう努める。
---------------	---------------------------------------

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	土木部 街路整備室
----	-----------

実施計画事業名	街路整備事業(大阪瓢箪山線・八尾枚方線)	平成28年度 目標達成度	A
事業概要	近鉄奈良線連続立体交差事業の関連事業として、事業主体である大阪府より委託を受け、関連道路の整備を促進する。		

指標①	用地取得進捗率	指標②	/						
指標の説明・計算式	累計用地取得面積/全用地取得必要面積×100【近鉄用地を除く】	指標の説明・計算式							
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	—	A	目標②	/			
実績①	99.9%	99.9%	—		実績②				

事業実績 (平成28年度)	・用地買収が進捗しなかった。
------------------	----------------

改善すべき点	・早期の用地買収に努める。
--------	---------------

平成29年度に向けた改善策	・事業区域内の各権利者の理解・協力のもと、早期に用地買収出来るよう努める。
---------------	---------------------------------------

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	4

所属	土木部 河川課
----	---------

実施計画事業名		六郷水路改修事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		農業用水路の機能の回復と、浸水被害の防止のため、農業用水路を改修する。							
指標①	水路整備延長(六郷水路1,800m)				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	—	調査	10%	A	目標②	/			
実績①	—	調査	—		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・調査を実施								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	土木部 河川課
----	---------

実施計画事業名	都市基盤河川改修事業(大川)	平成28年度 目標達成度	A
事業概要	河川改修を進め、治水対策の充実を図る。		

指標①	整備延長				指標②	用地買収			
指標の 説明・計算式	整備延長÷総延長1,740m×100				指標の 説明・計算式	用地買収面積÷必要面積15,369 m ² ×100			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	57%	57%	66%	A	目標②	61%	65%	65%	A
実績①	57%	57%	-		実績②	70%	79%	-	

事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤河川改修事業(大川) 用地買収面積2983.33m²、物件補償 3件
------------------	--

改善すべき点	・特になし
--------	-------

平成29年度に向けた改善策	・地価の下落等により買収交渉が難航するため、所有者との交渉回数を増やし成立を図る。
---------------	---

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	土木部 河川課
----	---------

実施計画事業名		貯留浸透事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		第二寝屋川以東において、浸水被害の生じる可能性のある地域の小学校で、校庭貯留による治水対策を行う。							
指標①	整備校数(累計)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	11校	-	-	A	目標②				
実績①	11校	設計 1校	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・岩田西小学校の設計委託を実施。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・夏休み期間中の工事完成に努める								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	1

所属	建築部 住宅政策室
----	-----------

実施計画事業名		市営住宅整備事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。							
指標①	市営住宅戸数に占める耐火住宅の割合				指標②	/			
指標の説明・計算式	(耐火住宅 / 市営住宅戸数 × 100)				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	85.1%	86.8%	87.4%	B	目標②	/			
実績①	83.0%	84.0%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市営高井田ブロック住宅の売却を行った。(6戸) ・木造市営住宅である柏田住宅の一部除却(3戸)を行った。 ・木造市営住宅である桂川住宅の一部除却(6戸)を行った。 ・上小阪東住宅建替事業のPFI事業者の選定を行い、事業契約を締結した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性に課題がある簡易耐火住宅や耐用年限を経過した木造住宅が多数存在しており建替えを進める必要がある。 ・計画期間内において建替えとした住宅については、財政状況、地域事情や入居者の状況等を踏まえながら、計画的な建替えを推進する。建替えの際に余剰戸数が発生した場合には、その他の老朽化した市営住宅に居住している世帯を優先的に移転させるなど、住み替えを支援する。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・市営意岐部住宅の売却を行う。 ・上小阪東住宅建替事業の実設計を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	建築部 住宅政策室
----	-----------

実施計画事業名		密集住宅市街地総合整備事業				平成27年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽木造賃貸住宅が密集している若江・岩田・瓜生堂地区において、建物の不燃化による防災性の向上をめざし、防災道路の整備を行うことで、安全・快適なまちづくりを確保する。							
指標①	防災道路買収面積率				指標②				
指標の説明・計算式	防災道路用地買収面積/事業計画買収面積 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	37.95%	41.49%	59.47%	B	目標②				
実績①	36.99%	41.10%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路買収126.90㎡及び道路整備を行った。 ・老朽木造賃貸住宅15棟53戸の除却補助を実施した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・密集事業に基づく防災道路拡幅整備は、都市計画道路事業等と同じ事業手法ではなく任意事業のため、地権者への地道な協力依頼が必要である。 ・防災道路拡幅路線において建替を実施直前に把握するケースがあり、今後、事前把握の為に、地権者等との接触及び関係部局との連携の強化が必要である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路整備を推進するため、地権者へ引き続き協力依頼を行っていく。 ・建築指導室との連携を図ることにより、建替計画の事前把握を行う。 ・老朽木造賃貸住宅除却補助要綱を活用し、老朽木造賃貸住宅の削減を推進していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	1

所属	建築部 住宅改良室
----	-----------

実施計画事業名		住宅改良事業				平成27年度 目標達成度		C	
事業概要		老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。							
指標①	空家一般補修戸数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	72戸	72戸	72戸	C	目標②				
実績①	52戸	48戸	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づき、B棟(長瀬・荒本)建替え工事の設計を行った。 ・空家改修工事48戸を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・経年年数が増えていくため、整備項目が多くなりコストが高まっている。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・整備項目を精査し、コスト削減につなげていきたい。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	建築部 住宅改良室
----	-----------

実施計画事業名					まちづくり基本構想推進事業					平成27年度 目標達成度	B
事業概要					平成16年3月に策定された長瀬、荒本地域まちづくり基本構想に基づき、地元が主体となってまちづくりを推進する。						
指標①	まちづくり推進会議及びワークショップ実行委員会開催回数				指標②	/					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	15回	15回	15回	B	目標②	/					
実績①	15回	14回	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・B棟(長瀬・荒本)建替え工事の設計において、意見交換を行った。										
改善すべき点	・B棟(長瀬・荒本)建替え工事を進め、迅速に移転が出来るように住民に働きかける。										
平成29年度に向けた改善策	・B棟(長瀬・荒本)建替え工事を肅々と進める。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	建築部 建築営繕室
----	-----------

実施計画事業名	小中学校耐震化事業	平成28年度 目標達成度	-
事業概要	地震時において児童・生徒の安全を図る為、災害時の避難所に指定されている小・中学校の校舎の耐震補強工事や建替棟工事によって施設の耐震性を確保する。		

指標①	耐震化率				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	100%	-	-	-	目標②	/			
実績①	100%	-	-	-	実績②				

事業実績 (平成28年度)	・小中学校校舎耐震化事業は、平成27年度末をもって全て完了。
------------------	--------------------------------

改善すべき点	・小中学校校舎耐震化事業は、平成27年度末をもって全て完了。
--------	--------------------------------

平成29年度に 向けた改善策	・小中学校校舎耐震化事業は、平成27年度末をもって全て完了。
-------------------	--------------------------------

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	建築部 建築営繕室
----	-----------

実施計画事業名		市有建築物の計画的な耐震化促進				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		東大阪市市有建築物耐震化整備計画に基づき、計画的に耐震化を促進する。							
指標①	防災関連施設の耐震化率(H27まで)と特定建築物等の耐震化棟数(H28以降)				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	6棟	3棟	A	目標②				
実績①	100%	8棟	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 【特定建築物の耐震化を実施】 (耐震化整備計画に基づく事業) ・東体育館耐震補強 ・旧市民会館解体 (耐震化整備計画関連事業) ・日新高等学校耐震補強(4棟) ・旧太平寺中学校校舎解体(2棟) 【東大阪市市有建築物耐震化整備計画の改定】 ・計画年次を満了した計画を改定し、新たなる市有建築物の耐震化の目標を設定しました。 								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	2

所属	建築部 指導監察課
----	-----------

実施計画事業名		震災対策推進事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		市民の生命と財産を保護するため、住宅・建築物の耐震診断、改修を計画的かつ総合的に推進する。							
指標①	耐震改修補助制度を活用した住宅の戸数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	35戸	35戸	35戸	D	目標②				
実績①	22戸	14戸	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<p>・平成28年度は全戸回覧を4回行い、平成22年度から継続の最大100万円の設計・改修補助を継続した結果、実績は、木造住宅の耐震診断補助及び耐震診断員派遣は合計227戸、耐震改修設計補助は8戸、耐震改修工事補助は14戸、除却工事補助は72戸となった。市政だよりの特集記事の掲載や全戸回覧、また市役所や各自治会に訪問しての耐震診断・改修セミナー等の周知・啓発活動を行った。</p>								
改善すべき点	<p>・耐震改修設計補助と耐震改修工事補助が前年度と比べて大きく下回った。(設計19戸→8戸、改修22→14戸)</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・代理受領制度の創設による申請者への経済的負担の軽減。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名					消防署建替事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					老朽化が進む西消防署庁舎の現地建替えを行い、本市西地区の防災活動拠点としての機能の回復向上を図り、大規模震災などの有事に備える。						
指標①	整備の進捗状況				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	施工	施工	完了	A	目標②	/					
実績①	施工	施工	-		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・計画通り工事が進んでおり、平成28年9月に庁舎北側の建設工事に着手した。										
改善すべき点	・引き続き、計画通りに事業を進めていく。										
平成29年度に向けた改善策	・引き続き、計画通りに事業を進めていく。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名		高機能消防指令センター整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		近年の大規模化、多様化するさまざまな災害から市民生活の安全安心を確保するために、新たなICTの通信環境を構築した機器に更新し、消防力を強化する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	基本計画の策定	システムの構築	システムの構築	A	目標②				
実績①	策定	実施	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能消防指令センター整備事業の委託事業者を公募型技術提案(プロポーザル方式)により決定し、契約を締結した。 ・平成30年4月の運用開始に向け、高機能消防指令センターのシステム構築のため整備事業委託事業者と打合せ等を実施した。 								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名					消防団屯所整備事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					地域防災力として重要な役割を担っている消防団員の活動拠点である消防団屯所のうち、老朽化している布市、出雲井の屯所を整備する。						
指標①	整備の進捗状況				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	施工・完了	-	-	A	目標②	/	/	/	/		
実績①	1ヶ所	設計 1ヶ所	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	・平成29年度の建築予定である6分団3号車屯所について設計を実施した。										
改善すべき点	・平成27年度から工事を一時中断していた1分団3号車の屯所については、平成28年8月に工事を再開したが、地元自治会から再度要望が寄せられたことから工事が中断し、完成に至らなかった。										
平成29年度に向けた改善策	・建築予定である1分団3号車の屯所については、地元自治会の更なる協力を得て完成を目指す。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名		消防団車両整備事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		地域防災力として重要な役割を担っている消防団員の現場活動車両について、その性能を維持向上するため、更新・整備する。							
指標①	整備台数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	2台	2台	D	目標②	/	/	/	/
実績①	-	0台	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度の更新車両は無し。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・耐用年数を考慮しながら計画を再考し、更新整備していく								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 人事教養課
----	-----------

実施計画事業名		救急救命士養成・高度化事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要		高度化する救急需要に対応するため、高度な知識と技術をもった救急救命士を計画的に養成する。									
指標①	救急救命士養成者数				指標②	高度医療(気管挿管)行為認定救命士養成者数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	6名	3名	2名	A	目標②	6名	6名	6名	C		
実績①	5名	3名	-		実績②	6名	3名	-			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士養成者数 3名 【内訳】 大阪市消防局高度専門教育訓練センター 2名 救急救命東京研修所 1名 高度医療(気管挿管)行為認定救命士養成者数 3名 (市内の契約病院に派遣) 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 高度な救急処置を実施できる救急救命士を充実させるため、教育機関や契約病院と連携を密にとりながら必要とされる講習や実習等に計画的に派遣することが必要である。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 今後も増加が見込まれている救急需要に対し、高度な救急医療を提供することはもちろん、救急救命士法の施行から20年以上が経過することから、世代交代を見据えた救急救命士の養成を行うとともに、質を低下させることなく救急体制を強化し絶え間なく資質の向上を図る。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		消防車両整備事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		火災、救急救助、化学災害、自然災害などの事案に対応するため、各種の消防車両について、計画的に車両を導入・更新整備する。							
指標①	整備台数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	15台	16台	14台	D	目標②	/	/	/	/
実績①	7台	3台	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応特殊化学消防自動車 1台更新 西消防署 本署 ・広報車 1台更新 西消防署 本署 ・はしご付消防自動車(40m級)オーバーホール 1台実施 中消防署 本署 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数を経過している消防車両が多数あり、災害対応に支障をきたさぬよう更新整備が必要である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでと同様、耐用年数を考慮し、更新整備していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		呼吸器整備事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		消火活動、救助活動に際し、濃煙、熱気などから隊員の生命を守る空気呼吸器を更新・整備する。							
指標①	空気呼吸器本体更新数				指標②	ボンベ(7ℓ)更新数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	71基	-	-	-	目標②	167本	-	-	-
実績①	71基	-	-	-	実績②	167本	-	-	-
事業実績 (平成28年度)									
改善すべき点									
平成29年度に向けた改善策									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		小型動力ポンプ・林野火災用可搬ポンプ整備事業								平成28年度 目標達成度	C
事業概要		建物倒壊による道路網の寸断により消防車両の通行に支障をきたした場合に備え、小型動力ポンプを計画的に更新・整備するとともに、林野火災に備え、老朽化の進む林野火災用可搬ポンプについても同様に更新・整備する。									
指標①	小型動力ポンプ更新数				指標②	林野火災ポンプ更新数					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	5台	5台	5台	D	目標②	2台	2台	1台	C		
実績①	0台	0台	-		実績②	1台	1台	-			
事業実績 (平成28年度)	・林野火災用可搬ポンプ 1台整備 西消防署 本署										
改善すべき点	・小型動力ポンプにあっては更新整備できず、エンジン及びポンプの老朽化が進行しており、メーカーによる修繕も困難になってきているため、計画的な更新整備が必要である。										
平成29年度に向けた改善策	・震災等の大規模災害発生時に支障をきたさぬよう、現有資機材の維持管理に努めるとともに、老朽化が著しい小型動力ポンプから計画的に更新整備するよう努めていく。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		高規格救急車整備事業				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		増え続ける救急需要に対応するため、高規格救急車を計画的に更新・整備する。							
指標①	整備台数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2台	2台	1台	C	目標②				
実績①	2台	1台	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 高規格救急車 1台更新 東消防署 本署 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 増加している救急需要に対応するため、計画的に更新整備する必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を考慮し更新整備していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	上下水道局 経営企画室
----	-------------

実施計画事業名					(仮)第四次水道施設整備事業					平成28年度 目標達成度	B
事業概要					山間部の送配水機能の分離、平区基幹施設の耐震化、平区基幹施設連絡管路の耐震化などを行い、水道の安全性向上と安定供給を図る。						
指標①	配水池の耐震化率				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
					H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28
目標①	—	41.69%	41.69%	B	目標②	/					
実績①	—	39.13%	—		実績②						
事業実績 (平成28年度)	・H28の目標値は第三次水道施設整備事業の完了数値であり、第四次水道施設整備事業としては上小阪配水場にかかる工事を着手した。										
改善すべき点	・特になし。										
平成29年度に向けた改善策	・上小阪配水場にかかる工事については、平成31年度竣工を目指して着実に工事を進めていく。 ・平成29年度には、石切特別高区配水池更新工事の着手に努める。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	4

所属	上下水道局 経営企画室
----	-------------

実施計画事業名		上下水道庁舎の建設事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		上下水道庁舎の実現に向け、設計～建設を行う							
指標①	同一庁舎の実現				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	設計完了	工事完了	同一庁舎の実現	D	目標②	/	/	/	/
実績①	基本設計 実施設計	実施設計	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・実施設計業務は一定終えているが、工事発注には至らなかった。								
改善すべき点	・発注に係る関係機関等との協議・調整に十分な時間が取れなかった。								
平成29年度に向けた改善策	・発注に係る関係機関等との協議・調整をスムーズに進め、庁舎建設工事の発注に努める。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	水道施設部 施設整備課
----	-------------

実施計画事業名		第三次水道施設整備事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要		山間部の送配水機能の強化を中心とする基幹施設(浄水施設、配水施設)を整備し、浄水処理の安定化、地震等災害に対する安全性の向上を図る。									
指標①	配水池の耐震化率				指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	41.69%	—	—	B	目標②						
実績①	39.13%	39.13%	—		実績②						
事業実績 (平成28年度)	<p>・平成27年度に完成予定であった五条低区配水池更新工事は、仮設工(土留柱列杭の施工)において、想定以上の硬質地盤出現により施工が難航し、対策・工法の変更などに不測の期間を要し、平成29年度まで工事を延期することとなった。 平成28年度の事業実績としては変更した計画に沿って、平成29年度の完成を目指し、仮設工(土留柱列杭の施工)の工事を着実に進めた。</p> <p>配水池耐震施設率 (耐震対策の施されている配水池容量 45,845m³ / 配水池総容量 117,164m³) × 100 = 39.13%</p>										
改善すべき点	<p>・工程の遅延を出来るだけ小さくする目的で、仮設工(土留柱列杭の施工)である柱列壁工の一部を施工速度の速い鋼矢板圧入工法へ変更した。</p>										
平成29年度に向けた改善策	<p>・変更した計画に沿って着実に工事を進めていく。</p>										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	下水道部 下水道計画総務室
----	---------------

実施計画事業名		雨水増補管事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		既設の下水管で流しきれない雨水に対応するための雨水増補管を整備し、浸水被害を軽減する。							
指標①	雨水増補管整備率				指標②				
指標の説明・計算式	整備率(整備延長/計画延長×100)				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	88.7%	89.1%	89.4%	A	目標②				
実績①	88.8%	89.6%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・新永和幹線、新岸田堂幹線 【平成28年度末延長】 24,545m								
改善すべき点	・増補管事業は大規模工事となる為、設計・積算に非常に時間がかかる。 また、事前調整内容の変更が生じると、設計変更にも多大な時間を要する。								
平成29年度に向けた改善策	・修正ができるだけ出ないよう調整を的確に行い、早期の事業発注に努める。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	下水道部 下水道計画総務室
----	---------------

実施計画事業名		下水道施設再構築事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		老朽化した下水管やポンプ場設備の更新及び耐震化を行い、下水道施設の機能維持を図る。							
指標①	管きよ改築延長(第3次実施計画期間内累計)				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1.9km	6.3km	9.6km	B	目標②	/			
実績①	2.4km	5.1km	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度下水道管きよ改築実績 管径: φ250mm～φ2,300mm 延長: 約2.7km 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 既設下水管内には下水が流れていること、他企業の埋設物、交通状況、取付管の状況等を把握し、経済性、施工性から工法を検討する必要がある。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 仮排水や、通水しながら施工できる工法の検討、他企業との調整を早期に行い、適切な工法選定を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	人権教育室
----	-------

実施計画事業名		人権教育研究集会開催事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		学校園・家庭・地域が連携し、豊かな人権感覚と確かな学力を育むことをめざして、人権教育研究集会開催、在日外国人教育推進事業、研究冊子・資料の作成などの各種事業を実施、支援する。									
指標①	東大阪市人権教育研究集会(全体会・分科会)の参加者数				指標②	母国語学級における、対象児童・生徒の参加率					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	4,500人	4,500人	4,500人	B	目標②	70%	70%	70%	A		
実績①	4,191人	4,273人	-		実績②	70%	70%	-			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研究集会全体会(8月5日)、分科会(11月9日)を実施。 ・市内28校の小・中学校に韓国・朝鮮に関する文化や歴史を学ぶ学級を設置し、活動を支援。 ・在日外国人教育担当者に研修会を実施。 ・啓発資料集を作成し、全教職員へ配布。 										
改善すべき点	人権教育研究集会 ・人権の課題を自分自身に関わる問題と捉えることで、自らの行動に表れるようにすることについて追及する。 ・保護者・地域との連携を深め、地域に根付いた人権教育を展開する。 母国語学級における、対象児童・生徒の参加率 ・排外的な主張が大きくなる状況の中、子どもが安心して学校生活を送ることができる環境作り。 ・全ての子どもが違いを豊かさとして捉え、多様性を尊重することができる力を育む教育のより一層の推進。										
平成29年度に向けた改善策	人権教育研究集会 ・21回目を迎え、参加者にとってより有意義な研修会の運営 母国語学級における、対象児童・生徒の参加率 ・母国語学級(28校)を中心とした学校における在日外国人教育の推進 ・子どものアイデンティティを高めることができる環境の醸成をさらに進めるため、学習発表会などの運営に対する支援										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	人権教育室
----	-------

実施計画事業名		いじめ防止対策推進事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		園児・児童・生徒・保護者および教職員を対象に、中学校区での研修会の開催や啓発リーフレット等を配布することで、人権感覚と人権意識を高揚させ、いじめの発生を未然に防ぐ。									
指標①	学校区いじめ問題研修会実施回数				指標②	啓発資料等を活用した学校園の割合					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	52回	50回	50回	A	目標②	100%	100%	100%	A		
実績①	52回	50回	-		実績②	100%	100%	-			
事業実績 (平成28年度)	学校区いじめ問題研修会実施回数 ・学校区において、教職員及び保護者・地域対象の研修会を2回ずつ実施。 啓発資料等を活用した学校園の割合 ・いじめ防止啓発リーフレット(2回)、ポスターを作成し全ての学校園に配布。										
改善すべき点	学校区いじめ問題研修会実施回数 ・各学校園における、計画的な研修会の実施、及び実施内容に関する指導助言 啓発資料等を活用した学校園の割合 ・いじめ問題に対する効果的な啓発のためのリーフレットの在り方を検討。										
平成29年度に向けた改善策	学校区いじめ問題研修会実施回数 ・各学校園に対する研修計画の策定支援及び、実施状況の適切な管理。 啓発資料等を活用した学校園の割合 ・市内のいじめ問題の状況をもとにした効果的なリーフレットの作成										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		幼稚園施設耐震化事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		公立の就学前教育・保育施設再編整備計画(案)を踏まえ、幼稚園園舎の耐震化工事を実施する。				平成28年度 目標達成度		-	
指標①	耐震化実施率				指標②	/			
指標の 説明・計算式	実施園数／実施予定園数×100				指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	0%	100%	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成28年度)	・石切幼稚園(1園舎)、枚岡幼稚園(1園舎)の耐震補強設計業務を実施。								
改善すべき点	・「公立の就学前教育・保育施設整備計画(平成27年5月)」に基づき、幼稚園舎の耐震化を進めているが、平成29年度は、当該計画の中間見直しが予定されており、この見直し結果に基づき、平成31年度以降も市立幼稚園として引き続き存続する幼稚園の内、耐震性が確保されていない園舎の耐震化を進める必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・石切幼稚園(1園舎)、枚岡幼稚園(1園舎)の耐震補強工事を実施。再編整備計画中間見直しの結果に基づき、平成31年度以降も市立幼稚園として引き続き存続する幼稚園の内、耐震性が確保されていない園舎の耐震化を進める。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名					日新高校施設耐震化事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					大規模地震発生時の生徒の安全を確保するため、日新高校校舎の耐震化工事を実施する。						
指標①	耐震化実施率				指標②	/					
指標の説明・計算式	実施棟数／実施予定棟数×100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	20%	100%	-	A	目標②	/	/	/	/		
実績①	20%	100%	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	・耐震化の必要な4校舎の耐震補強工事等を実施。										
改善すべき点	・特になし。										
平成29年度に向けた改善策	・特になし。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		学校施設における非構造部材の耐震化事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		小中学校及び日新高校の体育館に設置された窓ガラス（非構造部材）の落下防止対策を計画的に進める。							
指標①	耐震化実施率				指標②				
指標の 説明・計算式	実施校数／実施予定校数 × 100				指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	50%	80%	100%	A	目標②				
実績①	47%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・6小学校（縄手北小・荒川小・森河内小・楠根小・小阪小・弥刀小）、1中学校（長栄中）のサッシ改修を実施。								
改善すべき点	・サッシ改修に関しては事業完了につき特になし。								
平成29年度に向けた改善策	・サッシ改修に関しては特になし。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名	老朽化プール改修事業								
事業概要	老朽化の進んだ小中学校のプール改修を進める。				平成28年度 目標達成度	-			
指標①	プール改修実施校数				指標②	/			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2校	0校	1校	-	目標②	/			
実績①	2校	0校	-	-	実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	・特になし。								
改善すべき点	・特になし。								
平成29年度に向けた改善策	・特になし。								

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		学校施設安全対策等整備事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		施設の老朽化に伴い生じた小中学校の危険箇所(外部鉄骨階段、外壁など)について、その安全対策のための整備を計画的に進める。							
指標①	安全対策を実施した小中学校数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	30校	-	-	-	目標②				
実績①	31校	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成28年度)	・特になし。								
改善すべき点	・特になし。								
平成29年度に向けた改善策	・特になし。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		学校トイレ洋式化事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化が進み衛生環境が低下した小中学校トイレの改修と洋式化を計画的に進める。							
指標①	学校トイレ洋式化計画の実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式	実施校数／実施予定校数 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	74.7%	100%	-	A	目標②	/	/	/	/
実績①	73.3%	100%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・小学校9校(縄手小・枚岡東小・森河内小・太平寺小・高井田西小・意岐部小・小阪小・長瀬東小・長瀬南小)、中学校11校(縄手中・石切中・縄手北中・孔舎衛中・縄手南中・盾津中・玉川中・英田中・盾津東中・長栄中・金岡中)のトイレ改修を実施。								
改善すべき点	・改修が必要な学校トイレについては、学校と調整しながら必要に応じて改修していく。								
平成29年度に向けた改善策	・特になし。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育総務部 教育施設整備課
----	---------------

実施計画事業名		小学校の暑さ対策施設整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		小学校施設における熱中症対策として普通教室にドライミストを整備する。							
指標①	小学校普通教室のドライミスト設置率				指標②	/			
指標の説明・計算式	設置教室数/設置予定教室数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	60.7%	100%	-	A	目標②	/			
実績①	69.5%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・小学校22校(縄手小・枚岡東小・孔舎衛小・縄手南小・上四条小・若江小・花園小・玉串小・岩田西小・加納小・長堂小・森河内小・高井田西小・意岐部小・小阪小・上小阪小・長瀬北小・長瀬東小・長瀬南小・柏田小・藤戸小・桜橋小)の計289普通教室にドライミストを設置。								
改善すべき点	・ドライミストに関しては事業完了につき特になし。								
平成29年度に向けた改善策	・平成28年度より空調整備に向けた調整等を進めており、本市にとって、最適な整備手法等を検討するため、平成29年度はPFI等導入可能性調査を実施する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	教育総務部 学校給食課
----	-------------

実施計画事業名		学校給食における「食育」の推進				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		身近でつくられた農作物を紹介するとともに、学校給食に市内産、大阪府内産の食材を使用することで、児童に食の大切さや生産者への感謝の気持ちを育む。							
指標①	学校給食における大阪府内産の農作物の使用割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
					H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	5%	5%	5%	A	目標②	/			
実績①	7%	14%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内産農作物使用割合14.26% 使用量95,678kg (内訳⇒米:82,726kg 野菜:10,716kg 果物:2,236kg) ・市内産農作物使用割合12.49% 使用量83,752kg 使用品目数10品目 ・全校で46回地場産米を使用した。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・単独調理校への配送、及び学校給食の規格を満たす農作物を供給可能な生産者を増やすこと。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・JAへの協力要請及び、農政課から、配送も含め協力してくれる市内の農家及び農家グループを紹介してもらう。 								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		学びのトライアル事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		市立小中学校に配置した学力向上支援コーディネーターなどを中心に、学校園が総体として組織的な学力向上に取り組み、家庭教育に対しても積極的な啓発を行うこと通して、経済的・文化的格差に起因する学力格差の縮小を目指す。							
指標①	全国学力調査等の正答率分布グラフによる低学力層の減少(チャレンジテスト中2:34点以下平均)				指標②	児童生徒、保護者による本事業に対する評価			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	低学力層の割合の減少(H26:31.9%)	①前年度より減少	①前年度より減少	B	目標②	アンケートによる好評価の増加(H26:76.4%)	前年度より増加	前年度より増加	A
実績①	27.70%	27.90%	-		実績②	78.20%	79.90%	-	
事業実績(平成28年度)	<p>・各校で学力向上支援コーディネーターを中心に、組織的な取組みを継続して進めている。平成28年度は、「学力向上テーマ「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」を継承しながら、各中学校区としての「学びのスタンダード」を確立させ、学習指導や生活指導、家庭学習をすすめた。</p> <p>「東大阪市教育フォーラム」では、一貫教育をテーマに実践報告及び講演会を行い、本市がめざす小中一貫教育の意義について、広く市民に広める機会とした。</p> <p>「トライアルスクール推進事業」では、授業公開や研究発表会を通して発表校の取組を本市全体に広め、本市全体の学校教育充実につとめた。</p> <p>「標準学力調査」を実施し、児童生徒の学習状況を把握し、授業改善につとめた。</p>								
改善すべき点	<p>・授業や学習に対する意識や姿勢など定性的な成果は年を重ねるごとに向上している。また、授業でのめあての提示や振り返りの実施等、9年間を見通した「学びのSTANDARD」は定着しつつある。ただし、「全国学力・学習状況調査の平均正答率」のような定量的な調査結果については、依然として活用力を問う問題に課題が見られる。</p>								
平成29年度に向けた改善策	<p>・中学校区において、引き続き「9年間を見通した『学びのSTANDARD』」の取組みをすすめるとともに、各中学校区内で「9年間を通した教科教育課程」を検討し、系統性・連続性のある学習指導をすすめることでつまづきの克服を図る。</p> <p>・「標準学力調査」結果をいかし、各校の取組改善にいかせるよう、説明会や研修会等を実施する。</p>								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		クラブ活動推進事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		中学校・高等学校での部活動経費の補助や外部人材を活用した専門的指導など、部活動の活性化を総合的に支援する。							
指標①	部活動に参加する生徒の割合				指標②				
指標の説明・計算式	部活動参加生徒数÷生徒数×100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	85%	85%	85%	B	目標②				
実績①	85%	83%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に実施した部活動に関する調査における部活動に参加する生徒の割合は約83.7%である。 ・運動部活動等専門嘱託配置事業は、ラグビーの普及、啓発を図るため、中学校4校に配置。 ・全国大会への出場補助は、93名、近畿大会への出場補助は、103名。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動経費の支援の拡充。 ・生徒のニーズを考慮した部活動の設置。 ・運動部活動等専門嘱託の安定した人材確保及び拡充。 ・外部支援員の拡充と人材確保。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間の合同チーム、合同練習の実施等生徒のニーズを考慮した部活動の実施に向けた検討と活動経費等の補助による活動環境整備。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		食育の推進(第2次食育推進計画)								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		人間形成の基礎となる健全な食生活を実践する力の習得をめざし、市立学校園で食育を実施する。									
指標①	栄養教諭による食育の授業実施回数				指標②	/					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	1,000回	1,000回	1,000回	A	目標②	/					
実績①	1,025回	1,124回	-		実績②	/					
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市経済部農政課作成の絵本「はたけて すごい」を幼稚園・小学校に配布。 ・JAバンク食農教育補助教材を小学校5年全児童に配布。 ・食育についての教職員研修を年1回実施。「食育とは何か～体の仕組みから理解する～その必要性」(大学講師)及び市立小学校教諭実践報告。(対象 学校園教員、学校栄養職員、栄養教諭) 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導を組織的・計画的に取り組むための校内組織づくり。 ・学校・家庭・地域の連携。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等で、国・府・市の食育の現状や課題について周知し、学校園において「食の指導に関する全体計画」に基づく実践をより一層充実させてもらうようにしていく。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		本物の文化芸術にふれる機会の拡大				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		学校・地域行事等、校内・外で演奏の機会が多い市立中学校・高等学校の音楽系部活動に所属する生徒を対象に、本物の文化芸術に触れる機会をつくり、演奏力(意欲・技術)の向上を図る。							
指標①	実施校数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	9校	9校	9校	A	目標②				
実績①	9校	9校	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁による「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」(文化庁文化芸術文化課)・「子ども夢・アート・アカデミー」を募集、1校で活用した。 劇団四季「こころの劇場」事業を活用した。 文化芸術推進事業を実施。市立中学校9校の音楽系部活動にプロの演奏家による訪問指導を実施した。 中学校連合音楽会においてプロの演奏家による指導講評を受けた。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁主催の事業(小中)については、実施決定校はわずかであるので、各学校園では、独自の文化芸術鑑賞等を計画・実施している。その経費は保護者負担が多い。学校規模や在籍数によっては、内容や実施学年等が限定されることも多く、機会の拡大が困難である。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> プロの演奏家の指導を受けた音楽系部活動部員により、各学校園内や地域での演奏会を行う。 文化庁などの事業をさらに周知し、各学校園において文化芸術に親しむ機会を増やす。 校外学習で博物館等を利用し、本物の芸術に触れる機会を増やすよう学校園に周知を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		連携教育推進事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		保護者や地域住民の協力を得ながら、小1ギャップ、中1ギャップによる不登校や学力不振等に陥らない、子どもが安心して学び続けられる学校園連携を中学校区として推進する									
指標①	学校1年生の不登校率(年度末時点)の減少				指標②	チャレンジテストの正答率分布グラフによる低学力層の減少(中1)					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	前年度より減少 (H26:2.3%)	前年度より減少	前年度より減少	A	目標②	前年度より減少 (H26:12.6%)	前年度より減少	前年度より減少	B		
実績①	3.3%	3.0%	-		実績②	18.3% (平均)	19.3%	-			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から、全小中学校に連携教育担当者を位置付け、生徒指導、学力向上、人権教育の担当者などとの横つながり、また、校種間のたでのつながりを意識した取組みを進めた。 中学校区としての学びのスタンダードを確立し、学習指導や生活指導、家庭学習をすすめた。 中学校区のホームページを立ち上げ、全学校園の行事予定や連携教育の取組みについて情報発信した。 教育フォーラムでの一貫教育をテーマとした実践報告及び講演会を実施した。 連携教育担当者研修会での、先進的な学校の取組み報告し、本市全体の学校教育充実につとめた。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 連携教育から一貫教育へとさらに進んだ取組みを実践する。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 「小中一貫教育モデル校」が行っているカリキュラム研究の成果を市内学校園へ周知し、全中学校区における9年間を見通した教科教育課程の作成を進める。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		英語教育推進事業								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		グローバル化する社会に対応し、国際共通語としての英語を使って自分の考えや意見を伝え、相手の意見や考えを受け止めることのできる子どもを育成する。									
指標①	市学習状況調査における項目で「積極的に英語でコミュニケーションをとる」と回答した児童生徒の割合(中3)				指標②	実用英語技能検定4級程度以上の力と判定される中学校2年生の割合(研究校)					
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	72%	前年度より増加	前年度より増加	A	目標②	-	-	前年度より増加	-		
実績①	64.50%	69.90%	-		実績②	-	-	-			
事業実績 (平成28年度)	<p>・外国語指導講師(以下ALT)は、小学校5年生から中学校3年生までの全学年において週1時間、ALTとのチームティーチングが可能な日数で派遣している。また、幼稚園についても、週に半日派遣している。移動英語村、夏休み英語村を開催した。移動英語村には27小学校・10中学校が、夏休み英語村には約31名の生徒が参加した。小グループでALTとコミュニケーション活動を行うことで、学んだり、慣れ親しんだりした英語表現を活用することができ、児童生徒の自己効力感や学習意欲の向上につながった。</p> <p>・「東大阪府中学生英語暗唱大会」や「英語まつり」などの英語行事を中学生を対象に実施している。各ALTが事前に生徒の発音指導等を行い、指導を受けた生徒が舞台上で日ごろの学習の成果を発表した。また、習熟度別指導による指導方法の工夫改善も行っている。</p>										
改善すべき点	<p>・移動英語村や夏休み英語村は、アンケート結果においても好評であるが、より多くの児童生徒が参加できるように改善することで、児童生徒のコミュニケーション能力や英語学習に対する関心・意欲を高める必要がある。</p> <p>・新学習指導要領実施に向け、小学校教員の指導力向上を図る必要がある。</p>										
平成29年度に向けた改善策	<p>・移動英語村派遣チームを4チームから5チームを増やして、より多くの児童生徒が参加できるようにし、さらなる言語表現活動の充実をはかる。夏休み英語村についても広く周知し、参加校や参加者の増加につとめる。</p> <p>・市教育センターと連携し、小学校教員の指導力向上を図る。</p>										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		特別支援教育推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		障害のある子どもたちが学校園生活を円滑に送れるよう多方面から支援する。							
指標①	対象者への巡回指導及び巡回相談実施率				指標②	/			
指標の説明・計算式	実施人数 ÷ 希望する対象者 × 100				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/			
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・【特別支援教育支援員】スクールヘルパー79名の配置 ・【巡回指導】…肢体不自由児訓練事業として、作業療法士、理学療法士、必要に応じ言語聴覚士と指導主事が学校園の訪問指導を行った。対象者62名に対し、延べ133回実施。 ・【巡回相談】…発達障害の診断がある園児・児童・生徒を対象とし、療育センター児童指導員と指導主事が授業・保育等の様子を参観。個別連絡票を参考に、学校園における指導や支援内容について指導・助言を行った。対象26名に対し53回実施。巡回相談の回数は、要項で2年で3回(1年目2回、2年目1回)と定まっている。 ・【ケアアシスタント】…9校11名配置。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールヘルパーを小学校52校、中学校24校に配置したが、支援を必要とする子どもが増加し、複数配置を希望する学校が増加している。 ・看護師の不足 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールヘルパーのさらなる増員に向けて予算要求をしていく。 ・幼稚園においても支援を必要とする園児が増加しており、支援の体制を充実していく。 ・医療的ケアの必要な子どもに対して、確実に看護師を配置をしていくことに努める。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		いじめ防止対策事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止や重大事態等に対応する機関を設置し、専門家の派遣等、適切な対応を行う。また、スクールソーシャルワーカーを活用し、子どもや家庭、学校園を支援する。							
指標①	いじめ、不登校、虐待、問題行動等の支援ケース数				指標②	認知したいじめ事象のうち対応した割合			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	500件	600件	700件	B	目標②	100%	100%	100%	A
実績①	344件	481件	-		実績②	100%	100%	-	
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度は、7小学校にスクールソーシャルワーカーを拠点校配置し、年間500回(拠点校活用456回、派遣活用44回)の活用を行った。中学校区いじめ・長期欠席・不登校対策ブロック会議やケース会議にスクールソーシャルワーカーが参加し、福祉的視点を持って学校支援を行った。								
改善すべき点	・平成28年度は9名で対応したが、虐待・不登校、福祉的な支援が必要な子ども・家庭の対応が増加する中で、全中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを拠点校配置することで、全ての学校園が児童生徒・保護者へ対しての支援をより一層充実させることができると考えている。								
平成29年度に向けた改善策	・平成29年は10名スクールソーシャルワーカーを採用し、7小学校への拠点校配置と、ケース会議への派遣を行う。その際、福祉の専門的な知識と技術を持って、こどもが抱えている課題や背景を整理し、学校園を支援していく。また、大阪府の「小中学校生徒指導体制推進事業」により、市内8小学校に年間17回配置されるスクールソーシャルワーカーを有効活用し、不登校や問題行動の減少をはかる。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名	子ども安全安心推進事業								平成28年度 目標達成度	B
事業概要	子どもたちの登下校時の安全の確保のため、各小学校区に愛ガード運動推進委員会を組織し、地域での見守り・見回り活動を実施する。また、校内に警備員を配置し安全確保を図る。子どもたちの安全にかかわる情報等については、保護者にメールでの情報発信を行う。									
指標①	登下校時の交通事故発生件数				指標②	校内への不審者侵入発生件数				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	0件	0件	0件	C	目標②	0件	0件	0件	A	
実績①	12件	12件	-		実績②	0件	0件	-		
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛ガード運動推進事業により地域・家庭・学校が協力し、子どもたちの登下校時の安全を確保している。平成28年度の登録者数は13946名。 ・子ども安全パトロール事業における全小学校区での警備員配置により、来校者の確認等が実施され、不審者侵入に対する抑止効果が表れている。 ・市内在住の児童に防犯ブザーを配付し通学時等において安全の確保を行う。 ・各学校園の緊急情報等を保護者の方々へメールで伝える。 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・愛ガード運動協力員の確保が課題である。 ・年度途中に欠員の出たスクールガードリーダーの確保 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・愛ガード運動の取組内容を市政だよりでの周知や自治協議会へ協力依頼の実施により、愛ガード協力員さんの確保に努める。 ・大阪府警本部警務課に協力依頼を行い、スクールガードリーダーの確保に努める。 									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

所属	学校教育部 学校教育推進室
----	---------------

実施計画事業名		キャリア教育の推進事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		小学校でのモノづくり体験教室や中学校での職場体験学習を実施することで、次代を担う子どもたちのモノづくりへの興味や関心を高めるとともに、「生きる力」の育成を支援する。							
指標①	モノづくり教室の実施率(小学校)				指標②	職場体験学習において、モノづくりに関する体験をした生徒の割合(中学校)			
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	70%	72%	74%	A	目標②	7%	10%	15%	C
実績①	100%	100%	-		実績②	6%	7%	-	
事業実績 (平成28年度)	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小中が連携したキャリア教育計画の作成した。 <p>[小学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校において、農業体験、「モノづくり体験教室(ものづくり支援室事業)」、キッズマートなど、「もの」を製造したり、販売したりする体験を通じて、職業に関する学習を実施した。「モノづくり体験教室」はNPO法人と連携し、52校中38校で実施できた。 <p>[中学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全25中学校において、職場体験を実施した。 								
改善すべき点	<p>[小学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり教室を進める上で、「モノづくり体験教室」は定着をしている。今後も実施校が広がるように連携に努める。 <p>[中学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験において、製造業(工場)への体験を推進するにあたり、受け入れ先事業所において安全の心配をされる事業所がある 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり教室が、そのみの授業とならずに、ほかの教科内容との連なりを考慮し行うよう努める。体験だけではなく、東大阪市のものづくり企業についての講話を事前学習として行うなど、モノづくりについて興味・関心が喚起されるような取り組みを行う。 ・体験学習における安全面について、事前打ち合わせや事前学習についての工夫が必要である。 								

平成28年度 事業管理報告書

重点事業

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		地域子育て支援事業の充実								平成28年度 目標達成度	C
事業概要		子ども・子育てに関するニーズ調査に基づき、特に市民ニーズの高いとされる一時預かり事業・病児病後児保育事業・利用者支援事業(子育てサポーター)を拡充する。									
指標①	子育てサポーター配置数				指標②	一時預かり施設設置数					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	6人	8人	10人	C	目標②	46施設	54施設	61施設	C		
実績①	6人	6人	-		実績②	40施設	41施設	-			
事業実績 (平成28年度)	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携を図り、地域に出向いて適切な専門機関等へつなぐ寄り添い型の子育て支援の充実を図った。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の公民保育施設に、受入状況のアンケートを実施し実態把握を行った。公立施設においては、平成29年度開設に向けて、縄手南こども園、小阪こども園及び布施子育て支援センターを整備した。 										
改善すべき点	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配置数は目標数に達していないが、今後の利用者支援事業の在り方を踏まえて適切な配置数を確保し、地域に出向いて寄り添い型の子育て支援の充実を図る必要がある。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労型の利用が多く、リフレッシュ型のニーズには対応できていない現状があるため、受入施設の充実が必要である。 										
平成29年度に向けた改善策	<p>【子育てサポーター配置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診時や子育て支援センター、つどいの広場等の親子が集う場所に出向き相談支援や情報提供を拡充していく。 親子のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うため、サポーターのスキルアップを図る。 保健センターと連携し、来所相談が困難な家庭に対し、個別訪問を行い相談支援や適切な専門機関等へのつなぎを行う。 <p>【一時預かり施設設置数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主にリフレッシュ型の受入施設としてつどいの広場での一時預かりの実施を検討。アンケート調査等を行い状況把握を行う。 今後開設予定の認定こども園及び子育て支援センターでの一時預かり事業実施に向けて関係機関と協議していく。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名	学校規模適正化事業								平成28年度 目標達成度	C
事業概要	学校規模の適正化を図るため、過小規模校および過大規模校の解消に努め、よりよい教育環境と効果的な学校教育を実現する。また、「学校規模適正化基本方針」に基づき統合委員会が設置されるよう努め、統合の推進を図る。									
指標①	統合委員会の設立数				指標②					
指標の説明・計算式	計画数4件に対する当該年度末までの累計数				指標の説明・計算式					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	4件	4件	4件	C	目標②					
実績①	2件	3件	-		実績②					
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・桜橋小学校については、統合委員会は未設置であったが、学校地域の協力を得て、平成28年4月に開校した。 ・桜橋小学校開校式(6月14日)、布施中学校開校式(4月23日)の実施を支援した。 ・桜橋小学校の児童の通学時の見守りを支援した。 ・三ノ瀬小学校・太平寺小学校の地域・保護者に対し、統合について理解と協力を得られるように説明会(3回)を実施した。 ・三ノ瀬小学校・太平寺小学校統合委員会を設置(11月25日)。【統合新設校は平成30年4月開校予定】 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・統合対象校の教職員の事務の負担が大きいことから事前に加配等を大阪府に要請する必要がある、市費の体制強化も検討すべきである。 ・跡地についての明確な方向性を決定しておく必要がある。 ・防災上の考え方も十分整理しておく必要がある。 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・統合委員会の運営がスムーズに行えるように支援を行う。 ・三ノ瀬小学校跡地の活用について、地域の要望等を聴取する。 									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		幼稚園の特色化・サービスの充実				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		子ども子育て支援新制度の開始に伴い、特色ある幼児教育の実施、現行サービスの充実、あるべき幼児教育の研究・検討など一層魅力のある幼稚園にするための事業を実施する。							
指標①	事業の満足度:平成25年度に実施した「子ども子育て支援事業計画に関するアンケート調査」の「利用されている教育・保育事業について不満に思うこと」の回答数の減少				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	-	回答数の減少	-	目標②	/	/	/	/
実績①	-	-	-	-	実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・預かり保育実施について前年度水準を確保した。								
改善すべき点	・特色ある幼稚園の実施メニュー(幼児総合学力向上事業)の検討。								
平成29年度に向けた改善策	・幼児総合学力向上事業について幼稚園・幼稚園型認定こども園との会議を検討。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		民間教育・保育施設整備事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		子ども子育て支援新制度の開始に伴い、民間の幼保連携型認定こども園と、小規模保育事業の施設を整備し、併せて既存の保育所の増改築を推進することで、教育・保育の必要見込み量を確保し、待機児童を解消する。							
指標①	保育を必要とする児童(0歳児)の受入れ数				指標②	保育を必要とする児童(1・2歳児)の受入れ数			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	33人	78人	60人	C	目標②	142人	202人	185人	A
実績①	37人	58人	-		実績②	138人	220人	-	
事業実績 (平成28年度)	・平成27年度からスタートした子ども子育て支援新制度の開始に伴い、教育・保育の必要見込み量の確保策として民間幼稚園からの移行による幼保連携型認定こども園および小規模保育事業の施設整備により278名の受け皿拡大を図った。								
改善すべき点	・受け皿拡大に向け、施設整備を希望する法人を確保する。								
平成29年度に向けた改善策	・民間幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行や、小規模保育事業の開設の際に事業者が応募しやすいよう公募期間を長くする等要件の緩和を検討する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	学校教育部 学事課
----	-----------

実施計画事業名		公立教育・保育施設整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		公立の教育・保育施設を適切に配置し、公立施設の役割である「地域子育て支援事業」を積極的に実施していく。							
指標①	幼保連携型認定こども園の整備状況				指標②	幼稚園型認定こども園の整備状況			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	基本設計(2園)	施設整備(2園)	開設(2園)、 基本設計(1園)	A	目標②	-	施設整備(1園)	開設(1園)	A
実績①	実施済み	施設整備(2園)	-		実績②	-	実施済み	-	
事業実績 (平成28年度)	・幼稚園型認定こども園について平成28年度末に整備済み。								
改善すべき点	・特になし。								
平成29年度に向けた改善策	・特になし。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(教育センターその他整備)				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、学校規模適正化基本方針で統合となる学校の跡地に、教育センター、適応指導教室「ふれあいルーム」等が入居する複合施設を整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	設計	工事	—	A	目標②	/	/	/	/
実績①	設計	工事	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・整備に向けた建築予算を確保した。平成29年1月末より、予定通り工事が進んでいる。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名	教職員研修・教育研究の充実								平成28年度 目標達成度	A
事業概要	子どもたちの確かな学力と豊かな人間性の育成をめざし、教職員の資質・能力や実践的指導力の向上を図るため教職員研修を実施する。また、教育課題の解決に向けた研究や教育資料の活用を推進し、学校園の「学ぶ力」の活性化を図る。									
指標①	受講成果の教育実践での活用率				指標②	/				
指標の説明・計算式	/				指標の説明・計算式	/				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度	
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/				
実績①	100%	100%	-		実績②	/				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・府教育センター実施を含め、全部で162講座を実施。のべ9,458人が受講した。 ・教育センター独自で校内研修支援ワーキングを実施。 ・学校園における教育資料活用推進のため、研修会場でテーマに即した図書の貸し出しの実施。 									
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な課題に対する研修を実施するために、常に課題の把握に努力する。 ・校内研修の充実のため学校支援や校内研修力の向上。 									
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の少ない教員の育成を含めた学校全体の研修体制を支援していく。 ・授業校内研修支援ワーキングを引き継ぎアクティブ・スクールの取組みの推進による授業力、指導力の向上を図る。 ・授業改善に向けた研究として、KWM(キーワードを用いたICT学習支援ツール)を継続して取組む。 									

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名		教育相談・発達相談の充実								平成28年度 目標達成度	A
事業概要		教育や子どもの養育などに関する悩みを抱える、園児・児童・生徒および保護者や教職員に対し、来所相談、学校園派遣相談、電話相談を実施する。特に特別支援教育、いじめ防止および子どもの虐待防止に向けた取り組みを充実する。									
指標①	年間相談実施回数				指標②	学校園への相談員派遣に対する評価(事後アンケートで「おおむね効果があった」以上の回答の割合)					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	11,000回	11,000回	11,000回	B	目標②	100%	100%	100%	A		
実績①	10,542回	9,663回	-		実績②	99%	100%	-			
事業実績 (平成28年度)	・来所相談4,452回(教育相談1,595回・発達相談2,857回) 学校園派遣相談4,946回、電話相談265回										
改善すべき点	・来所相談の待ち時間を少しでも短縮するよう努めてはいるが、面接室、プレイルームの数の絶対的な不足により、短縮できていないのが現状である。東大阪市公共施設再編整備計画に基づく移転の際の、部屋数の確保をはじめ、より効率的、効果的な相談業務の計画が必要である。										
平成29年度に向けた改善策	・子どもと保護者の幅広いニーズに応えることができるように、相談員の資質の向上のための研修を充実させる。 ・相談員派遣事業においては、全対象小学校に年間10回の派遣相談を実施(昨年度は8~10回)、幼稚園・こども園には年間8回の派遣相談を実施する。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育部 教育センター
----	--------------

実施計画事業名		教育支援センター(適応指導教室)事業				平成28年度 目標達成度		B	
事業概要		適応指導教室の取り組みを中心に、不登校または不登校傾向にある児童・生徒およびその学校への支援を充実し、学校復帰および社会的自立を図る。							
指標①	適応指導教室に通う児童・生徒の状況が改善した割合				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	80%	80%	80%	B	目標②	/			
実績①	83%	77%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・入室者22人のうち、完全に学校へ復帰した者1名、部分的に復帰した者16名。中学3年生については、全員が進路決定。								
改善すべき点	・東大阪市内の不登校は近年増えてきており、小学生の不登校の割合も増えてきている。市の教育支援センター事業として、適応指導教室での取組を、市内の小中学校に広め、不登校児童生徒の支援をする必要がある。								
平成29年度に向けた改善策	・適応指導教室での取組を、積極的に発信するために、中学校区のブロック会議、ケース会議に参加し、学校の取組への支援をする。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	4

所属	社会教育部
----	-------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(文化関係複合施設再整備)				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、四条の家、東診療所跡を、新東部地域図書館(旧旭町図書館)、郷土博物館、埋蔵文化財センター等が入る文化関係複合施設に再整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	基本計画策定	事業手法検討	-	目標②	/	/	/	/
実績①	-	-	-	-	実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・基本計画策定支援業務の公募型プロポーザルを実施したが、参加者がいなかったため不成立となった。								
改善すべき点	・実施要領及び仕様書の内容について検討する。								
平成29年度に向けた改善策	・基本計画策定支援業務の実施要領及び仕様書の内容について検討を行い、再度公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	1

所属	社会教育部 社会教育課
----	-------------

実施計画事業名		生涯学習推進事業				平成28年度 目標達成度		未	
事業概要		「第三次東大阪市生涯学習推進計画」の3つの基本視点「まなびづくり・ひとづくり・まちづくり」に基づいて、市民の誰もがいつでもどこでも楽しく学べる環境を提供し、一人ひとりが充実した人生を送りながら学びを支える人を育て、自分のまちに誇りと愛着をもてるまちづくりをめざしていく。				平成28年度 目標達成度		未	
指標①	生涯学習事業への参加人数				指標②	/			
指標の 説明・計算式	/				指標の 説明・計算式	/			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	83.0万人	83.5万人	84.0万人	未	目標②	/			
実績①	84.4万人	集計中	-		実績②	/			
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進組織の運営(市民推進会議 2回開催、庁内推進本部幹事会 2回開催) ・市町村広域連携生涯学習事業(おおさかふみネット)の実施 ・生涯学習情報誌「まなびにトライ!」の発行(4月・10月) ・市ウェブサイト内「まなび・スポーツ」で生涯学習情報を集約 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・各課において実施している講座やイベント等の事業が、生涯学習事業として認識されるように働きかける。また、市ウェブサイト内の学習支援サイト「まなび・スポーツ」への掲載がなされるよう、引き続き依頼していく。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月に策定した「第三次東大阪市生涯学習推進計画」に基づき、庁内各課に生涯学習への認識を深めてもらい、引き続き生涯学習推進に向けて積極的な取り組みを依頼していく。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育部 社会教育課
----	-------------

実施計画事業名		国際識字年推進事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		「よみかき教室」の開催や中国帰国者等による日本語学習グループに対し日本語指導者を派遣するなど、よみかきに不自由している方々に学習する機会を提供し、また「国際識字デー・市民のつどい」「識字展」を通して識字に対する市民の理解を深める。							
指標①	「国際識字デー・市民のつどい」、識字展等の来場者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	700人	700人	700人	A	目標②	/			
実績①	935人	1,186人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市国際識字デー・市民のつどいの開催(来場者数122人) ・識字展の開催(来場者数503人) ・平和と人権展&識字展(人権文化部と共催)(来場者数561人) 啓発事業来場者数 1,186人 ・よみかき教室の開催(29年3月31日現在 生徒数38人) 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業の来場者数が目標数を達成。引き続き目標を達成できるよう、開催イベントに創意工夫し、より多くの方に識字への理解を得られるように取り組む。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が識字に対する理解を得ることができるよう、また非識字者の掘り起こしのため、引き続き啓発を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	社会教育部 社会教育課
----	-------------

実施計画事業名		市民会館除却整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		平成27年6月をもって閉館する市民会館建物を解体する。							
指標①	市民会館建物の解体				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	実施	実施	—	A	目標②	/			
実績①	実施	実施	—		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・平成28年度は、平成29年2月の解体工事の完了に向け、平成27年度に引き続き解体工事を進めた。経過としては、6月までに外壁の解体、7月から10月に地下解体、11月から地下の埋戻・屋外(外構)工事を行い、予定通り平成29年2月に解体工事を完了をした。								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	11	2

所属	社会教育部 青少年スポーツ室
----	----------------

実施計画事業名		留守家庭児童育成事業				事業概要		留守家庭児童育成クラブの運営を行っている運営委員会等に対し、助成金を交付し、児童育成クラブ児童の健全育成を図る。また保護者ニーズの高い開設時間の拡充・全土曜日の開設を行っていく。		平成28年度 目標達成度		A	
指標①		全クラブ 全土曜日開設・開設時間延長の実施率				指標②		/					
指標の説明・計算式		/				指標の説明・計算式		/					
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度				
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/	/	/	/				
実績①	100%	100%	-		実績②	/	/	/	/				
事業実績 (平成28年度)		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の「子ども・子育て支援新制度」施行に伴い、「東大阪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を制定するとともに、全52クラブにおいて開設時間の延長、全土曜日の開設を実施した。 平成28年度は全クラブにおいて6年生までの受け入れを実施するとともに、多子世帯児童の減免制度を開始し、保護者負担の軽減を図った。 											
改善すべき点		<ul style="list-style-type: none"> よりよいサービスの提供に向け、保護者ニーズを把握していく必要がある。 											
平成29年度に向けた改善策		<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートの実施を検討している。 											

【様式1】

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	1

所属	社会教育部 青少年スポーツ室
----	----------------

実施計画事業名		東体育館耐震化リニューアル事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		東体育館の耐震リニューアル工事を実施する。							
指標①	利用率				指標②	/			
指標の説明・計算式	使用時間／利用可能時間				指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	85%	86%	87%	D	目標②	/			
実績①	98%	30%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・耐震補強、リニューアル整備は7月末で工事完了								
改善すべき点	・特になし								
平成29年度に向けた改善策	・特になし								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	3

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		郷土博物館・埋蔵文化財センター統合整備事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		郷土博物館、埋蔵文化財センター及び文化財資料収蔵施設の基本構想に基づき複合施設として整備するため、基本計画、展示設計等の策定を行う。							
指標①	基本計画、展示設計等の策定				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	-	基本計画等策定	展示計画等策定	-	目標②	/			
実績①	-	-	-	-	実績②				
事業実績 (平成28年度)	・基本計画策定支援業務の公募型プロポーザルを実施したが、参加者がいなかったため不成立となった。								
改善すべき点	・実施要領及び仕様書の内容について検討する。								
平成29年度に向けた改善策	・基本計画策定支援業務の実施要領及び仕様書の内容について検討を行い、再度公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定する。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	1

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		文化財ボランティア育成事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		文化財ボランティアの育成研修及び文化財啓発保存活動など活動の場の提供により、ボランティア活動を活性化させる。							
指標①	登録ボランティアの一人あたりの平均年間活動回数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	9.0回	9.5回	10.0回	A	目標②				
実績①	24.4回	20.1回	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	・二本松古墳清掃活動 延べ8日77人・埋蔵文化財センター事業活動 延べ284日836人 ボランティア研修・ハイキング 延べ2日15人 (総計延べ294日 928人 928÷登録者46(29.3.31現在)=20.17								
改善すべき点	・ボランティアが参加したいと思う企画を実施する。								
平成29年度に向けた改善策	・ボランティアの質の向上。文化財を管理運営していくうえで、ボランティアの協力は不可欠である。歴史・文化財・地域などの専門的な知識の取得などに向けての研修会の企画。新規活動のメニューの考案についてさらに取り組む。								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		文化財施設保存計画策定事業								平成28年度 目標達成度	-
事業概要		改修の必要がある国史跡・重要文化財鴻池新田会所について、専門家による現状の調査を行い、その結果に基づいて中長期の展望に立った史跡等保存管理計画及び重要文化財建造物保存活用計画を策定する。									
指標①	史跡等保存管理計画策定				指標②	重要文化財建造物保存活用計画策定					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	-	-	策定	-	目標②	-	-	策定	-		
実績①	-	-	-	-	実績②	-	-	-	-		
事業実績 (平成28年度)	・特になし										
改善すべき点	・保存計画策定に向けた現状調査が必要。										
平成29年度に向けた改善策	・保存計画策定に向けた現状調査を実施。										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		河内寺廃寺跡史跡公園整備事業				平成28年度 目標達成度		A	
事業概要		河内町に位置する飛鳥時代創建の古代寺院跡で、国史跡の指定を受けた「河内寺廃寺跡」を史跡公園として整備する。							
指標①	整備の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	40%工事着工	90%工事完了	100%工事完了	A	目標②				
実績①	100%	100%	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計に基づき史跡公園の造園工事を行った。 ・追加指定地の用地買収を行った。 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収に伴う借家人の立退きについて、一部世帯との交渉が遅れたことにより、翌年度繰越となった。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の早い段階で用地取得を完了させる。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名					指定文化財保存事業					平成28年度 目標達成度	A
事業概要					指定文化財所有者・管理者が行う修理に対し、補助金を交付することで文化財保存の取り組みを奨励し、文化財保護意識を高める。また、有形文化財等の調査を進める。						
指標①	充足率				指標②	/					
指標の説明・計算式	補助件数/申請件数 × 100				指標の説明・計算式						
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	/	/	/	/		
実績①	100%	100%	-		実績②	/	/	/	/		
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・枚岡神社 指定文化財防災施設設置。 ・長栄寺所蔵の掛け軸について調査を行った。 										
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財所有者及び管理者の指定文化財の要望を聞き、計画的に指定文化財の修理等を行いたい。 ・長栄寺所蔵の文物について調査をする必要がある。 										
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・長栄寺の文物について調査を行う。 										

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	3

所属	社会教育部 文化財課
----	------------

実施計画事業名		文化財啓発事業				平成28年度 目標達成度		D	
事業概要		本市の歴史と文化財について理解と関心を高めるため、文化財啓発冊子を刊行するとともに、発掘調査現地説明会及び資料展示会を開催する。							
指標①	資料展示会の入場者数				指標②	/			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,000人	1,100人	1,200人	D	目標②	/			
実績①	290人	417人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・わが街再発見 東大阪市の歴史と文化財を刊行 ・平成28年度こんな発掘しまし展「甦る古代寺院 河内寺麿寺跡」 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・資料展示会を9月上旬に実施し、昨年度よりも入場者は増加した。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心の高い企画の実施と実施時期の検討を行う。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育部 社会教育センター
----	----------------

実施計画事業名		連携7大学公開講座				平成28年度 目標達成度		C	
事業概要		大学の英知を結集して、時機を得たテーマで講座を開催し、市民が生涯を通じて自主的に学習に取り組む機会を提供する。							
指標①	公開講座延べ受講者数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,100人	1,100人	1,100人	C	目標②				
実績①	841人	685人	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：平成29年2月4日～9日（計6日間・6講座） ①大阪樟蔭女子大学【唐衣裳（十二単）にみられる日本の着装と色彩観】 ②大阪商業大学【近鉄の歴史と沿線—自然と生活の変貌—】 ③東大阪大学【ネットとジャーナリズム】 ④大阪経済法科大学【大都市近郊の里山である高安地域の自然再生とライフスタイルを考える】 ⑤近畿大学【知っておいてほしい光・レーザーの安全性について】 ⑥大阪産業大学【巨大地震は近い！—活動期真っ只中にある防災・減災】 								
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の年齢層を広めるために、土日を含めた6日間で開催を行っているところであるが、まだまだ高齢者の受講生が大半を占めている状況である。若い参加者のアンケートを確認すると、土日の開催を希望する声が聞かれる状況であるので、引き続き土日の開催は必要であると考え。日程だけでなく、若い参加者の興味を引くようなテーマ・内容を作り出して行くことが今後必要となっている。 								
平成29年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・大学担当者と日程調整をしつつ、特に20歳～50歳の方々も興味を引くようなテーマ・内容を議論しつつ改善する必要がある。 								

平成28年度 事業管理報告書

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	議会事務局 議事調査課
----	-------------

実施計画事業名		議会設備改修事業				平成28年度 目標達成度		-	
事業概要		本会議・委員会をより安定した環境でインターネット中継や録画配信することにより、市民に議会への関心をもってもらい、開かれた議会運営をめざす。							
指標①	設備改修の進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	実施	-	-	-	目標②	/	/	/	/
実績①	実施	-	-	-	実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	・平成27年度に事業完了								
改善すべき点									
平成28年度に向けた改善策									